平成26年度

病　院　年　報

三浦市立病院

三　浦　市　立　病　院　憲　章

基　本　理　念

三浦市立病院とその職員は、健康啓発、疾病の予防と治療、そして社会復帰に至るまでの医療全般にわたり、当院の持ち得る資源を最大限に活用して市民皆様に貢献します。

基　本　方　針

１　患者様中心の医療の実践

患者様の声を尊重し、相互の信頼関係に基づいた医療サービスを提供するとともに、患者様の医療に関する権利を確保します。

２　救急医療への対応

地域中核病院として本市救急医療体制の中心的役割を担います。

３　安全で安心な医療の推進

安全かつ安心して医療を受けられる環境を整備します。

４　医療技術の向上

常に適切な医療技術を提供します。

５　人材の育成・確保

病院職員としての倫理を遵守し、患者様の生命を尊重した安全で安心の医療を提供できる職員づくりに取り組みます。

６　地域連携の強化

地域医療機関と連携し、地域医療体制を強化します。

７　療養環境の向上

快適な入院生活が送れるよう、医療行為はもちろんその他の部分も含めてきめ細やかな対応を図ります。

８　経営改善と安定経営

公共性を確保するとともに、合理的かつ効率的な病院経営に努め、健全で自立した経営基盤を確保します。

はじめに

三浦市立病院総病院長　　小澤幸弘

今年も病院年報を発行できることとなりました。やっと病院として当たり前のことが当たり前にできるようになってきたことに喜びを感じています。

私も４月に病院事業管理者として二期目を迎え、病院運営をより安定したものにしていく“つとめ”を担っているものと心得ています。そこで、病院組織を医務科、看護科、薬局、事務局の体制から、新たに診療支援部を創設し、診療部、診療支援部、看護部、事務局に組織改編し、コメディカルの自立と発展を促しました。これにより一人ひとりの職員が大いに力を発揮し協力し合って「三浦ならでは」の地域医療の確立を目指していけるものと思います。また、医療安全管理室を設置し、主に病院におけるリスクマネジメントと感染管理の質の向上を目指しました。その活動の充実ぶりは、他の委員会活動とともに年報の報告に垣間みることができると思います。これからも着実に成長を続けていかなくてはなりません。

そして、診療においても地域医療・介護総合確保推進法が成立し、効果的な医療提供体制の確保と地域包括ケアシステムの構築が国の方針として掲げられました。それに伴い当院でも９月には地域包括ケア病棟を 24 床で開始しました。かねてより目指してきた「三浦ならでは」の地域医療の形にかなうものと思っています。そして、昨年に引き続いて市民に向けたシンポジウム「在宅療養を考える集い」を開催することができました。また、三浦半島地区における四病院連携を目的としてシンポジウムを企画し、病院間の地域連携協定を結ぶことができました。加えて、昨年度に導入した電子カルテを在宅診療でも活用するためタブレット端末を導入しました。

これからも地域包括医療・ケアを推進するため三浦市内での協働を進めるとともに三浦半島地区での地域完結型医療を強めていきたいと思っています。

三浦市立病院年報（平成 26 年度）　目次

三浦市立病院憲章

はじめに

Ⅰ　病院の概況 - 1 -

1　位置 - 1 -

2　沿革 - 3 -

3　施設の概要 - 8 -

（1）土地・建物 - 8 -

（2）設備 - 8 -

4　配置図 - 9 -

5　現況 - 12 -

6　施設基準 - 13 -

（1）基本診療科 - 13 -

（2）特掲診療科 - 13 -

7　組織及び職員配置状況 - 15 -

（1）組織図 - 15 -

Ⅱ　各科の活動状況 - 17 -

1　診療部 - 17 -

（1）医局 - 17 -

（2）内科 - 18 -

（3）神経内科 - 20 -

（4）外科 - 21 -

（5）整形外科 - 24 -

（6）産婦人科 - 26 -

（7）眼科 - 28 -

（8）小児科 - 30 -

（9）耳鼻いんこう科 - 32 -

(10) 麻酔科 - 33 -

(11) 脳神経外科 - 34 -

(12) 泌尿器科 - 35 -

(13) 皮膚科 - 36 -

(14) 研修医 - 37 -

2　診療支援部 - 38 -

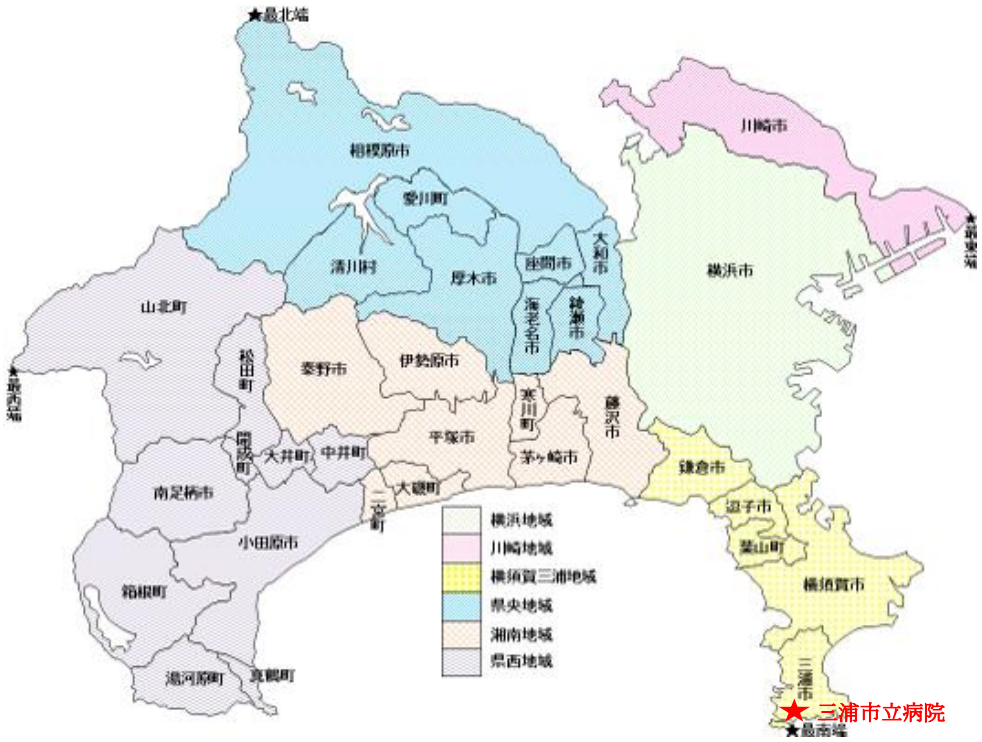
（1）薬剤科 - 38 -

（２）リハビリテーション科 - 41 -
（３）放射線科 - 47 -
（４）臨床検査科 - 50 -
（５）地域医療科 - 52 -
（６）医療安全管理室 - 60 -
３　看護部 - 70 -
（１）看護部 - 70 -
（２）２階病棟 - 73 -
（３）３階病棟 - 75 -
（４）４階病棟 - 78 -
（５）手術室 - 80 -
（６）外来 - 82 -
（７）看護教育室 - 85 -
４　事務局 - 94 -
（１）総務課 - 94 -
（２）医事課 - 96 -
（３）栄養課 - 98 -
Ⅲ　委員会の状況 - 101 -
１　三浦市立病院リスクマネジメント委員会 - 101 -
２　三浦市立病院感染対策委員会（ＩＣＣ） - 105 -
３　三浦市立病院褥瘡対策委員会 - 114 -
４　三浦市立病院接遇向上委員会 - 119 -
５　三浦市立病院ＮＳＴ委員会 - 123 -
６　三浦市立病院ＣＳ向上委員会 - 127 -
７　三浦市立病院糖尿病疾病管理委員会 - 133 -
８　三浦市立病院薬事委員会 - 137 -
９　三浦市立病院情報処理委員会 - 139 -
Ⅳ　経営状況 - 143 -
１　決算概要 - 143 -
（１）経常収益比較 - 143 -
（２）損益計算書 - 144 -
（３）貸借対照表 - 145 -
２　三浦市立病院改革プラン及び実施状況 - 147 -
Ⅴ　各種統計資料 - 152 -
１　入院患者数実績 - 152 -
２　外来患者数実績 - 153 -

３　救急患者数実績 ..... - 154 -
Ⅵ　スタッフ一覧 ..... - 156 -
Ⅶ　編集後記 ..... - 159 -

Ⅰ　病院の概況

1　位置



※神奈川県ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ及びわが街ｶﾞｲﾄﾞより画像転載

本市は、首都60km圏内にあたる三浦半島の最南端に位置し、三方を海に囲まれて気候温暖、農耕に適している。海岸線は42.9kmに及び、漁業のみならず、海洋レクリエーションなども盛んである。城ヶ島を天然護岸とし、昔から遠洋、近海及び沿岸漁業の基地として発展した全国的に有名な三崎漁港を有している。

市域面積	東西	南北	東経	北緯
32.16ｋ㎡	6.8ｋｍ	9.4ｋｍ	139° 37’24″	35° 08’27″

２　沿革

昭和26年	三崎町町議会にて、三崎町立国民健康保険病院の開設を議決する
昭和26年12月	初代院長　継　茂　就任
昭和27年１月	旧三崎町立伝染病院「南岬院」の建物を診療管理棟に増改築 病棟（30 床）新築工事着工
昭和27年６月	『三崎町国民健康保険直営病院』開設　内科・外科・産婦人科・眼科 ４科
昭和28年２月	第２病棟（28 床）看護婦宿舎（15 人）医師住宅（５戸）新築工事着 工
昭和30年１月	『三浦市国民健康保険直営病院』と改称
昭和32年２月	第３病棟（35 床）伝染病棟（27 床）医師住宅（３戸）新築第１・第 ２病棟、看護婦宿舎増改築工事着工
昭和32年10月	小児科新設　５科
昭和38年５月	基準寝具制度の実施
昭和38年９月	整形外科新設　６科
昭和39年４月	『国民健康保険三浦市立病院』と改称
昭和39年10月	診療管理棟（鉄筋コンクリート地下１階、地上３階）新築工事着工
昭和40年８月	診療管理棟完成（完成後の病床数　一般 65 床、結核 18 床、伝染病 27 床、計 110 床）
昭和41年６月	国民健康保険三浦市立病院運営委員会設置
昭和42年４月	『三浦市立病院』と改称　　地方公営企業法の財務規程を適用
昭和42年９月１日	未熟児指定養育医療機関となる
昭和43年10月	第２次整備事業として、病棟（地下１階、地上３階 150 床）伝染病 隔離病舎（27 床）看護婦宿舎（32 人）医師住宅３棟（10 戸）新築 工事着工
昭和44年10月	病棟・伝染病隔離病舎完成（完成後の病床数　一般 136 床、結核 14 床、伝染病 27 床、計 177 床）
昭和45年３月	看護婦宿舎、医師住宅完成
昭和47年３月	初代院長　継　茂　退職
昭和47年４月	初代院長　継　茂　名誉院長に就任 ２代院長　丸山　理一　就任
昭和47年６月	病院開設 20 周年記念行事実施
昭和49年	石油ショックによる人件費・材料費高騰、医療費改定の幅が小さく、 赤字増大する

昭和50年６月20日	三浦市救急医療体制「三浦方式」が発足し、当番制実施
昭和54年	病院事業経営健全化開始（５か年継続事業） 不良債務３億7,150万円の解消をはかる
昭和55年７月29日	救急指定病院　認可される
昭和55年12月１日	基準看護特２類　承認される（保険第3062号）
昭和56年４月１日	耳鼻いんこう科新設　７科
昭和56年５月１日	総合病院の認可（神奈川県指令医整第70号）
昭和57年４月１日	三浦半島広域病院群輪番制開始
昭和57年６月	開設30周年となる
昭和59年３月	病院事業経営健全化終了（５か年継続事業）
昭和59年９月３日	病院売店オープン
昭和60年９月	全身用Ｃ．Ｔ．設置される
昭和62年３月31日	名誉院長　継　茂　退任
昭和62年７月１日	三浦市立病院運営審議会設置
昭和62年10月19日	三浦市立病院運営審議会へ諮問「三浦市立病院の将来のあり方について」
昭和63年３月31日	２代院長　丸山　理一　退任
昭和63年４月１日	３代院長　五十嵐　捷介　就任
昭和63年７月	病棟に冷暖房機器整備される。
平成元年３月29日	三浦市立病院運営審議会より「三浦市立病院の将来のあり方について」中間のまとめが報告される
平成元年４月１日	坂本理事就任
平成元年11月17日	病院の経営診断を実施し、経営診断等結果報告書及び経営改善事業計画策定に関する報告書が完了
平成２年１月８日	院内に病院改善推進委員会を設置
平成２年２月23日	三浦市立病院運営審議会より「三浦市立病院の将来のあり方について」答申される
平成２年４月１日	二次診療までを主体に救急24時間365日応需体制を開始する
平成２年５月25日	三浦市立病院運営審議会へ再諮問 「三浦市立病院の経営改善の進行について意見を伺う」
平成３年８月19日	三浦市立病院運営審議会より、「三浦市立病院の経営改善の進行について意見を伺う」中間のまとめが報告される
平成４年２月29日	病院の再整備計画を実施し、三浦市立病院再整備計画策定業務に関する報告書が完了
平成４年３月31日	看護婦宿舎１棟（６戸）完成
平成５年３月31日	三浦市立病院運営審議会より、「三浦市立病院の経営改善の進行に

ついて意見を伺う」答申される

平成５年12月２日　三浦市立病院運営審議会へ諮問
１　新病院建設までの間における、当面の現施設のリニューアル及び効率的な病院運営について意見を伺う
２　新病院建設に向けてのプロセスについて意見を伺う（保健・福祉との連携、新病院建設場所の選定も含む）
３　日常の病院経営・病院運営について審議会より常時建議して頂く

平成７年３月10日　付属棟完成
平成７年３月23日　坂本理事退職
平成７年７月21日　小児科外来を診療管理棟３階旧会議室に移転
平成７年８月25日　診療管理棟２階旧小児科に内科救急診療室及び内視鏡室新設
平成７年11月29日　三浦市立病院運営審議会より、平成５年 12 月２日付諮問に対する中間のまとめが報告される
平成８年３月６日　病院敷地内に三浦藤沢信用金庫現金自動設備及び附帯施設の整備
平成８年４月１日　神経内科新設　８科
平成８年12月２日　病院へ京浜急行バスの運行
平成９年12月５日　ＣＴ更新
平成９年３月31日　３代院長　五十嵐　捷介　退任
平成９年４月１日　４代院長　佐藤　實　就任
平成９年４月　整形外科・午後予約診療開始
平成９年６月　内科外来・膠原病の午後外来開始
平成９年７月　救急 24 時間 365 日応需体制の一部委託化（預り金制度廃止）
平成９年９月　薬局薬袋氏名のラベル化導入
平成９年12月　会計処理のシステム化（ポスシステム導入）
平成10年２月10日　三浦市立病院運営審議会より、「新病院建設に向けてのプロセスについて意見を伺う」答申される
平成10年３月　適時適温給食の開始
平成10年３月31日　４代院長　佐藤　實　退任
平成10年４月１日　５代院長　大塚　尚之　就任
平成10年６月１日　新看護 2.5：１（Ａ）看補６：１採用
平成10年８月14日　耐震診断調査委託実施
平成10年10月23日　病院建替えに係る基本調査委託実施
平成11年２月１日　新看護２：１（Ａ）採用
平成11年６月　消化器、肝臓病の午後外来診療開始
平成11年８月　ペースメーカー移植術
平成11年12月　内科外来予約診療開始

平成12年３月	三浦市立病院基本計画策定
平成12年４月	医療相談室設置
平成12年５月	検体・検査管理加算（１）認可（検１）第 86 号
平成12年７月	ＳＰＤ（診療材料）システム導入
平成12年11月	インフルエンザ予防接種出張接種（施設）
平成13年３月	院外処方箋発行へ移行（全科）
平成13年５月	内科に第５診療室を設置
平成14年３月	第１病棟休止
平成14年５月	ウィン号マイクロ無料送迎バスの運行開始
平成14年７月	人間ドック無料送迎サービスの運行開始
平成14年９月	新病院（地下１階、地上４階）新築工事着工
平成15年３月31日	５代院長　大塚　尚之　退任
平成15年４月１日	６代院長　五十嵐　俊久　就任
平成15年５月	小児救急試行開始
平成16年３月17日	新病院開院（免震構造、病床数 136 床）
	オーダリング・システム導入
平成16年４月１日	リハビリテーション科新設　９科
平成16年８月16日	運営懇話会　発足
平成16年９月30日	新病院完成（地上４階地下１階、免震構造、病床数 136 床、駐車場約 170 台分）
平成17年２月22日	ドクターヘリ・シミュレーション実施
平成17年４月１日	麻酔科新設　10 科
平成17年８月25日	経営懇話会　発足
平成19年３月31日	６代院長　五十嵐　俊久　退任
平成19年４月１日	７代院長　小澤　幸弘　就任
平成20年４月１日	病院給食業務の民間委託開始
平成20年10月１日	脳神経外科新設　11 科
平成21年３月	三浦市立病院改革プラン策定
平成21年３月１日	SPD システム業務委託開始
平成22年４月１日	地方公営企業法全部適用
	総病院長（病院事業管理者）　小澤　幸弘　就任
平成22年４月	地域医療科設置
平成22年５月	訪問診療開始
平成23年７月	皮膚科新設　12 科
平成23年７月	泌尿器科新設　13 科
平成24年１月	来院者駐車場用地の貸付開始

平成25年９月	介護保険指定居宅サービス事業者及び指定介護予防サービス事業者の指定
	訪問リハビリテーション開始
平成25年10月	入院患者対象土曜リハビリテーション開始
平成25年10月１日	16 列型マルチスライスＣＴへ更新
平成26年１月13日	電子カルテシステム導入
平成26年３月15日	「在宅看取りを考える」シンポジウム開催
平成26年４月１日	医療安全管理室設置
平成26年６月22日	レスパイト健診開始
平成26年９月１日	地域包括ケア病棟 24 床開始
平成27年１月１日	横須賀共済病院、衣笠病院、聖ヨゼフ及び三浦市立病院による四病院連携会議発足
平成27年３月７日	「在宅療養を考える集い」シンポジウム開催
平成27年３月27日	タブレット端末により、院外にあって電子カルテシステムにアクセスする訪問診療等電子カルテ参照・記入システム導入

３　施設の概要

（１）土地・建物

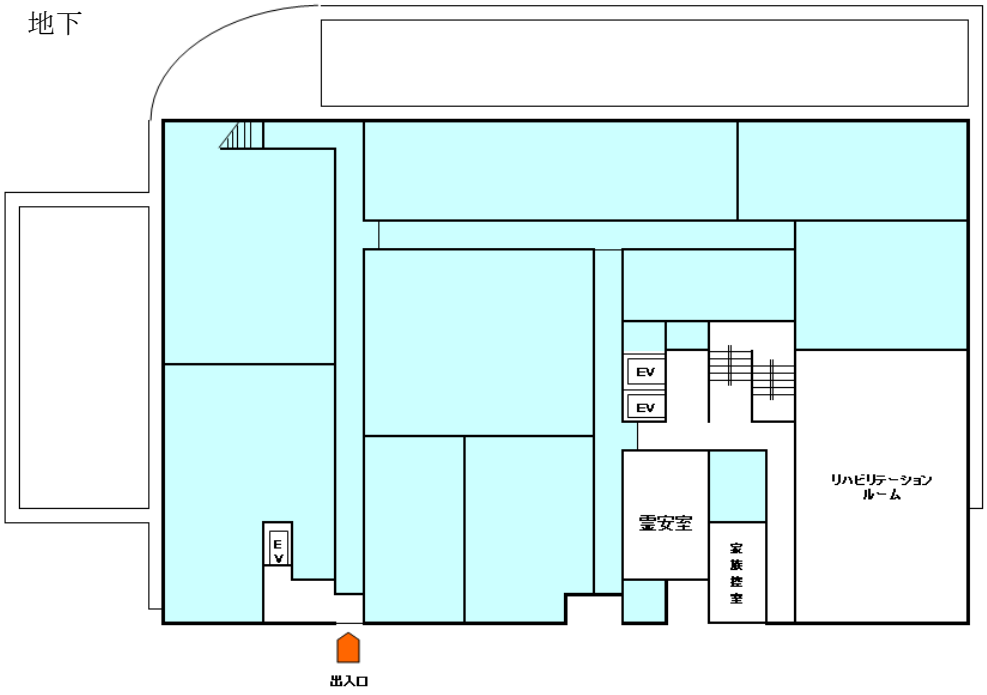
＜土地＞	13,756.53 ㎡
＜建物＞	3,080.96 ㎡
病院（地下１階、地上４階、免震構造）	2,870.32 ㎡
キャノピー（１）	92.89 ㎡
キャノピー（２）	12.98 ㎡
ブロワー室（地上１階）	15.91 ㎡
マニホールド室（地上１階、空気機械室）	18.80 ㎡
付属棟（地上２階、作業室、図書室）	70.06 ㎡

（２）設備

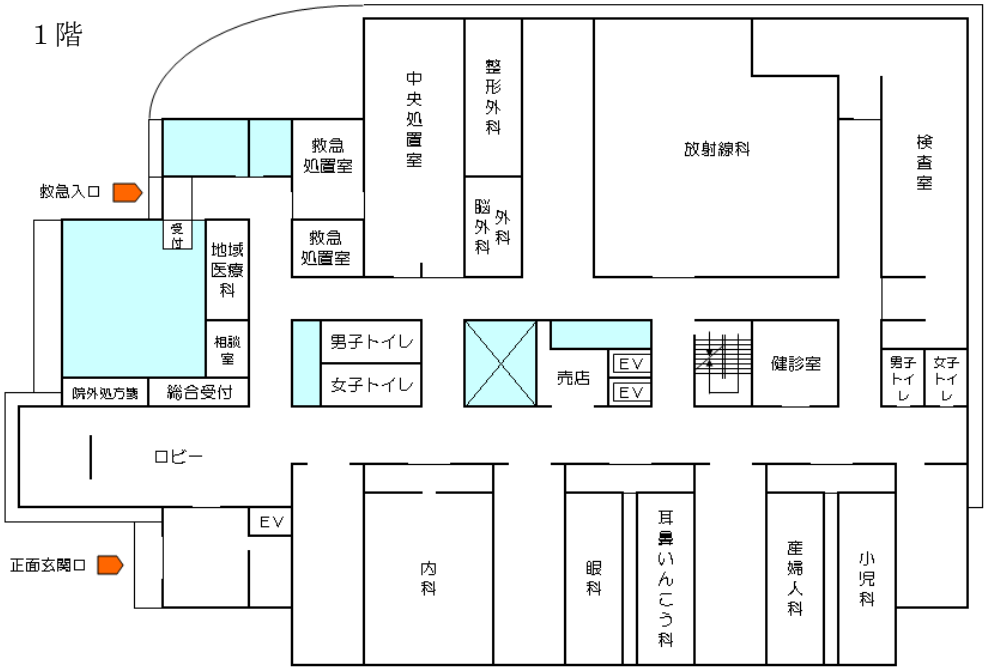
＜電気設備＞	845KW 受電、負荷容量 2,000KVA
＜蓄電池設備＞	10 分間蓄電池
＜無停電設備＞	瞬断ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ方式（手術室、HCU、乳児室）
＜弱電設備＞	ｲﾝﾀｰﾎﾝ、ﾅｰｽｺｰﾙ、ITV 設備、TV 共聴設備電気時計設備、院内 LAN
＜電話設備＞	蓄積ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ方式、一般内線 162 台、院内 PHS72 台、ﾅｰｽｺｰﾙ対応 PHS12 台
＜自家用発電機＞	自動始動発電機、開放保護形自己通風三相交流発電機 500 KVA ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ発動機、単純開放ｻｲｸﾙ一軸式、自己空冷式、灯油、燃料、燃料ｵｲﾙﾀﾝｸ 30,000ℓ
＜消火設備＞	消火器設備 10 型 40 箇所、20 型６箇所、ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設備、特殊消火設備電気室、発電機室、ﾎﾞｲﾗｰ室
＜医療ｶﾞｽ設備＞	酸素、笑気、窒素、圧縮空気、吸引、余剰ｶﾞｽ排出
＜昇降機設備＞	５基（寝台用３基、乗用１基、配膳・荷物用１基）
＜給水設備＞	上水入水槽 55 ㎥、雑用水入水槽 144 ㎥、緊急用浄水ろ過装置
＜自動火災報知設備＞	自動火災報知設備、防火扉閉鎖設備、ｶﾞｽ漏れ警報設備
＜空気調和設備＞	冷暖房、水熱源ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｼｽﾃﾑ（補助熱源貫流ﾎﾞｲﾗｰ）ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ 188 基、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ方式 55 基
＜消毒設備＞	ｵｰﾄｸﾚｰﾌﾞ２基、簡易滅菌装置３基
＜給排水衛生設備＞	給水設備、給湯設備、浄化槽設備
＜免震設備＞	南関東地震対応、国土交通大臣認定 鋼材型ﾀﾞﾝﾊﾟｰ３基・鉛ﾀﾞﾝﾊﾟｰ６基・ｵｲﾙﾀﾞﾝﾊﾟｰ 12 基

４　配置図

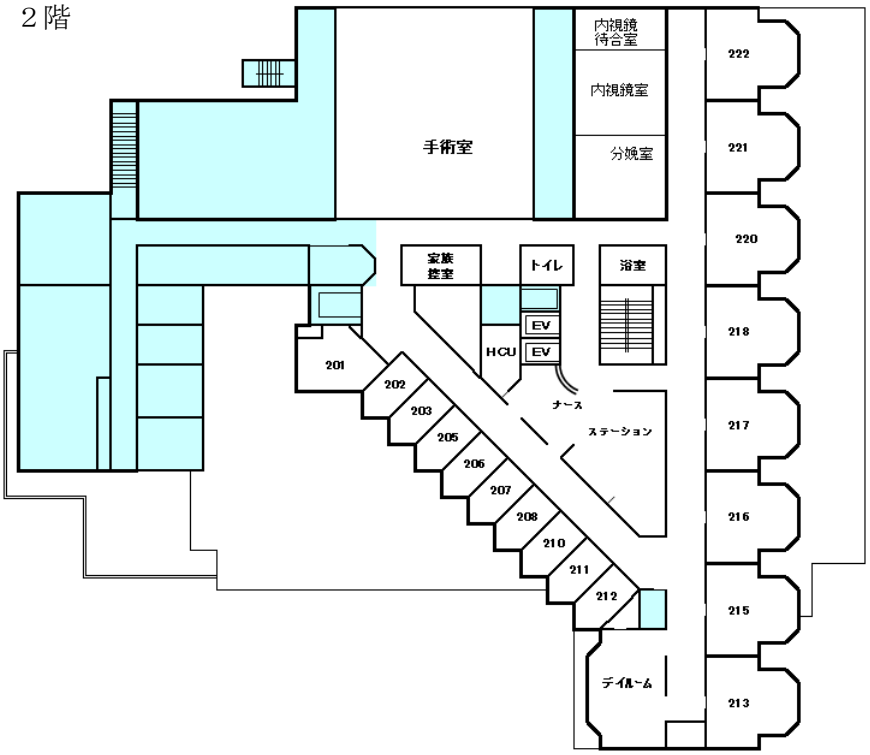
地下


EV
EV
リハビリテーション
ルーム
霊安室
家族控室
EV
出入口

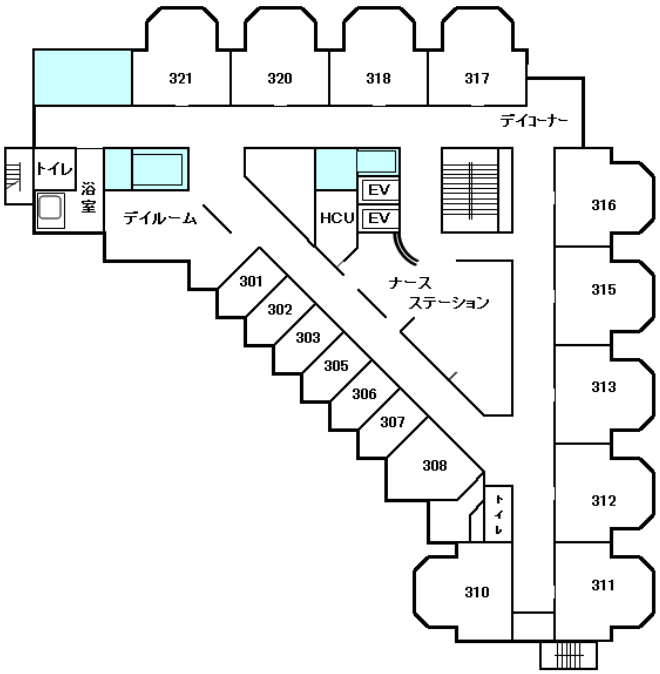
１階


救急入口
救急
処置室
救急
処置室
中央処置室
整形外科
脳外科
放射線科
検査室
受付
地域医療科
相談室
院外処方箋
総合受付
男子トイレ
女子トイレ
売店
EV
EV
健診室
男子トイレ
女子トイレ
ロビー
EV
正面玄関口
内科
眼科
耳鼻いんこう科
産婦人科
小児科

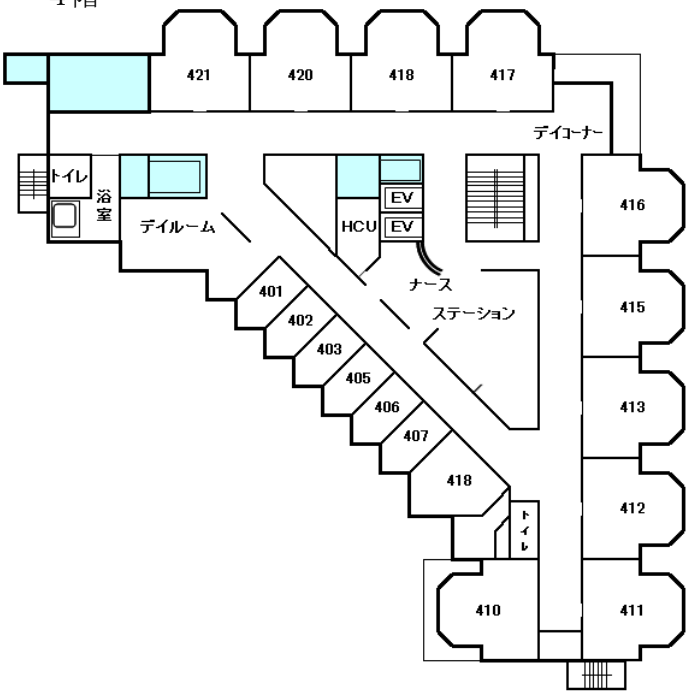
2階


内視鏡
待合室
内視鏡室
分娩室
手術室
222
221
220
218
217
216
215
213
家族
控室
トイレ
浴室
EV
EV
HCU
201
202
203
205
206
207
208
210
211
212
ナース
ステーション
デイルーム

3階


321
320
318
317
デイコーナー
トイレ
浴室
デイルーム
EV
EV
HCU
316
315
313
312
311
310
301
302
303
305
306
307
308
ナース
ステーション
トイレ

4階


421
420
418
417
デイコーナー
トイレ
浴室
デイルーム
HCU
EV
EV
ナース
ステーション
401
402
403
405
406
407
418
トイレ
410
411
412
413
415
416

5　現況

施設名	三浦市立病院
開設者	三浦市長　吉田　英男
管理者	総病院長　小澤　幸弘
所在地	神奈川県三浦市岬陽町４番 33 号
開設年月日	昭和 27 年６月４日
診療科目	13 科（内科、神経内科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、小児科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、麻酔科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科）
病床数	一般病床 136 床
地方公営企業法全部適用	平成 22 年４月１日
敷地面積	13,756.53 ㎡
建物面積	建築面積　3,080.96 ㎡　延べ床面積　9,349.56 ㎡（付属棟 136.08 ㎡含む）
指定等	保険医療機関、生活保護法指定医療機関、結核予防法指定、労災指定、船員保険法指定、救急告示病院、身体障害者福祉法指定医、母体保護法指定医等

6　施設基準

（1）基本診療科

一般病棟入院基本料　　10 対 1

急性期看護補助体制加算　　50 対 1

一般病棟看護必要度評価加算２

救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算

診療録管理体制加算

医師事務作業補助体制加算

療養環境加算

退院調整加算

データ提出加算

感染防止対策加算（1）

救急搬送患者地域連携紹介加算

救急搬送患者地域連携受入加算

患者サポート体制充実加算

医療安全対策加算１

地域加算６級地

病棟薬剤業務実施加算

（2）特掲診療科

がん性疼痛緩和指導管理料

肝炎インターフェロン治療計画料

薬剤管理指導料

検体検査管理体制加算（Ⅱ）

検体検査管理体制加算（Ⅲ）

無菌製剤処理料

運動器リハビリテーション料（Ⅰ）

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）

ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術

医科点数表第２章第 10 部手術の通則５及び６に掲げる手術

輸血管理料及び輸血適正使用加算

在宅療養支援病院（「第 14 の２」の１の（1）に規定する在宅療養支援病院〔機能強化〕）

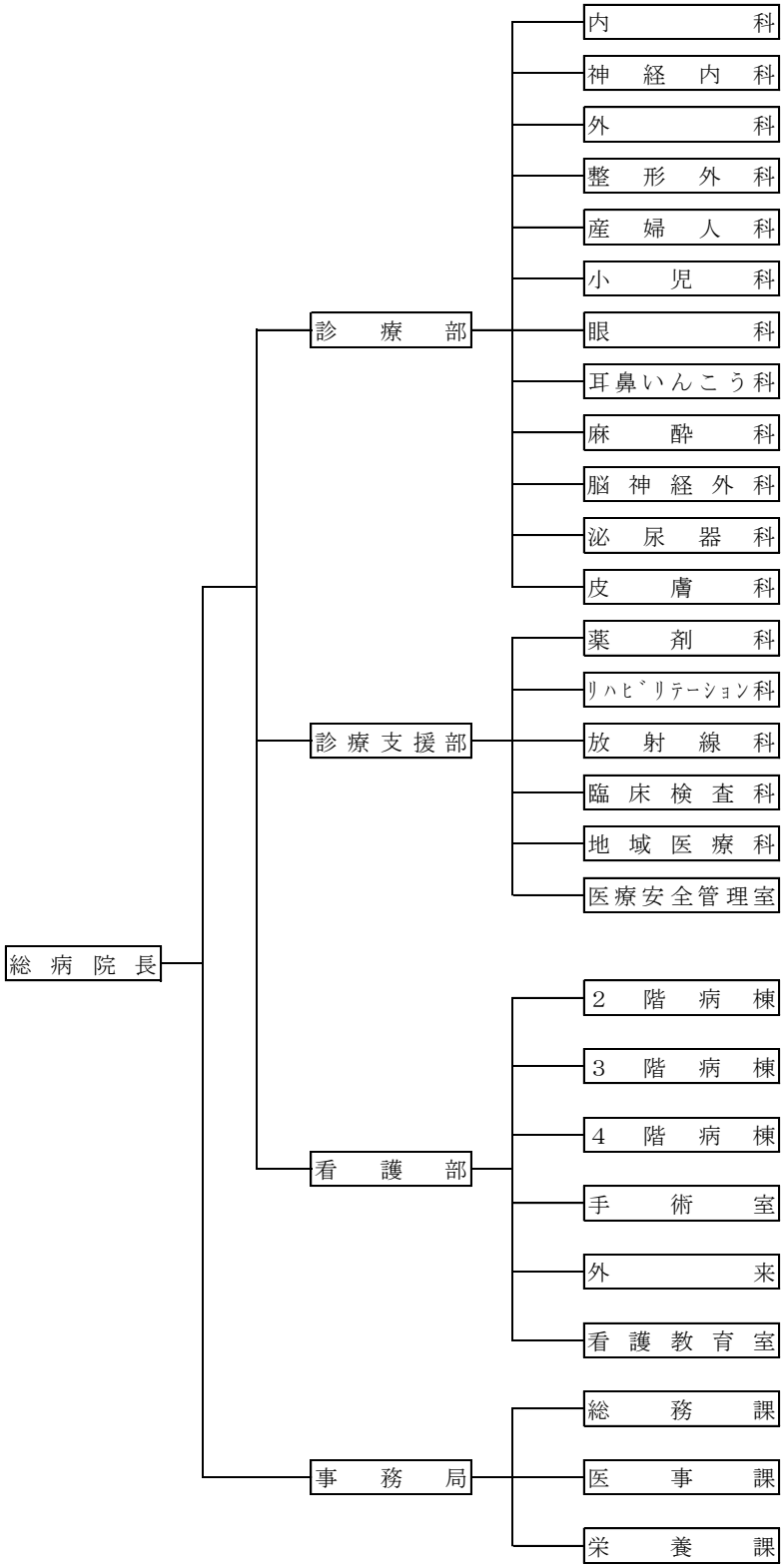
在宅時医学総合管理料及び特定施設入居時等医学総合管理料

在宅がん医療総合診療料

病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に対する体制
遠隔画像診断による写真診断（送信側）
コンタクトレンズ検査料（Ⅰ）
糖尿病合併症管理料
がん患者カウンセリング料
外来リハビリテーション診療料
夜間休日救急搬送医学管理料
喘息治療管理料
糖尿病透析予防指導管理料
院内トリアージ実施料
ＣＴ撮影（マルチスライス 16 列以上 64 列未満）
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
地域連携診療計画退院時指導料Ⅰ（大腿骨頸部骨折）
在宅患者訪問看護指導料及び同一建物居住者訪問看護指導料
植込型心電図検査
ＨＰＶ核酸検出及びＨＰＶ核酸検出（簡易ジェノアタイプ判定）
地域包括ケア入院医療管理料Ⅰ

7　組織及び職員配置状況

（1）組織図



（２）職員の状況

（単位：人）

職　　名	平成25年３月31日 現在職員数	平成26年３月31日 現在職員数	平成27年３月31日 現在職員数
管　理　者	1	1	1
医　　師	14	14	13
看　護　師 准看護師	(1) 75	(1) 79	(1) 80
医療技術員	19	29	30
事　務　員	7	10	9
そ　の　他	(1) 0	(1) 0	(0) 0
計	(2) 116	(2) 133	(1) 133

（　）は、外書きで、再任用短時間勤務職員

Ⅱ　各科の活動状況

1　診療部

（1）医局

診療部長　木谷　勇一

○活動状況

（1）平成 26 年度のトピックス

平成 21 年より当院に赴任された内科来田亮二先生が、平成 26 年 11 月に退職された。補充はなく欠員のまま診療となる。

（2）業務実績

区分	H22	H23	H24	H25	H26
内科	齊藤 真	齊藤 真	齊藤 真	齊藤 真	齊藤 真
	来田 亮二	来田 亮二	来田 亮二	来田 亮二	来田 亮二※
	兒玉 康史	兒玉 康史	兒玉 康史	兒玉 康史	兒玉 康史
	堀内 俊治	堀内 俊治	堀内 俊治	堀内 俊治	堀内 俊治
		森 琢磨	森 琢磨	森 琢磨	森 琢磨
(地域医療科)	兒玉 末	兒玉 末	兒玉 末	兒玉 末	兒玉 末
外科	木谷 勇一	木谷 勇一	木谷 勇一	木谷 勇一	木谷 勇一
	鈴木 誠	鈴木 誠	和田 博雄	和田 博雄	佐々木一喜
	和田 博雄	和田 博雄	青山 徹	青山 徹	和田 博雄
整形外科	内川 健	内川 健	内川 健	内川 健	内川 健
	吉田 成寿	石田 良太	石田 良太	石田 良太	石田 良太
	石田 良太				
小児科	欠	欠	五味渕一三	五味渕一三	五味渕一三
眼科	望月 至	望月 至	望月 至	望月 至	望月 至
	飯野 真理				
産婦人科	大庭 信彰	大庭 信彰	大庭 信彰	大庭 信彰	大庭 信彰
麻酔科	欠	欠	欠	欠	欠

※H26.11.30 退職

（２）内科

医長　齊藤　真

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　外来診療

午前は新患及び予約のない再診外来と予約一般外来を行っている。午後の外来は主に専門医による専門外来を行っている。平成 26 年度は引き続き循環器外来、呼吸器外来、糖尿病外来及び健診結果外来を設け診療にあたった。

イ　入院患者の疾患分類

平成 26 年度の入院患者数は前年度に比べ増加した。当院の特徴として、入院患者の半数以上が高齢者であるため、肺炎の入院頻度が他の地域と比べて極端に多くなっている。

（２）業務実績

ア　外来業務

（ア）業務実績

平成 26 年度は平成 25 年度に比べ外来患者数が減少した。今後も専門外来に力を入れ、様々な疾患に対応していきたい。

（イ）外来患者数

（単位：人）

区分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
H26	3,053	3,001	2,926	3,101	3,207	3,002	3,095	2,852	3,446	3,598	2,843	3,054	37,178
H25	3,189	3,412	3,200	3,394	3,550	3,162	3,627	4,230	3,774	3,378	3,242	3,430	41,588

イ　入院患者

（ア）業務実績

平成 26 年度は平成 25 年度と比べ入院患者数が増加した。肺炎の入院頻度が他の地域と比べて極端に多いので、疾患分類に対応した診療をしていきたいと思う。

（イ）入院患者

（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26	2,041	1,944	1,858	2,213	2,032	1,829	1,936	1,761	1,880	2,017	1,653	1,573	22,737
H25	1,663	1,847	1,803	2,010	1,917	1,684	1,868	1,833	1,718	2,035	2,091	2,064	22,533

（３）神経内科

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

神経内科外来は毎週月曜・火曜・木曜・金曜日の午後に横浜市立大学から医師が派遣され、パーキンソン病、脳血管疾患及び神経難病の患者の診療にあたっている。

（２）業務実績

ア　外来業務

平成 26 年度の外来患者数は 1,950 人、平成 25 年度の外来患者数は 2,007 人、平成 24 年度は 1,955 人であった。

イ　外来患者数

（単位：人）

区分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
外来	1,955	2,007	1,950

（４）外科

診療部長　木谷　勇一

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　スタッフ

平成 26 年度外科スタッフは､青山徹先生が神奈川県立がんセンター消化器外科(肝胆膵）に移動となり、佐々木一嘉先生（平成４年卒）が赴任され、３人体制で診療した。佐々木先生は、いかなる手術に対しても経験豊富であり、当科の手術力の向上を促した。

イ　診療範囲

前年度同様、消化器、呼吸器、乳腺・甲状腺等に限らず、体表・軟部組織、外傷等、年齢に制限なく診療することを目標としている。また、該当疾患の診断、手術・非手術を含めた治療、および併存疾患を含めた全身管理の研鑽する努力している。また、抗癌剤等の後療法にも力を注いでる。

（２）業務実績

ア　年度別外科手術件数

（単位：件）

区分	術式	平成24年度	平成25年度	平成26年度
甲状腺	甲状腺切除	0	0	1
	甲状腺切除＋頚部リンパ節廓清	0	0	0
	頚部リンパ節廓清	1	0	0
乳腺	Bt＋Ax	6	10	5
	Bp＋Ax	2	1	1
	Bp	1	2	2
	Bt	0	0	2
	乳腺腫瘤生検	3	6	5
肺	開胸肺葉切除	0	0	0
	開胸肺部分切除	0	0	0
	開胸ブラ切除	0	0	0
	胸腔鏡下肺部分切除	0	0	0
	胸腔鏡下ブラ切除	1	1	0
食道	胸部食道切除術	0	2	0
	食道バイパス術	1	0	0
	アカラシア手術	0	0	0
胸壁	胸壁腫瘍摘出術	1	0	0

（単位：件）

区分	術式	平成24年度	平成25年度	平成26年度
胃	幽門側胃切除	12	6	5
	胃全摘術	6	1	4
	単開腹	0	0	0
	残胃全摘	1	1	0
	胃空腸吻合	0	0	0
	局所切除	0	0	1
十二指腸潰瘍穿孔	穿孔部閉鎖、大網被覆	0	0	1
	Nissen噴門形成術	0	0	1
肝癌	経皮ラジオ波焼灼術	0	0	0
	開腹ラジオ波焼灼術	1	0	0
	区域切除	0	0	0
	葉切除	0	0	0
	腹腔鏡下肝嚢胞開窓術	0	0	1
胆管	総胆管切除	0	0	0
	肝管空腸吻合術	0	1	0
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	6	5	8
	開腹胆嚢摘出術	3	3	6
	総胆管結石採石術	5	0	7
膵	幽門輪温存膵頭十二指腸切除術	1	0	1
	膵体尾部切除	0	0	2
小腸	イレウス解除術	3	0	5
	小腸部分切除	0	1	2
	腸吻合・腸縫合	1	0	3
結腸	結腸切除	14	10	21
	腹腔鏡補助下結腸切除	0	0	0
	人工肛門造設	3	2	2
	人工肛門閉鎖	0	0	0
虫垂	虫垂切除	7	3	8
	腹腔鏡下虫垂切除	0	0	5
直腸	高位前方切除	1	1	1
	低位前方切除	1	0	2
	直腸切断術	0	5	5
	ハルトマン手術	1	1	2
	経肛門的切除	4	1	2
	Gant－三輪法	0	0	0
腹腔内腫瘤	腫瘤摘出	0	0	0
後腹膜腫瘍	単開腹	0	0	0
	腫瘍摘出	0	0	0
腸間膜腫瘍	腹腔鏡下腫瘍摘出術	0	0	0
ヘルニア（鼠径）	鼠径ヘルニア根治術	26	29	32
（大腿）	大腿ヘルニア根治術	3	1	0
（小児鼠径）	小児鼠径ヘルニア根治術	1	1	1
（臍）	臍根治術	1	0	0
（腹壁瘢痕）	腹壁瘢痕ヘルニア根治術	1	0	2
（閉鎖孔）	閉鎖孔ヘルニア根治術	1	1	0
体表	植皮	2	0	2
	皮下埋め込み型CVポート設置	25	11	16
	リンパ節生検	1	1	4
	皮下腫瘤	3	3	3
その他	その他	1	1	3

イ　年度別外科インターベンション数

（単位：件）

区分	術式	平成24年度	平成25年度	平成26年度
EMR	食道癌	1	0	1
	胃癌	8	8	3
	胃良性	2	0	0
	大腸癌	19	11	5
ステント	食道ステント	2	0	4
	十二指腸ステント	1	1	1
	胆道ステント	4	0	2
経皮経肝ドレナージ	PTCD	12	4	6
	PTGBD	1	1	1
	PTAD	2	0	0
	肝嚢胞ドレナージ	0	2	2
血管造影	腹部血管造影	4	1	0
	TACE	3	4	2
	TAI	0	3	1
食道静脈瘤	食道静脈瘤EVL	0	1	1
	食道静脈瘤硬化療法	0	0	4
内視鏡的ブジー	GF　バルーンブジー	0	4	0
	CFバルーンブジー	2	1	1
その他内視鏡的治療	PEG	0	0	4
	GF止血術	0	4	1
	GF　APC止血術	3	0	0
	GF　エタノール注入	0	0	0
	GF異物除去	3	1	3
	CF異物除去	0	0	0
	S状結腸捻転解除	0	2	2
	ERCP／EST	5	7	10

（５）整形外科

科部長　内川　健

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

三浦市立病院整形外科は医師２名にて外来診療、病棟業務、救急対応及び手術を行っている。ひとつひとつのことを丁寧に確実に誠意をもって診療にあたりたいと考えている。また、平成 26 年度は Colibri バッテリーシステムを購入したことにより、スピーディーかつ正確な手術が行えるようになった。

平成 26 年度も大きな事故なく、無事に仕事をすることができたのも病院の方々のおかげと感謝している。

（２）業務実績

ア　手術実績

（単位：件）

区分	計
難治性骨折超音波治療法（一連につき）	2
体外式脊椎固定術（ベスト式のもの）	1
骨折観血的手術（下腿）	12
骨折観血的手術（大腿）	40
（時）骨折観血的手術（大腿）	1
骨折観血的手術（前腕）	8
骨折観血的手術（上腕）	2
骨折観血的手術（足）	1
骨折観血的手術（指（手，足））	3
骨折非観血的整復術（上腕）	2
骨折非観血的整復術（前腕）	16
（時）骨折非観血的整復術（前腕）	4
（休）骨折非観血的整復術（前腕）	1
（深）骨折非観血的整復術（前腕）	2
骨折非観血的整復術（下腿）	2
骨移植術（自家骨移植）	4

（単位：件）

区分	計
関節脱臼非観血的整復術（肩）	7
（休）関節脱臼非観血的整復術（肩）	1
（深）関節脱臼非観血的整復術（肩）	1
関節脱臼非観血的整復術（手）	1
（幼）関節脱臼非観血的整復術（小児肘内障）	3
関節脱臼非観血的整復術（指・手）	2
関節脱臼非観血的整復術（指・足）	1
顎関節脱臼非観血的整復術	1
アキレス腱断裂手術	2
難治性骨折電磁波電気治療法（一連につき）	1
手根管開放手術	1
手掌異物摘出術	1
（休）足底異物摘出術	1
骨内異物（挿入物）除去術（前腕）	1
骨内異物（挿入物）除去術（下腿）	8
骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）	1
骨内異物（挿入物）除去術（足）	3
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（大腿）	1
骨折観血的手術（膝蓋骨）	3
骨折観血的手術（手（舟状骨を除く））	1
骨折経皮的鋼線刺入固定術（手）	1
骨折非観的整復術（足，その他）	3
（足）骨折非観的整復術（足，その他）	1
（休）骨折非観的整復術（足，その他）	1
関節内骨折観血的手術（足）	3
人工骨頭挿入術（股）	11
骨折経皮的鋼線刺入固定術（指（手，足））	1

イ　患者数実績

（単位：人）

区分	一日平均患者数	合計
外来患者数	120	29,346
入院患者数	31	11,465

（６）産婦人科

科部長　大庭　信彰

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　外来診療

午前中は主に新患と一般外来、ドック検診を行っている。午後は予約患者の診療に加え、火曜、金曜の午後は市がん検診を行っている。週末は月１回、市がん検診を第２土曜の午前に行っている。

診療は医師一人の体制であるが、年間に計 12～14 日程度行われる市の集団健診や市内介護施設入居者の健診も担当しているため、それに該当する日は午前中の婦人科外来は休診としている。

イ　骨盤臓器脱

骨盤臓器脱は加齢による骨盤底支持組織の支持力低下、分娩時に負う靭帯などの大小の損傷の蓄積により、多産・高齢になると発症する傾向が高くなる。しかし発症しても家族・知人などに気軽に相談しにくいこと、病態・病因も本人自身には見当がつきにくいこと、悪性疾患と宣告されることを懸念するなどの諸種の理由で医療機関に来るのを躊躇し、積極的には受診しない傾向にある。

以前、市の広報誌にこの疾患について紹介・解説文を載せたところ、一回だけの小さな記事であったがそれを見てはじめて当科外来を受診された人が何人もいた。当地域は高齢者が多く暮らしているのでまだ受診せず治療を受けていない潜在患者はいるのではないかと推測される。

（２）業務実績

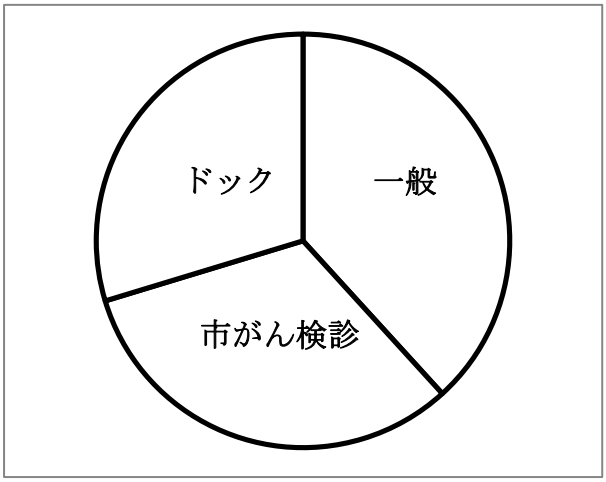
ア　子宮がん検診業務

（ア）業務実績

平成 26 年度の子宮がん検診受診者は 714 人であった。総数では前年度の 702 人より微増している。内訳では、一般健診受診者が増加し、市がん検診が減少、ドック受診者数はほとんど変わっていない。

（イ）分類

	人数	
一般	273 人	そのうち体がん検査も受けた人＝59%
市がん	255 人	そのうち体がん検診も受けた人＝63%
ドック	219 人	そのうち体がん検診も受けた人＝75%



（７）眼科

医師　望月　至

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　外来診療

点眼にては、難治である乾性角結膜炎に対し、涙点プラグ挿入による治療を開始した事により、軽快する症例が増加し、患者の満足度を高める結果となった。

電子カルテ導入時の昨年と比し、待ち時間は短縮の傾向にあるが、外来診療の質の向上を保った上での更なる待ち時間短縮が課題となっている。

イ　手術

白内障手術における眼内レンズの設定値の決定のために必要な眼軸長測定器が新規なものとなったことにより、過去よりもさらに精度の高い眼軸長測定及び、眼内レンズ設定値の決定が可能となった。

（２）業務実績

ア　外来業務

（ア）外来患者数

外来患者数は減少傾向である。平成 26 年度は初診の患者数が前年度より増加した。そのため、再診患者の方より初診患者の方の待ち時間が長いため、受診を危惧してしまう事が理由とし予想される。待ち時間を減らすための更なる熟考を要す。

入院患者数は増加傾向にある。理由とし、眼軸長測定器が新規なものとなったことが予想される。今後、更に増加させる新たな案の熟考を要す。

（イ）入院・外来患者数

（単位：人）

区分	平成 25 年度	平成 26 年度
外来	7,158	6,901
入院	102	159

イ　手術業務

（ア）白内障手術件数

手術件数は増加傾向である。理由として白内障手術前の検査機器である眼軸長測定器が新規なものとなったこと及び前年度に白内障手術の水晶体乳化吸引装置が新規なものとなったことが考えられる。そのため、白内障手術時の術中合併症の減少及び術後の満足度の向上が得られ、白内障手術希望者が増加したことが理由として予想される。今後、更に増加させる新たな案の熟考を要す。

（イ）手術件数

（単位：件）

区分	平成 25 年度	平成 26 年度
白内障手術	379	434
その他の手術	2	0
合計	381	434

（８）小児科

科部長　五味渕　一三

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　外来業務

平成 24 年４月、小児科常勤医として、五味渕が着任。今までの診療体制を引き継ぎ、午前中は一般外来、午後は予約外来として、月曜日及び水曜日はぜんそく外来、火曜日及び木曜日は予防接種外来、第３木曜日は横浜市立大学病院附属病院小児科医による腎臓専門外来を行っている。また、行政機関の依頼による結核接触者健診並びに福島県外避難者県民健康管理調査も受諾している。

イ　地域との連携

現在、常勤医 １ 名であり、小児の入院受入れは行っていないため、周辺の医療施設との連携が必須となる。そこで、市内の医院からの患者紹介を受け、そこで入院適応のある場合には、横須賀市立市民病院、横須賀市立うわまち病院、神奈川県立こども医療センター、横浜市立大学付属病院などに紹介するようにしている。

また、平成 26 年９月に第一回三浦半島周産期懇話会が横須賀市立うわまち病院で開催され、当該地域における周産期医療の現状と課題について話し合いが行われた。当院では現在分娩は行っていないが少子化対策における地域の取組に協力していく次第である。

（２）業務実績

ア　院外活動

（ア）業務実績

院外活動として、三浦市の児童虐待対策や乳児健診などにも携わっている。特に児童虐待対策については、神奈川県、三崎保健福祉事務所、三浦市の児童虐待対策会議に参加している。児童虐待対策は、早期発見が重要な社会的な課題であるため、今後は地域で児童虐待対策チームなどを立ち上げ、活動していく必要性を感じている。

（イ）業務実績

近年は、医療の進歩などにより、慢性疾患の子どもたちが、思春期～成人期を迎えることも多くなったため、小児科から成人診療科への継続的な移行が必要である。そこで、どうすれば、患者が安心して、小児科から成人診療科へ移行できるのか？この疑問を解決する糸口として、週一回の内科初診外来を担当して２年あまりになった。小児と成人では、診療への考えが異なることを経験し、現在は、小児から成人へと成長していく患者たちを継続して診療することに非常に役立っている。このような機会を与えてくれた病院と診療面で、大変お世話になっている内科医師をはじめ、関連のスタッフのみなさんに、この場を借りて深謝したい。

（９）耳鼻いんこう科

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

当院では、毎週月曜・火曜・水曜・木曜日午後に横浜市大及び横須賀共済病院の応援を得て、耳鼻いんこう科外来を実施している。

（２）業務実績

ア　外来業務

外来患者数は、平成 24 年度は 5,632 人、平成 25 年度の外来患者数は 4,205 人、平成 26 年度は 3,490 人であった。平成 24 年度から平成 26 年度にかけて外来患者数は外来患者数が減少した。今後も、患者から信頼される診療をしていきたいと思う。

イ　外来患者数

（単位：人）

区分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
外来	5,632	4,205	3,490

（10）麻酔科

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

当院では、毎週月曜・火曜・水曜・金曜日の午後に横須賀共済病院及び横浜南部病院の応援を得て、麻酔科を実施している。手術前の患者様に手術の説明から術中覚醒までの麻酔管理を行っている。

（２）業務実績

ア　平成 26 年度麻酔実施状況

平成 26 年度は局所麻酔の件数が 484 件、全身麻酔が 178 件、全麻・硬麻は 61 件、腰椎麻酔が 10 件、硬膜外０件、伝達麻酔０件という実績であった。

イ　麻酔件数表

（単位：件）

区分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
全麻・硬麻	4	5	7	4	6	5	8	6	6	5	2	3	61
全身麻酔	12	18	12	15	16	17	14	19	10	11	13	21	178
硬膜外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腰椎麻酔	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	10
伝達麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
局所麻酔	44	41	51	49	19	44	49	27	39	25	40	56	484
計	60	65	71	69	42	67	72	53	56	42	56	80	733

（11）脳神経外科

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

当院では、毎週水曜・金曜日の午後に、横須賀共済病院脳神経外科の応援を得て、脳神経外科外来を実施している。また脳ドックの読影についても実施している。

（２）業務実績

ア　外来業務

外来患者数は平成 24 年度 1,571 人、平成 25 年度 1,706 人、平成 25 年度 1,700 人であった。平成 24 年度から平成 25 年度にかけては外来患者数が増加したが、平成 25 年度から平成 26 年度にかけては減少した。

イ　外来患者数

（単位：人）

区分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
外来	1,571	1,706	1,700

（12）泌尿器科

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

当院では、毎週月曜日・木曜日午後に、横須賀共済病院泌尿器科の応援を得て、泌尿器科外来を実施している。

（２）業務実績

ア　外来業務

平成 25 年度の外来患者数は 2,317 人で、平成 26 年度の外来患者数は 2,431 人であった。

イ　外来患者数

（単位：人）

年度	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
H26	160	239	189	212	176	235	217	171	228	198	186	220	2,431
H25	202	217	188	191	178	177	219	176	198	191	178	202	2,317

（13）皮膚科

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

毎週火曜日・金曜日午後に横須賀共済病院の応援を得て、皮膚科外来を実施している。また、病棟における入院患者の皮膚疾患管理も担っている。

（２）業務実績

ア　外来業務

平成 25 年度の外来患者数は 1,898 人で、平成 26 年度の外来患者数は 2,311 人であった。平成 26 年度は皮膚科外来が始まって４年目であり、前年度に引き続き外来患者数も増加した。今後も三浦市ならではの診療ができるようにしていきたいと思う。

イ　外来患者数

（単位：人）

年度	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
H26	179	205	176	203	216	191	175	192	171	177	207	219	2,311
H25	178	155	177	191	151	164	205	146	178	139	94	120	1,898

（14）研修医

診療部長　　木谷　勇一

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

平成平成 26 年度は、横須賀共済病院より 16 名、横浜市大より３名の研修医が当院で地域医療の研修を行った。地域の中小病院では、限られた医療資源の中で最良の診断・治療・後療法を行っていることを示したつもりである。来院した研修時期により、十分な教育材料に恵まれないこともあるが、当院に来られた研修医達は皆優秀でしたので、このことを十分理解されたと思われる。

（２）平成 26 年度研修医一覧

平成 26 年度	佐合　智子	倉繁　智明		
	以上横浜市立大学より			
	能登　紀彰			
	以上横浜市立大学附属市民総合医療センターより			
	笹川　麻由	木田　達也	高橋　純一	佐治　龍
	雨宮　あつこ	熊野　曜平	岩城　慶大	登本　彩子
	土屋　淳	堤　壮吾	松村　怜生	田村　裕子
	案納　忠譜	石井　慧	武井　将伍	松井　香折
	以上横須賀共済より			

２　診療支援部

（１）薬剤科

薬剤科長　猪崎　佐和子

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　院内医薬品在庫管理

平成 18 年から薬剤師定数５名であったが、４月に正規職員１名の採用で８年ぶりに６名に増員となった。薬学６年生卒者の入職により新しい情報、知識等新たな風が吹いた一年であった。また、これにより時間外勤務時間数は 11%減となり職員の健康管理の面でも改善しつつある。

イ　病棟薬剤業務加算算定（９月より）

職員の １ 名増員により、これまで積み重ねてきた病棟での情報提供や持参薬管理業務等が診療報酬として加算となり、月平均 548 件、548,000 円の増収となった。

ウ　院内医薬品在庫管理

棚卸資産減耗費として計上する、医薬品の期限切れ、破損及び指示変更による廃棄はここ数年、毎年十数パーセントの削減となり経費削減に繋がっている。年２回の院内ラウンドが効を奏し各科定数配置薬の期限切れによる廃棄薬は極めて減少しているが、救急カート配置薬での期限切れの削減に苦労している現状である。昨年も定数配置薬の見直しは行ってきたが、来年度は払い出しデーターを利用し救急カートの配置品目、数量の見直しを図り、更なる在庫管理を進めていく所存である。

エ　６年生薬学生実務実習（11 週間）

１名受入れ。６年生薬学生受け入れ３年目である。当院では実施していない業務においては他の医療機関の協力をいただいている現状であるが、薬学生を指導することにより職員の更なる知識及び技術の向上並びに意識改革に繋がっていると考える。

オ　名称の変更

「診療支援部」の設置により名称が「薬局」から「薬剤科」へ変更となった。長年共にした名称がなくなるのは寂しい思いであるが、診療支援部の一員として、又

これまで以上にチーム医療の一員として「病める人あるところに寄り添い薬剤師あり。病める人を思う心はひとつ」をモットーに薬剤師の職能を生かしていきたい。

（2）業務実績

ア　調剤業務

区分	処方箋枚数			調剤数		院外処方
	外来		入院	外来	入院	疑義照会
	院内処方	院外処方				件数
年間	2,539	61,027	17,615	4,444	48,500	3,045

※電子カルテの導入により、屯用処方箋は廃止となった。

イ　薬剤管理指導業務

区分		内科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	小児科	耳鼻科	計
服薬指導患者数		196	303	237	0	0	0	0	736
総服薬指導件数		565	733	1,020	0	0	0	0	2,318
算定件数	380 点	188	270	273	0	0	0	0	731
	325 点	103	150	227	0	0	0	0	480
麻薬加算件数									57
退院時薬剤情報加算件数									377

電子カルテの導入により業務効率が上がったこと、部門システムのバージョンアップにより指導記録が簡便となったことにより、薬剤管理指導業務及び無菌調整加算を含め、7,957,700 円となり昨年度に比べ３割（27%）の増額となった。

ウ　注射剤混合業務

区分	無菌調剤処方件数		無菌調整件数（中心静脈）	調整本数
年間	2,165		1,503	1,610
	化学療法調整	入院	151	252
		外来	5	

エ　麻薬管理業務

区分	処方箋枚数		
	内服	外用	注射
年間	156	124	1,339

オ　血液製剤管理業務

区分	件数
年間	21

カ　院内製剤業務

区分	件数
年間	158

（２）リハビリテーション科

技師長　清水　隆人

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　訪問リハビリテーションの拡大

平成 25 年９月より担当者１名で訪問リハビリテーションを開始したが、平成 26 年６月より担当者を２名(午前のみ従事)へ増員した。また、10 月より終日訪問リハビリテーション従事へ拡大した。その結果、４月実績は月 32 件、64 単位であったが、平成 27 年３月時点の実績は月 119 件、341 単位へと拡大することができた。

イ　地域包括ケア病床の専従理学療法士の配置

平成 26 年９月より４階病棟に地域包括ケア病床を開設するに当たり、専従の理学療法士を配置し、より良い退院支援が進むよう病棟との連携を図ることができた。

地域包括ケア病床患者のリハビリテーション実施率は平均 85.6%であり、月平均の実施単位数は平均 2.1 単位であった。

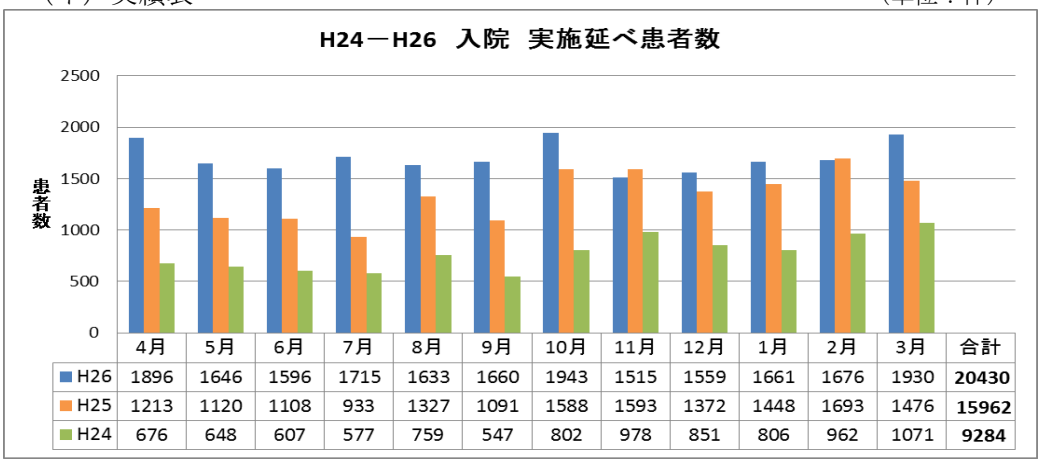
（２）業務実績

ア　入院患者　実施患者・単位数

（ア）業務実績

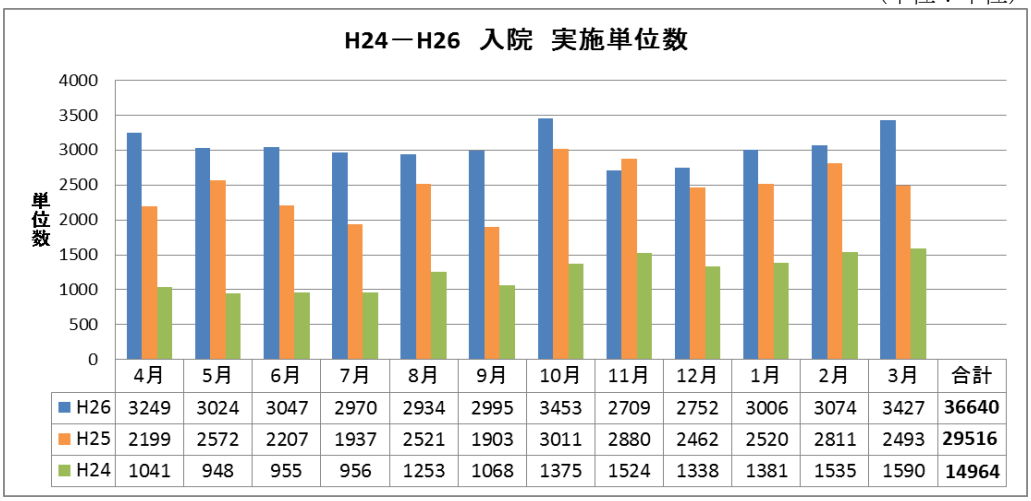
入院の実施延べ患者数は 20,430 件、実施単位数は 36,640 単位であった。（前年比　延べ患者数 1.24 倍、単位数 1.28 倍）

（イ）実績表　（単位：件）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26	1896	1646	1596	1715	1633	1660	1943	1515	1559	1661	1676	1930	**20430**
H25	1213	1120	1108	933	1327	1091	1588	1593	1372	1448	1693	1476	**15962**
H24	676	648	607	577	759	547	802	978	851	806	962	1071	**9284**

（単位：単位）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26	3249	3024	3047	2970	2934	2995	3453	2709	2752	3006	3074	3427	**36640**
H25	2199	2572	2207	1937	2521	1903	3011	2880	2462	2520	2811	2493	**29516**
H24	1041	948	955	956	1253	1068	1375	1524	1338	1381	1535	1590	**14964**

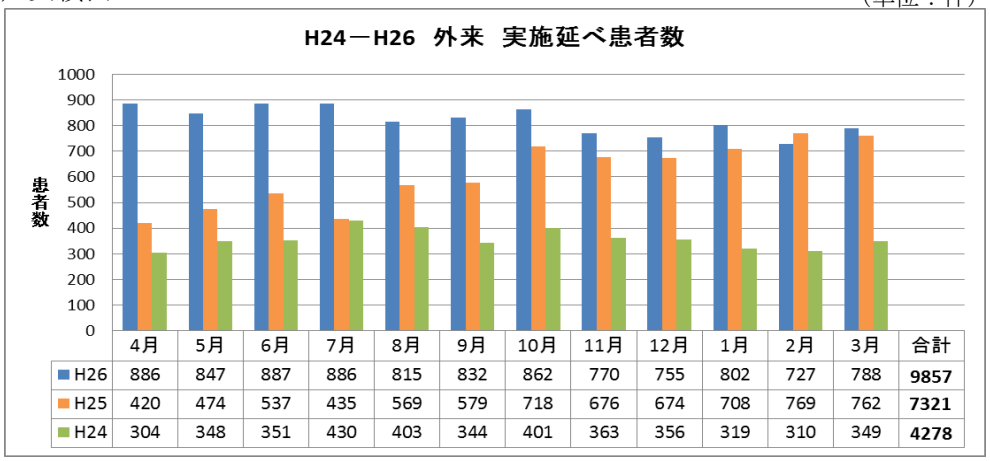
イ　外来患者　実施患者・単位数

（ア）業務実績

外来の実施延べ患者数は 9,857 件、実施単位数は 10,413 単位であった。（前年比　延べ患者数 1.24 倍、単位数 1.28 倍）

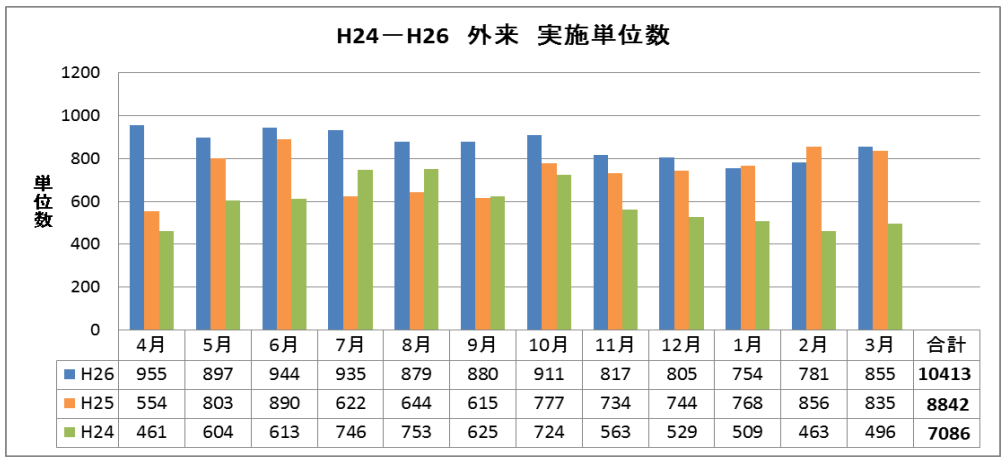
（イ）実績表

（単位：件）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26	886	847	887	886	815	832	862	770	755	802	727	788	**9857**
H25	420	474	537	435	569	579	718	676	674	708	769	762	**7321**
H24	304	348	351	430	403	344	401	363	356	319	310	349	**4278**

（単位：単位）



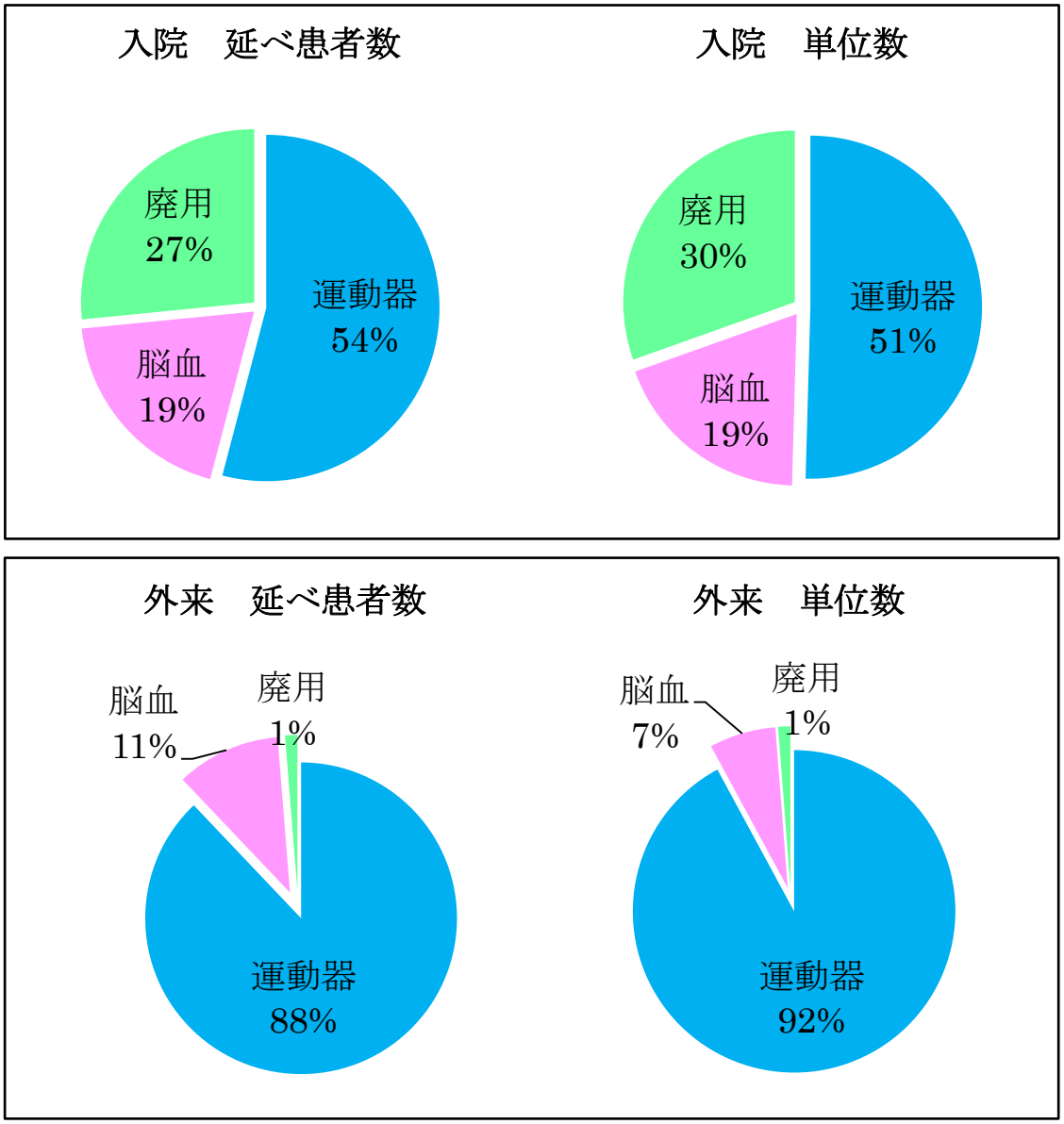
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26	955	897	944	935	879	880	911	817	805	754	781	855	**10413**
H25	554	803	890	622	644	615	777	734	744	768	856	835	**8842**
H24	461	604	613	746	753	625	724	563	529	509	463	496	**7086**

ウ　疾患別リハビリテーションの実施割合

（ア）業務実績

入院患者に対する各疾患別リハビリテーションの割合は、運動器は患者数54%・単位数51%、脳血管疾患は患者数・単位数とも19%、廃用症候群は患者数27%・単位数 30%であった。外来患者に対する各疾患別リハビリテーションの割合は、運動器は患者数88%・単位数92%、脳血管疾患は患者数11%・単位数７%、廃用症候群は患者数・単位数とも１%であった。

（イ）実績表



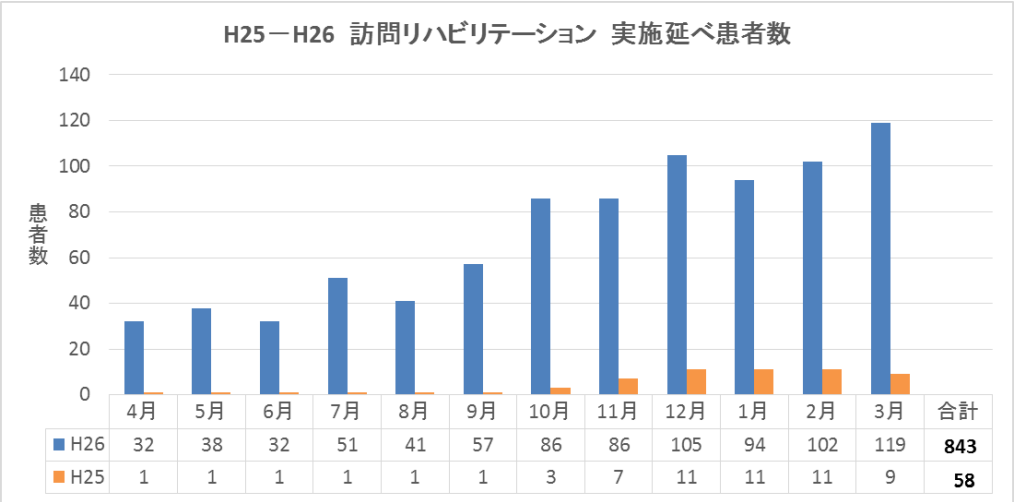
エ　訪問リハビリテーション　実施患者・単位数

（ア）業務実績

訪問リハビリテーションの実施延べ患者数は 843 件、実施単位数は 2,305 単位であった。（前年比　延べ患者数 14.5 倍、単位数 6.1 倍）

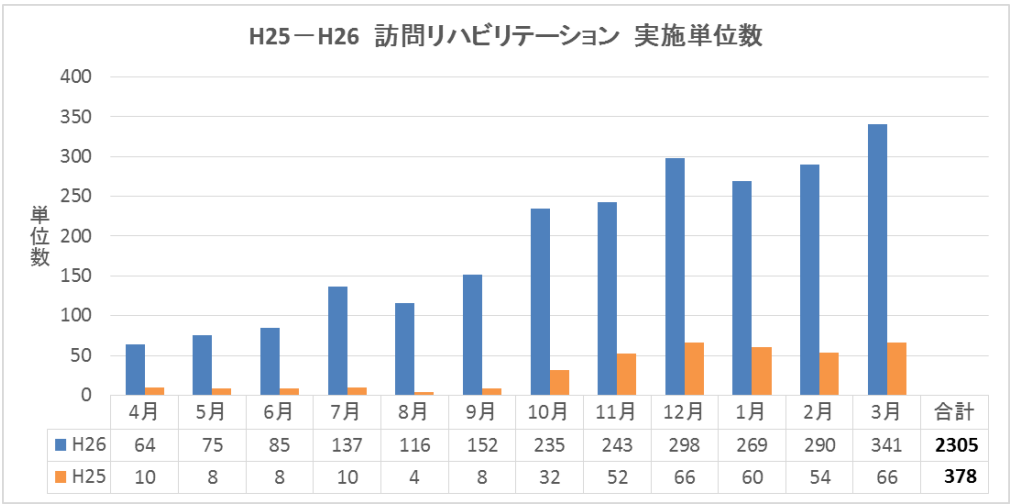
（イ）実績表

（単位：件）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26	32	38	32	51	41	57	86	86	105	94	102	119	**843**
H25	1	1	1	1	1	1	3	7	11	11	11	9	**58**

（単位：単位）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26	64	75	85	137	116	152	235	243	298	269	290	341	**2305**
H25	10	8	8	10	4	8	32	52	66	60	54	66	**378**

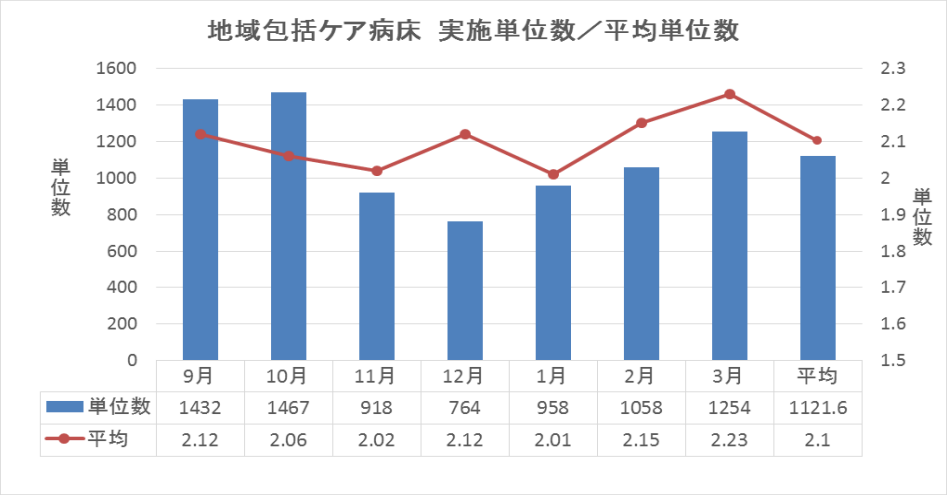
オ　地域包括ケア病床

（ア）業務実績

地域包括ケア病床に入院中の患者の内、月平均 85.6%の患者にリハビリテーションを提供し、開設後の月平均の総実施単位数は 1,121 単位、平均単位数は 2.1 単位であった。

（イ）実績表

（単位：件）



カ　実習生の受け入れ

（ア）理学療法

学校名	実習内容	期間	実習生
神奈川県立保健福祉大学	４年次　臨床実習	６月２日(月)－７月 18 日(土)	１名
	３年次　評価実習	２月２日(月)－２月 28 日(土)	１名
横浜ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門学校	４年次　臨床実習	８月 11 日(月)－10 月３日(土)	１名
	１年次　見学実習	９月１日(火)－９月 11 日(金)	６名

（イ）作業療法

学校名	実習内容	期間	実習生
神奈川県立保健福祉大学	３年次　評価実習	２月９日(月)－２月 28 日(土)	１名

キ　研修会の開催

区分	テーマ	期日	参加数
公開講座	第１回　移乗動作の介助方法について	６月　６日（金）	９名
	第２回　高次脳機能障害について	12 月　２日（火）	16 名
	第３回　転倒予防について	２月 19 日（木）	15 名
院内研修	三浦市立病院の転倒の現状について	10 月 28 日（火）	６名
	ポジショニングを考える	12 月 17 日（水）	５名
院外研修	市民対象　腰痛予防教室	10 月 21 日（火）	33 名
	第 22 回 横須賀三浦地区 PT 懇話会	３月 20 日（金）	37 名

ク　研修会・学会等での発表

演者	テーマ	学会等	期日
重枝	リハビリテーションニーズに関する三浦市の特性	第 64 回 神奈川県国民健康保険団体連合会診療施設部会研修会	５月 31 日（土）
竹内	脳卒中後の皮質下限局病巣患者におけるアパシー及び前頭葉機能と、ADL 改善の関係	第 16 回 世界作業療法士連盟大 第 28 回 日本作業療法学会	６月 18 日（水） ～ ６月 21 日（土）
浅田	三浦市立病院 リハビリテーション科　概況	第８回 Brain Attack Network	11 月 12 日（水）
藤井	地域連携について共に考える	第 22 回 横須賀三浦地区 PT 懇話会	３月 20 日（金）
林	リハビリテーション介入と入院患者の転倒との関連	第 32 回 神奈川県理学療法士学会	３月 22 日（日）

（３）放射線科

技師長　久保　隆

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

フィルムレス環境での周辺整備（サーバー内画像のフィルム出力や CD-R 等電子媒体への出力時の方法・手順）を行った。

人数の関係から中断していた各モダリティ間（一般・CT・TV・MRI）の、１週間単位でのローテーションを再開した。

放射線科全体の検査人数は、前年度比 1.02 倍と僅かながら増加。

（２）業務実績

ア　一般撮影

（ア）胸部・腹部検査は減少。MMG 検査は検診が減少。骨部・他は増加。一般撮影全体では前年度比 0.95 倍。

（イ）一般撮影実績

	外来患者人数	入院患者人数	総患者人数	総部位件数
胸部	8,090	866	8,956	8,956
腹部	1,792	646	2,438	2,438
骨部・他	5,520	3,029	8,549	10,454
（体幹）	（2,914）	（2,649）	（5,563）	（7,064）
（四肢）	（2,606）	（380）	（2,986）	（3,390）
（ポータブル）	（362）	（1,916）	（2,278）	（2,920）
乳房	839	0	839	839
合計	16,241	4,541	20,782	22,687

イ　Ｘ線ＴＶ検査

（ア）血管造影検査は増加。消化器は、ドック・健診の胃バリウム検査やオペ前の下部消化器検査が増加。その他、透視下で行う各種検査（PTCD・ERCP・ED-tube・胃ろう・イレウス管等）は増加。X 線 TV 検査全体では前年度比 1.07 倍。

（イ）Ｘ線ＴＶ検査実績

	外来患者人数	入院患者人数	総患者人数	総部位件数
心　血管	0	15	15	15
消化器	444	82	526	526
泌尿・生殖器	0	0	0	0
その他	68	80	148	149
合計	512	177	689	690

ウ　Ｘ線ＣＴ検査

（ア）がん検診後の二次検査で、躯幹・単純検査が増加。造影検査は変わらず。オペ前や救急の検査で四肢・単純検査は増加。CT 検査全体では前年度比 1.09 倍。

（イ）Ｘ線ＣＴ検査実績

		外来患者人数	入院患者人数	総患者人数	総部位件数
単純	頭部	1,253	155	1,408	1,441
	躯幹	1,483	479	1,962	2,060
	四肢	58	22	80	82
	小計	2,794	656	3,450	3,583
造影	頭部	1	0	1	1
	躯幹	408	127	535	551
	四肢	1	0	1	1
	小計	410	127	537	553
合計		3,204	783	3,987	4,136

エ　ＭＲＩ検査

（ア）躯幹・四肢 MRI 検査は増加したものの、ドック・健診の頭部 MRI 検査が減少。MRI 検査全体では前年度比 0.97 倍。

（イ）ＭＲＩ検査実績

		外来患者人数	入院患者人数	総患者人数	総部位件数
単純	頭部	931	86	1,017	1,021
	躯幹	538	158	696	754
	四肢	104	39	143	143
	小計	1,573	283	1,856	1,918
造影（単+造含）	頭部	11	1	12	12
	躯幹	9	3	12	12
	四肢	1	0	1	1
	小計	21	4	25	25
合計		1,594	287	1,881	1,943

（４）臨床検査科

技師長　鈴木　正芳

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　検体検査

（ア）平成 26 年７月より、外注検査委託先が LSI メディエンスから BML へ変更となる。

（イ）平成 26 年９月よりリコバクターピロリ IgG 抗体の検査が院内検査として入される。これにより院内で胃がんリスク検診の検査が迅速に行えるようになった。

イ　生理機能検査

（ア）平成 26 年 12 月より毎週月～水曜日の週３回、脳ドックの患者の MRI 検査を実施する。

＊平成 26 年度実施者数は 43 人

（２）業務実績

ア　検体検査部門

区分	一般	血液	細菌	生化学	血清	輸血	外注検査	合計
件数	29,923	54,120	1,954	83,617	19,729	1,669	13,101	204,113
点数	946,827	1,038,212	290,134	6,827,787	1,728,850	58,092	2,331,769	13,221,671

	H24 年度		H25 年度		H26 年度	
	件数	点数	件数	点数	件数	点数
院内検査	194,538	11,178,325	192,832	11,190,182	191,012	10,889,902
外注検査	16,534	3,013,798	14,790	2,669,762	13,101	2,331,769
合計	211,072	14,192,123	207,622	13,859,944	204,113	13,221,671

・過去２年と比べて院内検査数はほぼ横ばいとなっている。
・昨年度は産婦人科が一時休診したことなどを踏まえて今年度は検査数の増加を見込んでいたのだが検査数は減少した。

イ　生理機能検査部門

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
件数	13,688	15,287	15,575	16,438	16,228
点数	3,771,014	3,966,689	3,875,742	4,297,402	4,190,948

・検体検査と同様に昨年度と比べると若干ではあるが検査数が減少した。
・昨年度から実施を始めた血圧脈波の検査数は増加した。

ウ　検査部門総評

・科の名称を、病理検査科から臨床検査科へ変更した。
・臨床検査科総収入は、診療報酬削減が多い改訂の中で厳しい状況が続いているが、採血料や検体迅速加算等の増加により 2 億 757 万円と、昨年度に引き続き収益が前年度を上回る状態が続けられている。
・利益率は外注検査委託費が減少したことで 53%となり、昨年と比べて改善された。
・昨年度はすべての糖尿病患者に対して超音波検査を行っていたが、今年度はリスクの高い重症患者のみに実施した。その影響を受けて今年度の生理機能検査の検査数が減少したと考えられる。
・高齢化率の高い三浦市は、これから人口減に伴う患者数の減少が考えられる。
今後検査数の増加のみを求めていくことは厳しいと思われる中、「三浦ならではの地域医療の確立」という病院の方針の基、地域のニーズにあった検査の提供を考えていきたい。

（５）地域医療科

科長（H27.３.31 現在）　嘉山　静子

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

診療報酬改定では入院医療について、急性期を脱した亜急性期患者の受け入れや在宅復帰を促すための「地域包括ケア病棟」が新設され、病院の位置づけを一般急性期、地域包括ケア病床を備えた病院とした。その役割として、近隣の高度急性期型病院からの後方支援、地域の開業医からの後方支援、在宅患者の急性増悪時のバックベット機能、医療依存度の高い患者のレスパイト入院機能があり、連携・支援・調整を行った。

受入態勢の強化や、退院支援連携強化により、地域に退院でき、必要な時にいつでも受けられる体制を整え、安心して住み慣れた地域で穏やかに療養生活を送れるよう支援した。病院、在宅、施設間でのトライアングルの関係が構築でき、さらには行政との連携を速やかに行うことで、「顔の見える関係」から「こころのわかる関係」に近づけたと感じている。

ア　在宅医療
イ　退院支援・調整
ウ　リンパ浮腫外来
エ　転院相談・受入れ
オ　レスパイト検診
カ　紹介・逆紹介
キ　在宅療養を考える「おせっかいのすすめ」シンポジウム

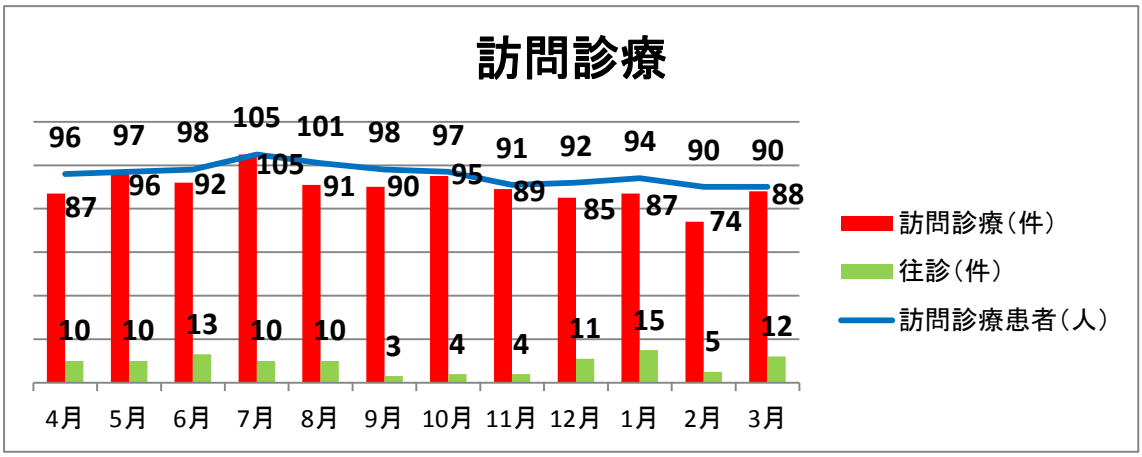
（２）業務実績

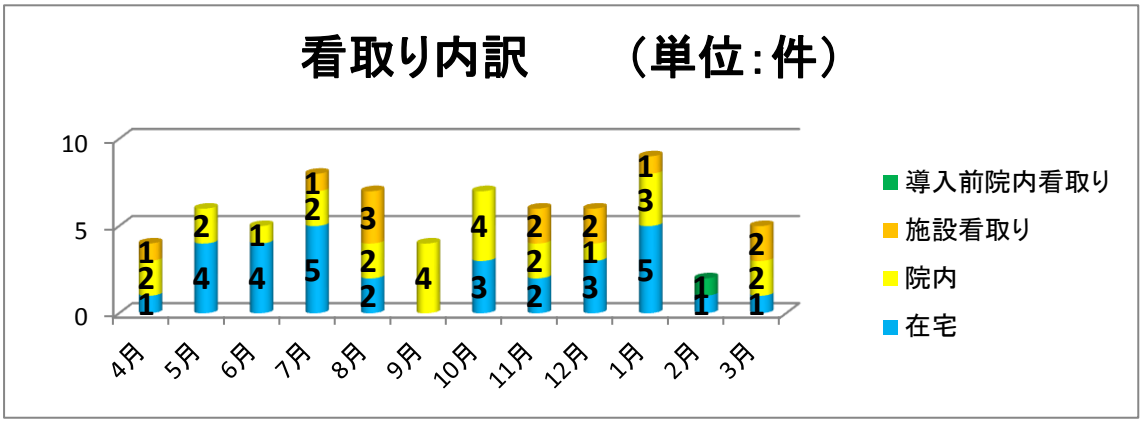
ア　在宅医療

（ア）訪問診療・訪問看護

機能強化型在宅療養支援病院として訪問診療を実施した。26 年度の訪問診療件数は 1,149 件・往診 107 件、訪問看護８件となっており、昨年度より訪問診療、往診ともに大幅に増加している。また、在宅看取りは 31 件・施設看取り 12 件実施。特に施設看取りが増加した要因の一つには、在宅看取りや、高齢者の病状についての公開講座を実施することで、「看取り」に対しての不安が減少

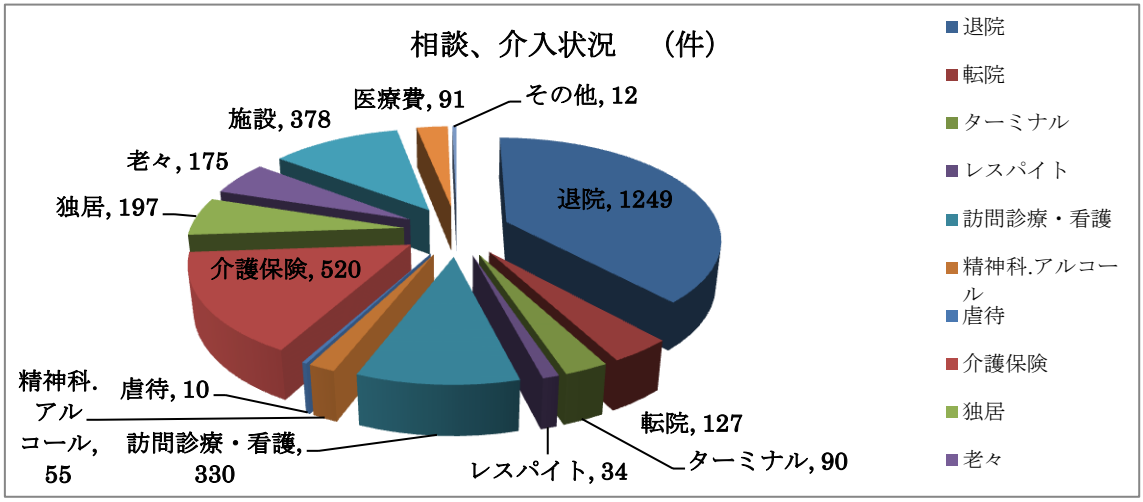
され施設看取りにつながったのではないかと感じている。



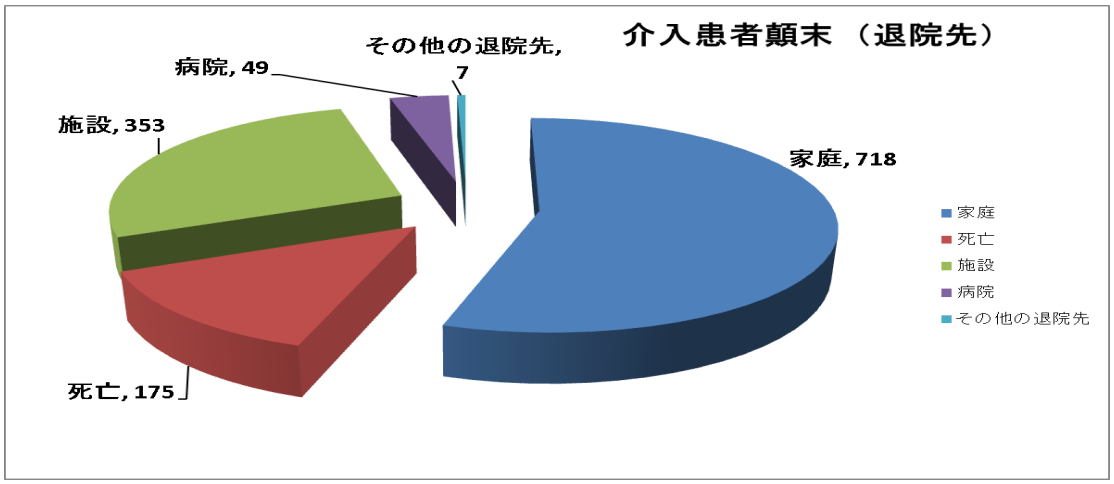


イ　退院支援・調整

ベットコントロール看護師長から入院の連絡を受け、ＡＤＬ、介護環境、介護保険状況等の情報を収集しスクリーニングを行い早期介入につなげた。介入の必要な患者には、本人・家族面談、退院前訪問、「ケア会議」を実施し病院と地域の橋渡しを行った。介入患者の退院先は半数以上が自宅で、また施設退院は、三浦市内が 89%、三浦市外は 11%であり、住み慣れた地域へ退院できる支援・調整ができた。



（イ）介入患者顛末（退院先）



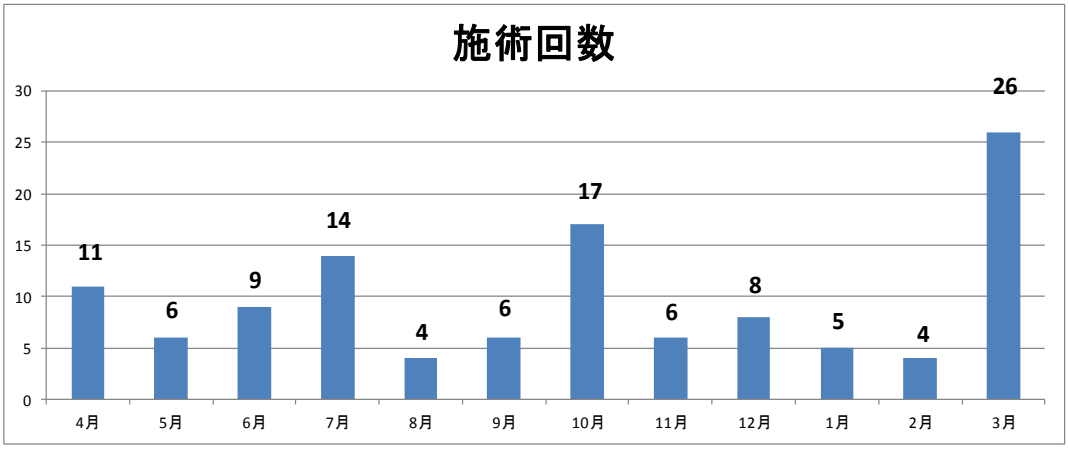
ウ　リンパ浮腫外来

術後二次的に起こるリンパ浮腫は早期からケアを開始する事で重症化を防ぎ、QOL を維持させることができる。一人でも多くのリンパ浮腫患者を支援していきたいと、平成 25 年リンパ浮腫外来を開設し２年目を迎えた。利用者の増加はなかったが、ケア導入後、症状が改善することで“患者の心を元気に”に導けたと感じている。

（ア）リンパ浮腫外来　表

（単位：件）

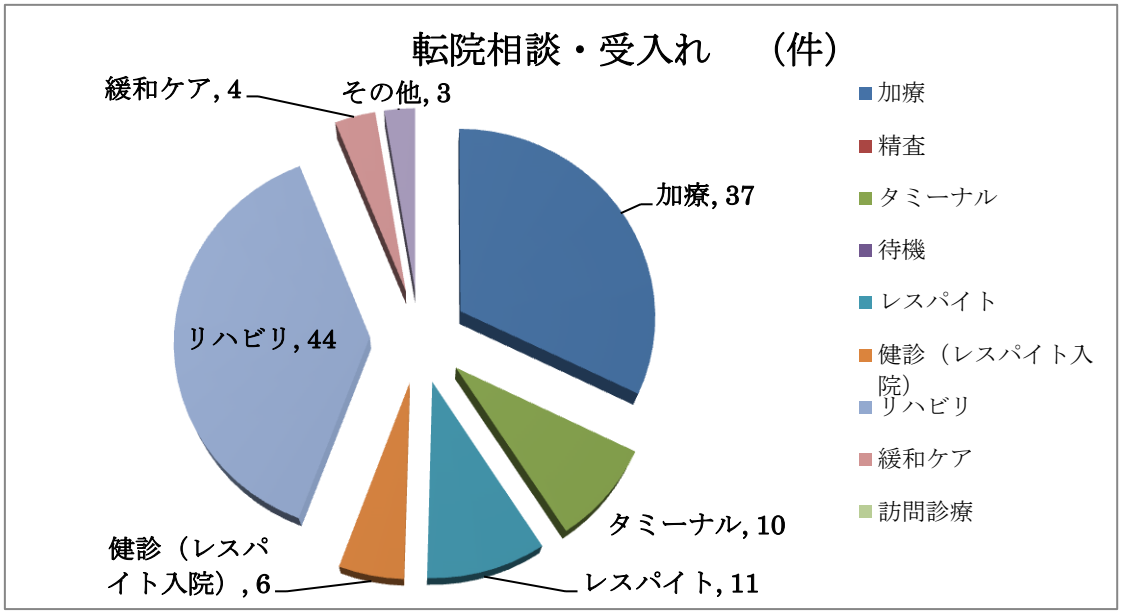
総患者数	総施術回数	施術回数			診療科			性別		部位							施術場所			終了顛末		
		一人あたりの年間平均	最多者	最少者	内科	外科	婦人科	男性	女性	右上肢	左上肢	両上肢	右下肢	左下肢	両下肢	顔面	外来	病棟	在宅	退院	着衣購入	死亡
13名	113回	8.69回	53回	1回	4	4	5	2	11	2	1	0	1	1	8	0	9	4	0	1	1	3



エ　転院相談・受入れ

急性期を脱した方の継続加療や、リハビリを必要としている方の転院相談が多く、シームレスな連携を実施し、スムーズな受け入れにつなげた。

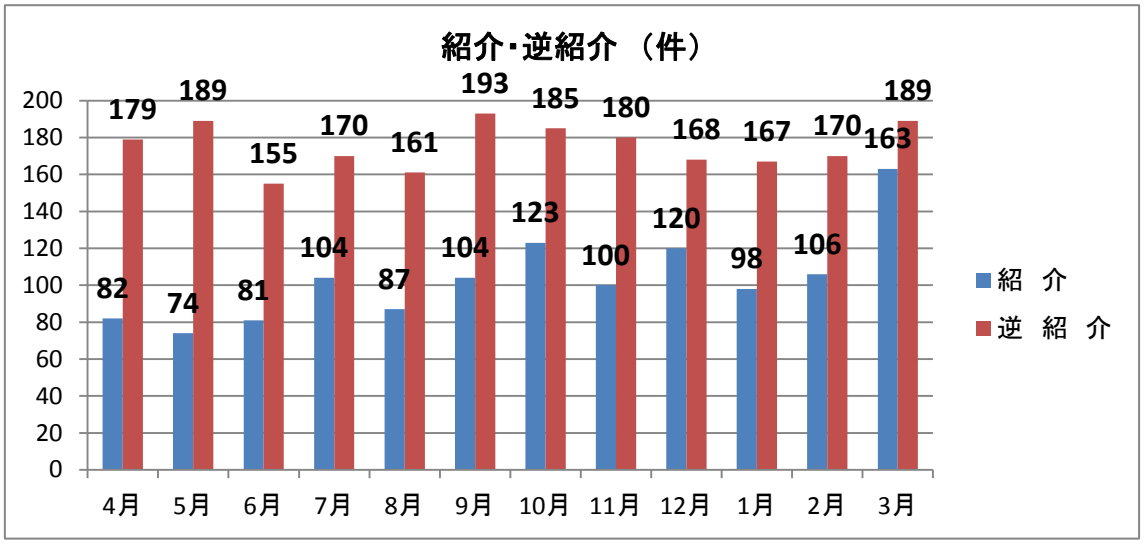
（ア）転院相談・受入れ　表



オ　レスパイト検診

ご家族の介護をされている介護者の健康を守るためのレスパイト検診を開始（6 月）7 件の利用があり、「安心して介護に専念できる」という声が聞かれた。継続して利用していただき、介護者の健康を守る支援をしていきたい。

カ　紹介・逆紹介



キ　在宅療養を考える集い「おせっかいのすすめ」シンポジウム

○ 開催概要

（１）日時：平成 27 年３月７日（土）14:00～16:05

（２）場所：三浦市民ホール（うらり２Ｆ）

（３）主催：三浦市

（４）共催：三浦市医師会・神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター

（５）主管：三浦市立病院

（６）プログラム

ア　開　　会　　14:00～14:05

イ　主催者あいさつ　　14:05～14:15

三　浦　市　長　　吉　田　英　男

三浦市医師会副会長　　矢　島　眞　文

ウ　リレー講演　　14:15～15:05

テーマ：在宅療養を考える　～「おせっかい」のすすめ～

講　師：三浦市立病院　地域医療科担当医長　　兒玉　　末

三浦市立病院　地域医療科社会福祉士　　安藤麻由美

三浦市社会福祉協議会　地域包括支援センター職員　　福島　友美

介護支援オフィス三浦　管理者・主任介護支援専門員　吉本ゆりえ

三浦市保健福祉部高齢介護課ＧＬ　　澤口　大輔

エ　休　　憩　　15:05～15:15

オ　パネルディスカッション　　15:15～15:55

テーマ：「みんなで見守る地域社会をはぐくむ」

コーディネーター：永井雅子（神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター所長）

パネラー：笹谷　月慧（三浦市民生委員・児童委員連絡協議会会長）

熊谷　末男（三浦市老人クラブ連合会会長）

髙橋　米子（訪問介護　ロード　管理者兼サービス提供責任者）

兒玉　　末（三浦市立病院　内科医師・地域医療科担当医長）

安藤麻由美（三浦市立病院　地域医療科社会福祉士）

福島　友美（三浦市社会福祉協議会　地域包括支援センター職員）

吉本ゆりえ（介護支援オフィス三浦　管理者・主任介護支援専門員）

澤口　大輔（三浦市保健福祉部高齢介護課ＧＬ）

６　閉　会　　15:55～16:00

三浦市立病院　総病院長　　小　澤　幸　弘

○ 来場者数

区分			H27.3.7 在宅療養を考える		H26.3.15 在宅看取りを考える		差引		
			来場者数	構成比	来場者数	構成比	来場者数	増減	構成比
1	医療関係者		14人	5.5%	15人	4.5%	△ 1人	△ 6.7%	＋ 1.0
2	介護事業所関係者		17人	6.7%	39人	11.8%	△ 22人	△ 56.4%	△ 5.1
3	ケアマネージャー		21人	8.3%	25人	7.6%	△ 4人	△ 16.0%	＋ 0.7
4	行政・議会関係者		13人	5.1%	19人	5.8%	△ 6人	△ 31.6%	△ 0.6
5	一般		189人	74.4%	232人	70.3%	△ 43人	△ 18.5%	＋ 4.1
	居住地域	三崎地区	110人	58.2%	120人	51.7%	△ 10人	△ 8.3%	＋ 6.5
		南下浦地区	31人	16.4%	45人	19.4%	△ 14人	△ 31.1%	△ 3.0
		初声地区	34人	18.0%	32人	13.8%	＋ 2人	＋ 6.3%	＋ 4.2
		横須賀市	12人	6.3%	20人	8.6%	△ 8人	△ 40.0%	△ 2.3
		その他県内	1人	0.5%	15人	6.5%	△ 14人	△ 93.3%	△ 5.9
		県外	1人	0.5%	0人	0.0%	＋ 1人	-	＋ 0.5
		小計	189人	100.0%	232人	100.0%	△ 43人	△ 18.5%	＋ 0.0
合計			254人	100.0%	330人	100.0%	△ 76人	△ 23.0%	＋ 0.0

※受付で記帳された来場者を集計しているが、記帳せずに来場された方もおり、公表数値には合わない。

公表来場者数：約 300 名（このほか約 40 名のスタッフが参加、会場はほぼ満員状態であった。）

来場者数は、昨年３月 15 日（土）に開催した「在宅看取りを考える」～みんなで一緒に考える～シンポジウムに比べると 76 人、23.0%の減となったが、好天に恵まれた昨年に比べ、小雨交じりの寒い中で開催されたことを考慮すると、成功であると評価をいただく声が多く、ご自分が人の手を借りなければ生活できない将来への備えについての住民の意識の高さが伺える。

○ リレー講演

今年の「在宅療養を考える集い」～みんなで一緒に考える～シンポジウムのテーマは、「おせっかいのすすめ」であり、在宅療養を支える５人のキーパーソンがリレー形式で講演することとしました。

様々な立場で在宅療養を支えるキーパーソン５人のリレー講演が終わったあと、全員が手を取り　合って再登壇し

「みんなで見守る地域社会」　を　はぐくむため、

いろいろな職種のいろいろな人が手を取り合って、これからも可能な限り、

「おせっかい」　していくことを誓いました！！

○ パネルディスカッション

リレー講演の５人のほか、三浦市民生委員・児童委員連絡協議会会長の笹谷月慧（ささやつきえ）さん、三浦市老人クラブ連合会会長の熊谷末男（くまがい　すえお）さん、訪問介護ロード管理者兼サービス提供責任者の髙橋米子（たかはし　まいこ）さんに加わっていただき、「みんなで見守る地域社会をはぐくむ」をテーマに、神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター所長の永井雅子（ながい　まさこ）さんにコーディネーターをお務めいただき、パネルディスカッションを行いました。

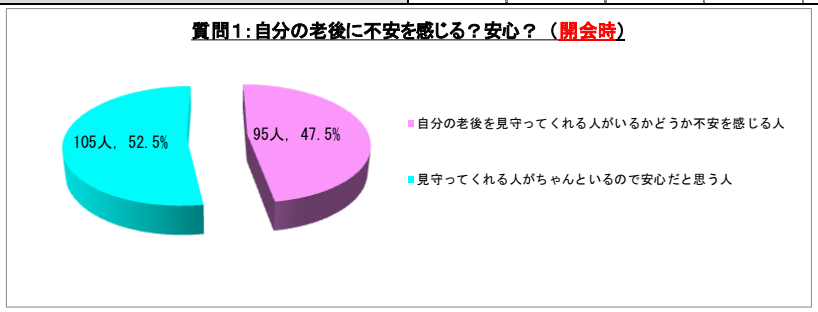
○ アンケート結果

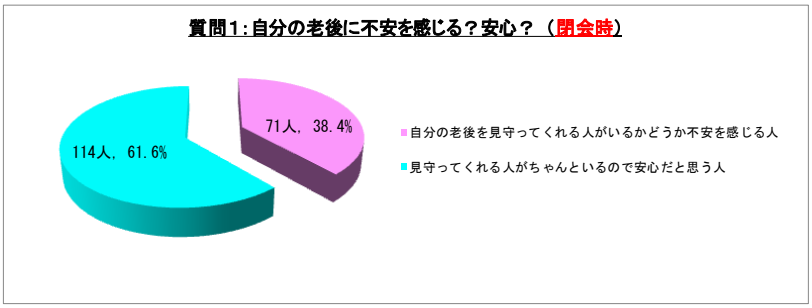
シンポジウムのテーマは「在宅療養を考える集い」ですが、会時と閉会時に来場者全員に２つの質問を投げかけ、「老後の不安」と「療養場所」に関する意識とその変化を調査しました。

調査方法は、司会者の２者択一の質問に対し、プログラムの表か裏をステージに掲示する方法で、スタッフが表と裏の数をそれぞれカウントして集計する方法を用いました。

質問１は、ご自分の老後を見守ってくれる人がいるかどうか不安を感じる？

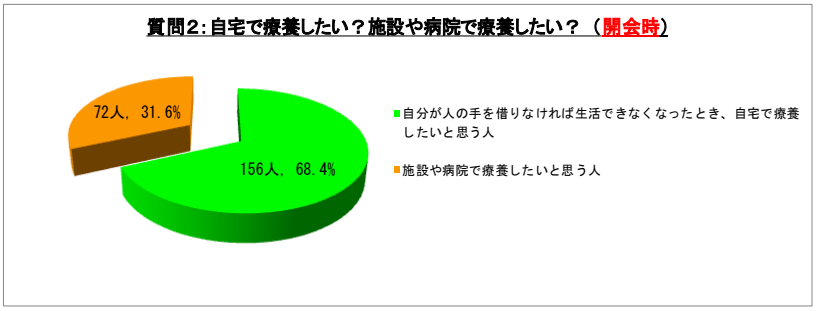
質問項目		開　会		閉　会		差　引	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
質問１	自分の老後を見守ってくれる人がいるかどうか不安を感じる人	95人	47.5%	71人	38.4%	△ 24人	△ 9.1
	見守ってくれる人がちゃんといるので安心だと思う人	105人	52.5%	114人	61.6%	9人	＋ 9.1
	計	200人	100.0%	185人	100.0%	△ 15人	＋ 0.0

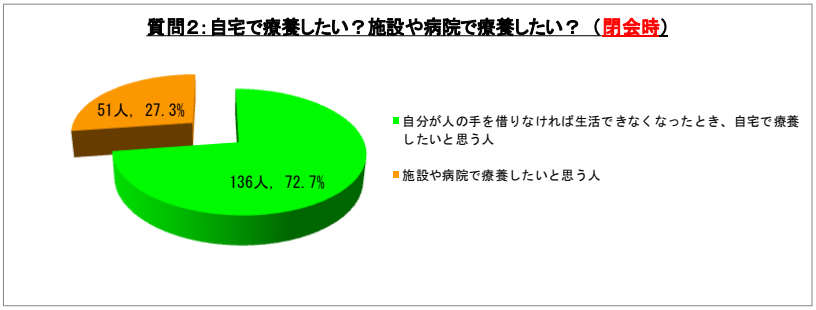




質問２は、ご自分が手を借りなければ生活できなくなったとき、どこで療養したい？

質問項目		開　会		閉　会		差　引	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
質問２	自分が人の手を借りなければ生活できなくなったとき、自宅で療養したいと思う人	156人	68.4%	136人	72.7%	△ 20人	＋ 4.3
	施設や病院で療養したいと思う人	72人	31.6%	51人	27.3%	△ 21人	△ 4.3
	計	228人	100.0%	187人	100.0%	△ 41人	＋ 0.0





※　その他詳細は、病院のホームページをご覧ください。

（６）医療安全管理室

室長　五味渕　一三

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　医療安全管理室設置の目的

リスクマネジメント業務及び感染管理業務の指揮命令系統の整備及び当該業務を所掌する組織の整備を行い、業務執行及び診療報酬上の届出基準の適正化を図るため、平成 26 年度より設置された。

イ　医療安全管理室の組織形態等

医療安全管理室は、医師、看護師、医療技術職及び事務職が配置され、それぞれの職種が専門性を発揮するとともに、連携及び協働して業務に取り組んだ。

「チーム医療」とは何か？久しく問われてきた。だからこそ、小さな一歩が積み重なり職員のひとりひとりが協力し合い「絆」を持つことによって医療の「質」が高まり、快適かつ安全安心な医療が提供できる。多職種からなるこの組織の協働がその一助となればと考える。

（２）業務実績

ア　ミーティングの開催

医療安全管理室ミーティングは、リスクマネジメント担当と感染管理担当のそれぞれの所掌事項についての１か月の実績及び今後の予定を報告し、必要な情報共有及び協議を行う場である。医療安全管理室は、院内の感染対策及びリスク管理についてトータル的なマネジメントを行う組織であり、医療安全管理室の下にある感染対策委員会及びリスクマネジメント委員会において必要な協議調整を行う。

イ　ミーティングの概要

（ア）第１回医療安全管理室ミーティング

a　開催日及び場所

平成 26 年４月 22 日（火）　三浦市立病院地下食堂兼会議室

b　議事

●医療安全管理室の位置づけ、ミーティングの目的等について

●リスクマネジメント担当からの報告

・インシデント・アクシデント報告について

●感染管理担当からの報告
・針刺し切創について
●外来における廃棄物の現状について
●リスクマネジメント研修会について
c　出席人数　８人

（イ）第２回医療安全管理室ミーティング
a　開催日及び場所
平成 26 年５月 27 日（火）　三浦市立病院２階会議室
b　議事
●リスクマネジメント担当からの報告
・転倒事故について
・針刺し切創について
・アンクルサポーターについて
●感染管理担当からの報告
・針刺し切創について
●インシデント分類について
c　出席人数　８人

（ウ）第３回医療安全管理室ミーティング
a　開催日及び場所
平成 26 年６月 24 日（火）　三浦市立病院２階会議室
b　議事
●リスクマネジメント担当からの報告
・医療安全事例報告書について
●感染管理担当からの報告
・針刺し切創事象について
・研修会お知らせ（予防策と針刺し切創予防について）
・マニュアルについて
●救急蘇生の研修について
●放射線科から提出されたレポートについて
c　出席人数　８人

（エ）第４回医療安全管理室ミーティング
a　開催日及び場所
平成 26 年７月 22 日（火）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

●リスクマネジメント担当からの報告

・７月のインシデントレポートについて

・インシデント等発生時の報告について

●感染管理担当からの報告

・薬剤混中時の注射器の使用について

・標準予防策徹底のためのゴーグル使用について

●無断離院への対策について

c　出席人数　８人

（オ）第５回医療安全管理室ミーティング

a　開催日及び場所

平成 26 年８月 26 日（火）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

●リスクマネジメント担当からの報告

・リスク発生時の報告手順について

・インシデント・アクシデントの分類について

●感染管理担当からの報告

・疥癬マニュアル改訂について

・カテーテル関連尿路感染予防策について

●事務局から提出されたインシデントレポートについて

c　出席人数　７人

（カ）第６回医療安全管理室ミーティング

a　開催日及び場所

平成 26 年９月 22 日（火）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

●リスクマネジメント担当からの報告

・アクシデント（レベル 3b 以上）が発生した時の対処マニュアルについて

・インシデント・アクシデントの分類について

c　出席人数　８人

（キ）第７回医療安全管理室ミーティング

a　開催日及び場所

平成 26 年 10 月 28 日（火）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

●リスクマネジメント担当からの報告

・予約票について

・七市公立病院協議会について

・薬剤のシステムについて

・リスクのリピーターについて

・インシデントレポートについて

・インシデント・アクシデント分類について

●感染管理担当からの報告

・ノロセットについて

c　出席人数　８人

（ク）第８回医療安全管理室ミーティング

a　開催日及び場所

平成 26 年 11 月 25 日（火）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

●リスクマネジメント担当からの報告

・インシデントが発生した時の報告用紙について

・インシデントレポートの改正について

・針刺しについて

・イシデント等を繰り返して起こす者の対処について

●感染管理担当からの報告

・針刺し切創について

c　出席人数　９人

（ケ）第９回医療安全管理室ミーティング

a　開催日及び場所

平成 26 年 12 月 24 日（火）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

●リスクマネジメント担当からの報告

・インシデントレポートについて

・肺炎球菌ワクチンについて

●感染管理担当からの報告

・ノロセットについて

・インフルエンザ等の感染症について

c　出席人数　７人

（コ）第 10 回医療安全管理室ミーティング

a　開催日及び場所

平成 27 年１月 27 日（火）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

●リスクマネジメント担当からの報告

・インシデントレポートについて

・苦情について

・自己管理内服薬の飲み忘れについて

●感染管理担当からの報告

・ノロセットについて

・インフルエンザの流行状況について

●肺炎球菌予防接種について

c　出席人数　８人

（サ）第 11 医療安全管理室ミーティング

a　開催日及び場所

平成 27 年２月 24 日（火）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

●リスクマネジメント担当からの報告

・アクシデントレポートの出し方について

・インシデントの分類について

・患者からのご意見について

●感染管理担当からの報告

・職員の食事の取り方について

・麻疹疑いの患者について

●肺炎球菌予防接種について

c　出席人数　８人

（シ）第 12 回医療安全管理室ミーティング

a　開催日及び場所

平成 27 年３月 24 日（火）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

●リスクマネジメント担当からの報告

・インシデント・アクシデントの分類について

・七市公立病院の状況について

・苦情対応マニュアルについて

・インシデント報告について

●感染管理担当からの報告

・麻疹患者フローチャートについて

c　出席人数　７人

ウ　リスクマネジメント業務

（ア）医療安全講習会院内研修

日時	対象者	テーマ	参加人数
４月　８日	新人看護師	医療安全について	８名
６月　３日	薬学部学生	薬学生の医療安全	１名
６月　３日	全職員	平成 26 年度第１回医療安全講習会 みんなで行う医療安全対策	41 名
11 月　７日	全職員	平成 26 年度第２回医療安全講習会 リスク事例の分析とコツ	26 名

（イ）インフォメーション

医療安全の観点から週４日午前中にインフォメーションを担当し、併せて、医療相談やご意見（賞詞含む。）の窓口となり、病院利用者の生の声を聞いて各部署と連絡調整を図り、適切な業務執行に寄与した。

（ウ）医療安全ラウンド

週４日院内各所のラウンドを実施し、リスク回避等の助言を行った。

（エ）レポートについて

リスクマネジメント委員会、リスクマネジメント看護部会等を通じ、レポート作成の重要性を周知するとともに、各部署から提出されたレポートのチェックを行い、分析、対策及び再発防止についての指導及び助言を行った。

また、報告者の記載方法、インシデント事例分類の整備等を図り、レポート様式の一部改正を行った。

（オ）神奈川県七市公立病院医療安全管理者交流会の参加

２か月に１度、交流会へ出席し、得た情報を医療安全管理室ミーティング等で共有を図った。平成 26 年度の主なテーマは、次のとおりである。

・電子カルテシステムと薬剤指示について

・チューブ類の固定確認について

・機能評価について

・栄養科の食品管理や衛生管理について
・院内緊急コードの対応について
・医師の IC について
・医療事故等の一括公表について

エ　感染管理業務

（ア）　感染対策講習会 院内研修

日時	対象者	テーマ	参加人数
4月８日 4月10日 4月17日 4月22日 4月24日	新人看護師	感染管理活動、手指衛生 標準予防策 針刺し切創血液曝露について① 感染経路別予防策 針刺し切創血液曝露について②	各８名
5月19日	薬学部学生	当院の感染管理体制と 感染対策の現状	１名
5月16日 5月20日	ラダー 感染コースⅠ	標準予防策	計７名
6月30日 7月24日 9月22日	ラダー 感染コースⅠ	感染経路別予防策	計６名
7月22日 7月28日	全職員	N95 マスク講習会	計 24 名
7月15日 7月29日	全職員	平成 26 年度感染対策講習会 標準予防策と針刺し切創防止	計 51 名
9月19日	ラダー 感染コースⅡ	感染症法について	４名
9月24日 9月25日	委託清掃業者 明光社職員	環境表面と日常清掃 感染症の取扱いについて	計 19 名
10月２日 10月３日	ラダー 感染コースⅠ	針刺し切創血液汚染	計６名
11月21日	ラダー 感染コースⅡ	ノロウイルス対策	４名
12月11日	ラダー 感染コースⅡ	人権を考える	４名

日時	対象者	テーマ	参加人数
12月11日	手術室	手術室手洗いについて	6名
12月８日 12月24日	全職員	平成26年度第２回感染対策講習会 冬こそ正しい感染対策＆手洗いについて	計39名
12月24日 12月25日	看護助手	ノロセット研修	計17名

（イ）感染対策公開講座

日時	テーマ	院外参加人数	院内参加人数	参加人数合計
６月16日	食中毒の予防について	7名	6名	13名
10月20日	ノロウイルスについて	10名	8名	18名
11月18日	インフルエンザについて	5名	5名	10名

（ウ）感染対策 健康宅配便

日時	テーマ	対象者	参加人数
６月19日	食中毒の予防について	あんじゅ三浦海岸職員 他	13名
７月16日	食中毒について	三浦市学童保育指導員	12名
11月20日	感染症について	あんじゅ三浦海岸職員 他	11名

（エ）コンサルテーション

依頼部署/施設	件数
手術室	3
地域医療科	3
委託業者（清掃）	2
内科	1
事務局	1
薬剤科	1
リハビリテーション科	1
２階病棟	1
３階病棟	1
４階病棟	1
院外の施設	1

計	15

（オ）感染症患者報告（入院）

感染症名	報告数
インフルエンザ A	14
インフルエンザ B	3
感染性胃腸炎	3
疥癬	2
疥癬疑い	2
結核疑い	6
RS ウイルス感染症	1
計	31

（カ）感染症患者報告（訪問診療/外来）

感染症名	報告数
疥癬	3
疥癬疑い	1
結核疑い	1
アメーバ赤痢	1
計	6

（キ）感染症職員報告

感染症名	報告数
インフルエンザ A	16
インフルエンザ	2
感染性胃腸炎	4
溶連菌感染症	1
流行性角結膜炎	1
計	24

（ク）ICT ラウンド

週１回 ICT ラウンドを実施した。そのうち月１回を手指衛生ラウンドとして実施し、速乾性手指消毒薬の使用状況の把握及び設置状況の整備を行った。

（ケ）演題発表

a　平成 26 年 10 月 31 日（金）

第 53 回　全国自治体病院学会

会場：フェニックス・シーガイア・リゾート（宮崎県宮崎市）

演題：三浦市立病院における職業感染対策充実のための取組―病院職員の流行性ウイルス疾患と血液由来病原体への対策―

演者：杉﨑　絵美

b　平成 26 年 11 月 15 日（土）

第 32 回　神奈川県看護協会横須賀支部　看護研究発表会

会場：ヴェルクよこすか（神奈川県横須賀市）

演題：流行性ウイルス疾患と血液由来病原体への対策－職業感染対策充実のための３年間の取組

演者：杉﨑　絵美

３　看護部

（１）看護部

看護担当部長（H27.３.31 現在）　佐藤　清江

○活動状況

（１）平成 26 年度トピックス

ア　「三浦ならでは」の地域医療の構築

三浦市の糖尿病患者の自己管理についての研究で神奈川県保健福祉大学に協力した。糖尿病疾病管理委員会で協議し、フットケア外来の実施、透析予防管理の実施、糖尿教室の実施、栄養指導、リハビリ等の医療サービスを提供している。

イ　地域連携の充実

９月から地域包括ケア病床 24 床を開設した。急性期治療を終了した患者が在宅に向けてリハビリを中心としたケアを提供する病棟である。急性期病院からの紹介患者や当院で急性期治療を終えた患者が療養する。また、公開講座の開催の回数を多くして、地域の医療・福祉施設の職員の参加を得て、顔の見える環境を促進している。

ウ　看護職のスペシャリスト育成

認定看護管理者の研修や看護学生指導のための講習や専門領域の資格等、積極的に学び、後輩の指導や患者のケアの質向上に貢献できるような環境作りに努力した。さらに、認定看護師の活動は今までより、より地域に密着した視点で出前講座や公開講座の講師をして活動している。電子カルテ導入でよりリスクの少ない医療を目指して看護サービスを提供している。

（２）看護職員状況

ア　看護職人員確保（平成 26 年度）　（単位：人）

	看護師 常勤	看護師 非常勤	准看護師	看護助手 非常勤	合計
採用	8	6	0	6	20
退職	9	4	1	7	21

イ　資格構成（平成 26 年４月１日現在）　（単位：人）

区分	看護部長	主幹	看護師長	主任看護師	看護師	准看護師	看護助手	合計
職員	1	1	6	9	68	0	0	85
非常勤	0	0	0	0	7	9	28	44
計	1	1	6	9	75	9	28	129

ウ　年齢別構成（平成 26 年４月１日現在）常勤　（単位：人）

区分	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55 歳以上	平均年齢
看護師	10	5	9	13	19	14	9	6	40.2

（３）　看護部の目標と評価

ア　一人一人が接遇向上に心掛け、クレームを少なくする。

患者・家族からのクレームはほとんどなくなった。数件は言葉がきつかったり配慮が足りなかったことに対しての不満であった。今後もさらに喜ばれるようなかかわりをしていく努力が必要である。

イ　リスクをなくし、安全・安心の療養環境を提供する。

転倒・転落のインシデント報告は、ほとんどが自分でできると思ってトイレに歩いていこうとして転倒する場合や、せん妄や認知症の方がしりもちをつくということが多い。薬剤のミスは、基本的なことが省略されて起こしていることが多い。命にかかわるようなアクシデントはなかった。今後も高齢者・認知症の方が多くなっていくので十分に環境を整えていく必要がある。

ウ　患者・家族に対して丁寧な IC を心がける。

患者・家族は特に不満を述べていることはないが、わかりやすい言葉で説明し同意を得ながら医療処置やケアをしていくことが大切である。

エ　ベッドコントロールで一日平均入院患者 120 人と外来患者 480 人を維持する。

入院平均患者は目標値に達していないが、稼働病床では 120 人近くにある。外来患者も検診や人間ドッグ・検査のみの患者を含むと 480 人近い。冬季はベッドコントロールに苦慮したが、136 床満床になる日も数日みられた。

オ　看護職としてのキャリアアップに努め、他施設との連携を図り、看護・医療の質向上に貢献し、信頼される病院づくりをする。

長期研修では認定看護管理者研修や実習指導者養成や学会資格を取得するための勉強

をするスタッフが増加している。また、院内におけるクリニカルラダーを受けてキャリアアップをはかる看護師も増えてきた。看護協会入会者も 86%になった。患者に信頼される病院づくりに貢献している人が増えてきている。

近隣の施設や訪問看護ステーションとともに、勉強会を実施して、お互いのキャリアアップをはかる努力をしている。

（２） ２階病棟

看護師長　中條　郁代

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

特色

H26 年４月１日　　看護師長１名　主任看護師　１名　看護師 18 名
　　非常勤看護師　２名　非常勤看護助手　５名

H27 年３月 31 日　　看護師長　１名　主任看護師　１名　看護師 15 名
　　非常勤看護師　４名　非常勤看護助手　５名

外科系急性期病棟　42 床（HCU２床）

入院対象は主に外科・整形外科の急性期・眼科

外科系疾患は主に　胃癌・胆道系疾患・ヘルニア・乳癌・イレウス・化学療法目的・大腸癌・外傷・急性腹症など 755 名であった。

今年度、大腸内視鏡検査入院は、約 287 名、日帰り化学療法は、102 名であった。

整形外科入院 272 名中、大腿骨頸部骨折・胸腰椎圧迫骨折が、殆どであった。

眼科入院 424 名は、全て白内障手術目的であった。

内科 46 名の入院があった。

（２）業務実績

H26 年度総入院数は、1,497 名で平均患者数は 35.5 名／日。うち、外科 755 名(50.4%) 整形外科 272 名(18.2%)　眼科 424 名(28.3%) 内科 46 名(3.1%)であった。

1,497 名中　90 歳以上 78 名（5.2% ）、80 歳以上 415 名（30.1%）、70 歳以上 512 名（34.2%）、60 歳以上 265 名（17.7%）であった。

昨年同様 60 歳以上が、1,306 名（87.2%）と大幅に占めており、昨年とほぼ同じである。

（単位：人）

区分	9歳以下	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～100歳	100歳以上	計
外科	3	4	3	13	32	62	141	256	209	32		755
内科			1		3	2	5	16	16	3		46
整形		1	3	11	9	17	42	74	79	34	2	272
眼科			1	7	4	15	77	166	147	7		424
計	3	5	8	31	48	96	265	512	451	76	2	1,497

（3）病棟目標評価

H26 年度２階病棟看護目標

ア　情報の共有を図り、統一した看護の提供ができる。

＜具体策＞

① リーダーを中心にチームカンファレンスを 2 回/日行う。

② 各チームリーダーが、役割を果たしチームをまとめ統一した看護を提供する。

③ 看護計画の評価は、1 回/週行い、個別性のあり看護ができる。

＜評価＞

「話し合いを行う」習慣は徐々についてきたが、「チームリーダーの役割」について個々の学びが必要と思う。

看護計画、退院までの患者評価も習慣づけが必要。

イ　環境整備に気を配り、安全、安定した入院生活を過ごすことができる。

＜具体策＞

① 日々の清潔ケアを充実する。

② 生活環境の整理を行い、転倒を防ぐ。

③ 患者・家族に丁寧に対応しクレームをなくす。

＜評価＞

目標として個々の意識づけに繋げることができた。

（３）３階病棟

看護師長（H27.３.31）　三輪　睦

○活動状況

（１）平成 26 年度トピックス

特色

３階病棟は内科を中心に入院患者を受け入れる急性期内科病棟です。市内に唯一の公立病院として 24 時間体制で緊急入院を受け入れており入院してくる患者は軽症から重症と幅広く専門的知識と技術が必要で日々高度な医療と看護を提供している。

職員構成は看護師長１名　主任看護師２名　看護師 17 名　非常勤看護助手７名

病床数　：　47 床（HCU２床　個室６床　特室１床　４人部屋 40 床）

入院対象：　急性期内科（24 時間救急患者入院対応）
ベットコントロールにて外科・整形患者の受け入れも実施

看護方式：　固定チームナーシング：ＡＢ２チーム制、継続受け持ち看護方式を取り入れ、準夜・深夜ともに看護師３名体制で質の高い看護を提供。

（２）業務実績

ア　入院患者の状況

区分	H26	
	入院患者数(人)	構成比(%)
内科	1,045	94.74%
外科	24	2.18%
整形	23	2.08%
産婦人科	0	0.0%
小児科	0	0.0%
眼科	11	1.0%
合計	1,103	100.0%

イ　入院患者の年齢別状況

（単位：人）

区分	9歳以下	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計
内科	0	4	3	20	36	41	98	232	410	198	3	1,045
外科	0	0	0	0	1	1	3	7	8	4	0	24
整形	0	0	0	0	0	1	2	5	11	4	0	23
産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	1	1	0	0	4	5	0	0	11
耳鼻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	4	3	21	38	43	103	248	434	206	3	1,103

（ア）主な疾患

肺炎・脳梗塞・心不全・糖尿病・尿路感染症・脱水・溺水・心肺停止後蘇生・腎盂腎炎・眩暈・肝機能障害・肺癌・憩室炎・急性扁桃炎・肝癌・イレウス・胆石・胆のう炎

（イ）対象手術

永久ペースメーカー挿入術・ＭＲＩポート挿入術・胃瘻造設術・大腸ポリープ切除術

ウ　平成26年度3階病棟看護目標

患者・家族が安心できる入院生活とスタッフ全員が働きやすい職場環境を整える。

（ア）より良いチームワークでパワーと活気ある病棟運営を行う。

a　患者・家族にやさしく、思いやりを持ち日々の看護を提供する。

b　業務・役割を明確にし各自が責任を持ち日々の看護に取り組む。

c　急性期内科病棟の役割を理解し無駄なく病床管理を行う。

＜評価＞

・　接遇委員を中心に「優しい言葉使い」「身だしなみチェック」を日々実施し看護業務で実践した。

・　受け持ち制看護の導入をし、各自が責任を持って取り組むことができた。24時間365日いつでも入院受け入れできる体制を整えた。

（イ）エビデンスに基づいた看護業務の見直し・改善を実施する。

a　常に問題認識を持ち業務改善・コスト削減に取り組む。

b　日々進化する医療に対し前向きに柔軟な対応をする。

c　スタンダードプレコーションの徹底・整理・整頓を心がける。

＜評価＞

・　診療材料委員会を中心に高度な医療材料・診療材料の在庫状況や定数の見直しを実施し、コスト削減に取り組んだ。

（ウ）病院組織・看護部組織を理解し各自が目標を持ち業務に取り組む。

a　個々の役割を理解し各自がキャリア開発に取り組む。

b　組織における報告・連絡・相談の重要性と病院ルールを理解する。

c　個々の強みを発揮し『看護の質』の向上に努める。

＜評価＞

・　キャリアラダーの年間教育計画に沿い目標を設定し取り組み、個々のキャリアアップに努めた。教育担当の協力で院内研修・院外研修・長期研修に積極的に参加できた。

（４）４階病棟

看護師長（H27.３.31 現在）　原　美智子

○活動状況

（１）平成 26 年度トピックス

特色

平成 26 年４月１日　看護師長１名　主任看護師２名　看護師 12 名
准看護師１名（看護学生）　看護助手９名（うち看護学生３名）

平成 27 年３月 31 日　看護師長１名　主任看護師２名　看護師 12 名
非常勤看護師２名　准看護師１名（看護学生）
准看護師３名（うち看護学生２名）
看護助手９名（うち看護学生３名）

慢性期病棟　47 床　（亜急性期病床 20 床 H26.８.31 まで）含む及び
（地域包括ケア病床 24 床 H27.９.１～）含む

入院対象は急性期治療が終了した患者と他院から地域包括ケア病床への転入

（２）統計

平成 26 年度総入院患者数は 487 名　うち内科 294 名（60%）　外科５名（1%）　整形　188 名（39%）。入院患者は 80 歳以上が 62%を占めていた。亜急性ベッド数使用者数は占床率 81.2%（H27.４.１～H27.８.31）地域包括ケア病床占床率 69.6%（H27.９.１～H27.３.31）。地域包括ケア病床の退院先は自宅 83 名（70%）施設（居住形態）入所 23 名（19%）急性期転床４名（３%）その他８名（６%）であった。

３月末日現在数（単位：人）

区分	20 ~29 歳	30 ~39 歳	40 ~49 歳	50 ~59 歳	60 ~69 歳	70 ~79 歳	80 歳 ~89 歳	90 歳 以上	合計
内科	0	2	0	8	15	76	122	71	294
外科	0	0	0	1	0	1	3	0	5
整形外科	0	2	4	5	8	56	77	36	188

（３）病棟看護目標

ア　看護の質の向上を目指し、チームカンファレンスを充実させ、記録につなげられる。

・常に看護師の視点で観察し行動できる。
・問題志向型の計画が立案でき、ＳＯＡＰの記録評価がスムーズにできる。

〇評価

毎日のチームカンファレンスで話し合われたこと実践するため、記録やワークシートで情報の共有に努めた。転入時の計画がそのままのこともあり、早期に退院に向け計画の展開を習慣づけることが必要である。

イ　定時カンファレンスからリハビリの状況を把握し、早期退院につなげる。
・長期入院が患者の ADL 及び認知症の発症、進行のリスクを考える。

〇評価

亜急性期病床が８月 31 日で閉鎖となり、９月より地域包括ケア病床 24 床が開設された。地域包括ケア病床の特徴からリハビリを行う場合２単位以上の実施が必要となった。入院年齢層の高さから体力の低下、環境の変化から精神的状況を維持できず、患者本人や家族の望むＡＤＬを目指すと入院日数が 60 日制限ぎりぎりまでになる事もあった。入院が長くなるにつれ精神的安定を維持することが難しくなるため、今以上に早期離床、退院へ導いていく方法を考慮していく。

ウ　自分自身が立てた本年度の目標を達成できる。
・研修などを利用し、情報知識を得て充実した１年を過ごす。

〇評価

研修への参加は自身の意志にゆだねるところが大きい。意識して参加を心がけること、院外研修にも皆声を掛け合い参加するように努めた。分散教育で内容を共有できるようにした。目標をすべて達成できたとはいえないまでも、意識して取り組めるようスタッフ間で支えている。

地域包括ケア病床が開設し、今まで以上にＡＤＬ確立への援助が看護の位置を占め、介護に片寄りがちになる事もある。慢性期病床とはいえ病院の看護師であり、看護の基本を忘れないよう声を掛け合っている。入院数は少ないが緩和目的、痛みのコントロールの患者もいる。病状の把握、観察の確認、訴えの傾聴など看護師にできる援助をより考えていきたい。

（５）手術室

看護師長　下地　福子

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　患者・家族が安心して手術に臨めるような体制の整備

（ア）手術を受ける患者様の不安の軽減のため術前訪問を 100％する。

（イ）患者の情報を共有し、各自が責任を持ち笑顔で接し、不安の軽減に努める。

（ウ）手術が安全に進行するよう、機械・消耗品の整備や麻酔の介助・機械出し等の業務を確実に行う。

評価：緊急手術以外入院患者に対し 100％の術前訪問ができた。また手術の流れ説明に対し“事前の説明で安心して手術に臨めた”とお褒めの言葉が目安箱内に多々あった。来年度も更なる接遇向上に努める。

イ　スタッフが安全・円滑に働ける職場環境を整える

（ア）スタッフがお互いに声掛け合い、円滑に中材・手術業務を行うことができる。

（イ）解らないこと・知らないことを無くし、安全かつ円滑に業務遂行できるようにする。

（ウ）看護職としてのキャリアアップに努め医療の質の向上に努める。

評価：時間の有効活用、事前のイメージトレーニングと、声の掛け合いにより安全な手術展開となった。

（２）業務実績

ア　手術室・中央材料室

（ア）業務実績

平成 26 年度の手術件数は 725 件でした。内訳は外科 178 件、整形外科 105 件、眼科 438 件、内科４件で前年度より 135 件増であった。

今年度は、手術台・無影灯が新しく設置された。

中央材料室では院内で使用する医療機器の洗浄から滅菌まで一括業務を行っている。また単包化により滅菌有効期限の延長が向上した。

職員構成は、看護師長１名　看護師３名　看護助手１名の５名体制である。日々医療機器・備品点検を行い安全に手術が行えるよう、また緊急手術にも備えている。術前訪問を実施し患者の不安軽減に努めている。術前訪問は100%実施できている。

（イ）手術件数状況

a　科別

（単位：件）

区分	外科	整形外科	眼科	内科	婦人科	その他	計
手術	178	105	438	4	0	0	725
緊急手術	16	2	1	0	0	0	19

b　年齢別

（単位：件）

区分	0~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計
外科	3	2	6	6	14	41	57	49	178
整形外科	4	2	3	7	7	17	28	37	105
眼科	0	0	0	2	13	84	189	150	438
内科	0	0	0	0	0	0	0	4	4
計	7	4	9	15	34	142	274	240	725

（６）外来

看護師長　園田　恵美子

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　診療科：内科（循環器科　呼吸器科　糖尿病）　外科　整形外科　眼科　耳鼻咽喉科　産婦人科　小児科　神経内科　脳神経外科　泌尿器科　皮膚科　内視鏡　フットケア外来　リンパ浮腫外来

イ　救急外来：24 時間体制（地域医療科・手術室・病棟師長の応援体制あり）

ウ　人員：　看護師長１名
主任看護師２名
看護師 10 名
非常勤看護師４名
非常勤准看護師８名
非常勤看護助手９名　　（合計 34 名）

（２）業務実績

ア　患者数　　99,395 人／年
平均患者数　　407 人／日

イ　健診業務：国保・なごみ・特定・一般健診　634 件
市職・船員・その他事業所等の健診　1,521 件
集団健診　993 件
土曜日健診（毎月第２土曜日）癌検診と国保等健診を行う。

ウ　予防注射：インフルエンザ（院内）1,081 件
インフルエンザ（出張）292 件
破傷風・ＨＢワクチン　299 件
肺炎球菌ワクチン　216 件

エ　平成 26 年度科別患者数

（単位：人）

区分	内科	神経内科	外科	整形外科	産婦人科	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科
4 月	3,053	161	788	2,586	129	197	569	333	144	160	179
5 月	3,001	159	731	2,484	121	179	618	298	137	239	205
6 月	2,926	158	768	2,781	128	155	592	281	135	189	176
7 月	3,101	158	887	2,719	138	225	625	317	147	212	203
8 月	3,207	170	853	2,502	135	153	587	313	150	176	216
9 月	3,002	173	945	2,545	115	196	497	275	140	235	191
10 月	3,095	165	806	2,535	189	224	670	310	166	217	175
11 月	2,852	163	779	2,122	148	253	549	265	147	171	192
12 月	3,446	165	490	2,303	144	316	572	244	116	228	171
1 月	3,598	164	825	2,194	115	262	507	209	151	198	177
2 月	2,843	151	748	2,143	1145	251	534	272	119	186	207
3 月	3,054	163	794	2,432	155	301	581	373	148	220	219
計	37,178	1,950	9,414	29,346	2,662	2,712	6,901	3,490	1,700	2,431	2,311

（3）　外来目標及び評価

『外来看護師として専門性を発揮し、患者に安全で安心して受診できる環境を提供します』

ア　外来全体の情報を共有し、応援体制を行うことにより、スムーズな外来業務ができる

○毎朝全員でミーティングを行うことで、一日の流れが把握でき、計画的に行動することができた。

○内科系・外科系・内視鏡室の 3 チーム編成としたが、チームを越えて応援体制をとることができた。

イ　患者様・家族の立場に立って丁寧な案内・説明ができる

○電カルの操作に慣れないうちは患者様を待たせてしまうこともあったが、徐々に余裕をもってできるようになった。

○個別性を考慮し、説明用紙に書き加えるなどの工夫ができた。

ウ　作業環境を整え、感染防止・医療事故の防止に努める。

○感染・リスクの研修会に積極的に参加し、意識の向上は図れた。

○重大なインシデントはなかった。

エ　看護師が患者様に寄り添える専門外来を行うことができ、能力を発揮し予防医療の充実に努める（糖尿病外来・フットケア外来・ストーマ外来）。

○糖尿病療養指導士と管理栄養士により個別指導を開始することができた。

○フットケア外来受診につながるアピールを検討中。

○ストーマ外来開設には至らなかったが、外科外来においてその都度、個別相談に応じている。

オ　他部門・他施設との連携の強化に努める。

○日々他部門との良好なコミュニケーションを意識することで、スムーズな業務の遂行ができたと思う。

○他施設の利用者様が当院を受診される際の流れは順調であったが、受診のタイミング等についての話し合いの場を持つなど今後検討していく。

（７）看護教育室

看護師長　舘林　美加子

○活動内容

（１）平成 26 年度のトピックス

公開講座　６コース

（ア）感染管理

（イ）看取り

（ウ）褥瘡管理

（エ）リハビリテーション

（オ）薬剤管理

（カ）トピックス（地域医療科）

（２）業務実績

ア　院内研修

（ア）新採用職員研修及び新人看護師研修

	月　日	内容	講師・担当	受講者
新採用者研修	26 年４月１日	オリエンテーション　・辞令交付式・職務義務 ・公務員倫理・人事諸制度①・職員紹介・総院長講話	総病院長 看護部長	
	２日	・人事諸制度②・地域財政制度・三浦の防災について	市役所職員	新採用
	３日	・市長講話 ・キャリアラダーについて ・プリセプター合同研修	三浦市長	８名
	４日	・清掃体験研修	市役所職員	新採用
	７日	・普通救命講習　・市の地理と歴史	救急救命士	７名
	８日	・感染講義①スタンダードプリコーション ・医療安全 ・災害看護	感染管理認定看護師 杉﨑絵美 後藤令子 原美智子	新採用 ８名
	９日 13 時～17 時	・採血・点滴概念①・コスト管理 ・市の施設見学	舘林美加子 市役所職員	新採用
	10 日	・感染講義②演習	感染管理認定看護師 杉﨑絵美	７名

	月　日	内容	講師	受講者
新採用者研修	26年4月10日 13:00～17:00	・採血・点滴の概念②腕モデル ・接遇（マナーと実技）	舘林美加子 市役所職員	新採用 7名
	11日 8:30～16:00	・看護技術　モニター　血圧計測定　12誘導　心電図 ・目標シート作成	舘林美加子	新採用 6名
	11日 16:00～17:00	・薬剤管理	猪崎薬剤科長	新採用 7名
	14日 13:00～15:00 15:00～17:15	・看護技術　吸引　経管栄養 ・臨床倫理 点滴ミキシング　計算方法　持続方法	山﨑静枝 原美智子 プリセプター合同	新採用 8名 7名
	15日	・組織論　八甲田山から見るリーダーシップ ・ローテーション研修（OP室・救急外来・地域医療）	杉﨑絵美 各所属長	7名 各2名
	16日	・リスク　ロールプレー ・記録について ・接遇について	鈴木三恵子 山﨑静枝 佐藤看護部長	新採用 8名
	17日 9:00～12:00	・電子カルテ①	山本浩文 鈴木安代	新採用 6名
	13:00～15:30 15:30～17:00	・採血・点滴の概念③　腕モデル　実践 ・感染講義③演習	感染管理認定看護師 杉﨑絵美	新採用 8名
	18日 8:30～12:30	・採血・点滴の概念④　筋肉注射　皮下注射　インシュリンについて・シリンジポンプ・輸液ポンプ管理	舘林美加子	新採用 7名
	13:30～17:00	・ローテーション研修（OP室・救急外来・地域医療）	各所属長	各2名
	21日 8:30～12:00	・電子カルテ② ・ローテーション研修（OP室・救急外来・地域医療）	山本浩文 各所属長	6名 各2名
	22日	・電子カルテ③ ・ローテーション研修（OP室・救急外来・地域医療）	山本浩文 各所属長	6名 各2名
	23日 10:40～12:00	・看取り ・NST　食事介助 ・口腔ケア ・ドレーン管理	山本浩文 下里未来 高西かな子 長島歯科衛生士 （鎌倉保健福祉事務所三崎センター） 下里未来	新採用 7名

	月　日	内容	講師・担当	受講者
新採用者研修	26年4月24日	・接遇② ・接遇　実践 ・感染講義④ ・ポジショニング　創処置　褥瘡について	佐藤看護部長 高久乙華 感染管理認定看護師 杉﨑絵美 長島好美	新採用 7名
	25日	・シリンジポンプ　輸液雄ポンプ　テスト ・高齢者看護について　高齢者疑似体験	舘林美加子	新採用 7名
	28日	・ローテーション研修振り返り ・看護必要度について　・採血　静脈注射テスト	舘林美加子	新採用 7名
	30日	・電子カルテ　最終確認 ・電子カルテ　記録	山本浩文 鈴木三恵子	新採用 7名
	5月30日 13:30～17:00	・エンゼルケアについて	緩和ケア認定看護師 柴田弘子	新人看護師 8名
	6月28日	・3ケ月フォローアップ 現在の思いGW　急変の看護　夜間リーダーについて	舘林美加子	新人看護師 7名
	9月20日 8:30～17:15	・6ヶ月フォローアップ　・看護展開 ・呼吸器について　・6ケ月後の私（自分への手紙開封）	山崎静枝 IMI	新人看護師 8名
	12月6日 8:30～17:15	・9ヶ月フォローアップ ・多重課題について　看護計画立案	山本浩文 プリセプター合同	新人看護師 8名
	3月5日 3月20日	・12ヶ月フォローアップ 「1年の振り返りと今後の課題」発表	舘林美加子	新人看護師 8名

（イ）キャリアラダー

レベル	研修講座名	内　　容	担当	受講者
Ⅰ―Ⅱ	26年5月22日　29日	ケースレポート導入講義	下地福子	14名
	26年9月11日　25日	ケースレポート　グループワーク	山本浩文	15名
	26年12月9日　18日	ケースレポート　経過報告会	高西かな子	11名
	27年2月19日	ナラティブ	長田泰代	16名
	27年3月26日	発表		14名
Ⅰ―Ⅲ	26年9月30日	再構成導入講義（9月30日レポート提出）	中條郁代	7名
	26年10月21日	再構成グループワーク	鈴木三恵子	7名
	27年1月30日	看護観　再構成　レポート提出	柴田弘子	7名
Ⅱ	26年6月12日　13日	看護研究　導入講義	嘉山静子	12名

レベル	研修講座名	内　　容	担当	受講者
Ⅱ	26 年 7 月 31 日	看護研究計画書提出	杉﨑絵美	7 名
	26 年 10 月 27 日　28 日	高齢者ケア①	石川智子	9 名

レベル	研修講座名	内　　容	担当	受講者
Ⅱ	26 年 12 月 12 日	看護研究進行状況報告会	原美智子	3 名
	27 年 3 月 9 日　10 日	高齢者ケア②	石川智子	3 名
	27 年 5 月 15 日	発表	市川夏実	2 名

（ウ）選択コース

コース	日程	担当	受講者
看護理論	①26 年 6 月 11 日　理論学びの導入　②7 月 23 日　理論家の決定③10 月 8 日経過報告とアドバイス④12 月 3 日まとめ ⑤27 年 1 月 21 日発表	嘉山静子　柴田弘子 山﨑静枝	4 名
ナラティブ	①26 年 7 月 1 日ナラティブとは②9 月 26 日グループワーク ③11 月 25 日課題提出④12 月 26 日　レポート提出	園田恵美子 杉﨑絵美　高西かな子	3 名
感染Ⅰ	①26 年 5 月 16 日 20 日感染標準予防策 ②6 月 30 日　7 月 24 日　感染経路別予防策 ③10 月 2 日 3 日　針刺し切創　11 月レポート	感染管理認定看護師 杉﨑絵美	6 名
感染Ⅱ	①26 年 9 月 19 日感染症法について学ぶ ②11 月 21 日ノロ対策③12 月 11 日まとめ ④27 年 1 月 28 日　レポート提出	感染管理認定看護師 杉﨑絵美	4 名
看取り	①26 年 6 月 3 日　コミュニケーション②9 月 17 日痛みのケア　疼痛コントロール③12 月 10 日まとめ④27 年 1 月 28 日レポート提出	緩和ケア認定看護師 柴田弘子	4 名
リーダーシップ	①26 年 6 月 19 日リーダーシップとは ②9 月 16 日多重課題 1　多重課題 2　③12 月 16 日レポート	舘林美加子 市川夏実	3 名
心電図	①26 年 6 月 17 日 18 日　心電図を読む ②10 月 14 日 15 日 ③27 年 1 月 29 日 30 日 ④27 年 3 月 18 日 19 日　最終チェック	鈴木検査技師長	14 名
災害看護	①6 月 20 日②9 月 24 日③12 月 2 日④27 年 2 月 12 日 災害から自部署の課題を取り上げる	原美智子	7 名

（エ）公開講座

コース	日程	内容	講師	受講者
感染管理	26年6月16日	食中毒	感染委員会	13名
	26年10月20日	ノロウイルスについて	感染管理認定看護師	13名
	26年9月24日	インフルエンザについて	杉﨑絵美	10名
緩和ケア（看取り）	26年6月25日	痛みのマネジメント	緩和ケア認定看護師	18名
	26年9月10日	症例マネジメント	柴田弘子	9名
	26年11月12日	地域のエンドオブライフケア		14 名
褥瘡管理	26 年5 月27日	褥瘡の発生とその要因	長島好美	21名
	26年10月7日	ポジショニングについて	ケープ	27名
	27年2月10日	褥瘡対策　耐圧分散について	薬剤科　福本哲也	15名
リハビリテーション	26年6月6日	基本動作・移乗動作の介助方法	理学療法士	9名
	26年10月16日	高次機能障害について	作業療法士	17名
	27年2月26日	転倒予防教室		4名
薬剤管理	26年7月16日	栄養について	大塚製薬工場	27名
	26年11月4日	オピオイドについて	薬剤科　加藤慈	23名
トピックス	26年7月8日	高齢者の疾患と薬について	地域医療科	50名
	27年1月27日	在宅・施設における医療処置 胃瘻とカテーテル類を中心に	兒玉末医師	37名

（オ）院内研修会・伝達講習会

	月　日	研修内容	講師	受講者
院内研修会	26年5月21日	トロッカー管理	下里未来	17名
	26年5月23日	ギプスシーネ固定	塩瀬実弥子	14名
	26年7月2日	CVPPP	放射線技師：加藤靜	12名
	26年6月10日	みんなで行う医療安全対策	医師：五味渕一三	41名
	26年7月9日	伝達講習	原田左和子　原かおり	15名
	26年7月15日	標準予防策と針刺し切創予防1回目	大正富山医薬品	24 名
	26年7月22日	N95講習会	3M株式会社	14名
	26年7月25日	急変の看護	2階病棟	12名
	26年7月28日	N95講習会	3M株式会社	10名
	26年7月29日	標準予防策と針刺し切創予防2回目	大正富山医薬品	27名
	26年7月31日	脳卒中について	医師：東山雄一	25名
	26年7月31日	白内障について	医師：山口健一	18名

	月　日	研修内容	講師	受講者
院内研修会	26年8月5日	栄養管理①嚥下について	ネスレ	19名
	26年9月6日	現代の看護学生の特性　高齢社会の現状	箕浦とき子(外部講師)	22名
	26年9月30日	腹部症状緩和ケア	医師：兒玉末	24名
	26年10月6日	看護必要度１回目	高西かな子	18名
	26年10月22日	内視鏡について	医師：齊藤真	11名
	26年10月29日	看護必要度２回目	山﨑静枝	32名
	26月11月20日	急変の看護	３階病棟	12名
	26年11月28日	輸液とCOPDの栄養管理	大塚製薬工場	9名
	26年12月11日	手術室　手洗い	健栄製薬株式会社	6名
	26年12月8日	冬こそただしい感染対策＆手洗いについて	健栄製薬株式会社	21名
	26年12月24日	冬こそただしい感染対策＆手洗いについて	健栄製薬株式会社	18名
	27年1月13日	せん妄と臨死期のケア	医師：兒玉末	18名
	27年2月17日	血ガスについて	シーメンス株式会社	13名
	27年2月24日	急変の看護	4階病棟	13名
	27年3月19日	認知症について	医師：東山雄一	14名
	27年3月25日	CVPPP	池田安弘	8名
	27年3月30日	接遇研修２回目患者から喜ばれる接遇者	高久乙華	10名

（カ）助手研修

	月　日	研修内容	講師	受講者
助手研修	26年6月19日	洗浄について	小川渚	11名
	26年9月3日・4日	ディスカッション	舘林美加子	22名
	26年12月24日・25日	ノロセット	感染管理認定看護師　杉﨑	17名

イ　院外研修

（ア）出張研修・自己研修　参加状況

月　日	研修テーマ	開催場所	受講者
26年5月23日 6月14日8月30日 11月29日 27年2月7日	神奈川県看護協会他施設合同研修 新人看護師職員研修	神奈川県総合医療会館5階	8名

月　日	研修テーマ	開催場所	受講者
26 年 7 月 18 日 26 年 10 月 4 日	神奈川県看護協会他施設合同研修 実地指導者コースⅡ	神奈川県総合医療会館 5 階	2 名
26 年 5 月 27 日	平成 26 年度　がんばれ新人ナース	横浜市市民会館文化会館 関内ホール	8 名
26 年 6 月 20 日	平成 26 年神奈川県看護協会通常総会	神奈川県総合医療会館	2 名
26 年 6 月 26 日	看護協会横須賀支部大会	ヴェルクよこすか	4 名
26 年 7 月 10 日 11 日	インターネット配信 災害看護と看護（基礎編）	神奈川県総合医療会館	2 名
26 年 9 月 25 日	２年目ナース研修	キャリア支援研修センター藤沢	2 名
26 年 11 月 18 日	２年目ナース研修	神奈川県総合医療会館	4 名

神奈川県看護協会　教育研修 A 群～D 群

研修テーマ	開催場所	受講者
看護協会教育研修 A 群	神奈川県総合医療会館	7 名
看護協会教育研修 B 群	神奈川県総合医療会館	5 名
看護協会教育研修 C 群	神奈川県総合医療会館	9 名
看護協会教育研修 D 群	神奈川県総合医療会館	6 名

（イ）看護管理研修会

期間	研修テーマ	開催場所	受講者
26 年 6 月 18 日	平成 26 年度七市公立病院 看護師長研修会	キャリア支援研修 センター藤沢	佐藤清江 嘉山静子 原美智子 園田恵美子 中條郁代 三輪睦 下地福子 原美智子 舘林美加子
26 年 9 月 1 日	医療安全管理者養成研修(7 日間)	神奈川県総合医療	園田恵美子
26 年 10 月 21 日 31 日	平成 26 年度病院管理研修	神奈川県総合医療	中條郁代
26 年 10 月～ 27 年 3 月	セカンドレベル研修	神奈川県立保健福 祉大学実践教育セ ンター	舘林美加子 柴田弘子

（ウ）全国自治体病院協議会研修

日時	研修テーマ	開催場所	受講者
26 年 8 月 20 日 21 日	接遇トレーナー養成研修会	全国都市会館	高久乙華

日時	研修テーマ	開催場所	受講者
26 年 8 月 24 日	重症度医療･看護必要度評価者養成研修	ベルサーレ九段	高西かな子　山崎静枝
26 年 11 月 2 日	重症度医療･看護必要度評価者養成研修	ベルサーレ九段	山本浩文　瀬古澤和子

（エ）院外講師

月　日	研修テーマ	訪問者
26 年 7 月 7 日　8 日 27 年 2 月 25 日　26 日	H25 年度看護協会 教育研修 A 群　災害看護実務編① D群　災害看護実務編②	原美智子

（オ）学校訪問

月　日	学校名	訪問者
26 年 7 月 13 日	小田原看護専門学校・湘南平塚看護専門学校 神奈川県平塚看護専門学校	佐藤清江　嘉山静子
26 年 7 月 23 日	横浜創英短期大学・横浜医師会保土ヶ谷看護専門学校	佐藤清江　嘉山静子
26 年 7 月 30 日	横須賀市立看護専門学校 歯科大学短期大学部　看護学科	佐藤清江　嘉山静子

ウ　院内発表会

（ア）新人看護師発表者 27 年 3 月 20 日

テーマ	発表者
「1 年間を振り返って学んだこと 2 年目の課題について」	一條生久　蛭田千香子　一山春花　関本藍　鈴木明日香 四竈三佳　伊東千瑞子

参加者 23 名

（イ）ラダーⅠ－Ⅱ　ケースレポート発表会　27 年 3 月 17 日

所属	発表者	テーマ
4 階	石渡綾子	不安神経症患者との関わりで学んだこと～傾聴を通して～
手術室	川平朝克	手術室における不安の緩和～聴覚障害のある患者の白内障手術を通じて
4 階	鈴木未来	患者の尊厳守る看護～終末期のがん患者のケアを通して考える～
3 階	田中絵利香	自己効力感を獲得　できた患者へのその後の看護～セルフケア能力を求めて～
3 階	岡野恵美	在宅における胃瘻への家族対処～家族指導を通して学んだこと～
2 階	能隅智子	ストーマ造設術を受けた患者との関わり
2 階	西ノ園由貴	胃切除術を受けた患者との関わり～ダンピング症候群を起こさないための食事管理～

参加者 24 名

（ウ）看護研究　院外発表

日程	開催地	テーマ	発表者
26 年 10 月 31 日	宮崎 全国自治体病院学会	三浦市立病院における職業感染対策のための取り組みー病院職員の流行性ウイルス疾患と血液由来病原体の対策ー	杉﨑絵美
26 年 11 月 15 日	ヴェルク横須賀 神奈川県看護協会横須賀支部看護研究発表会	流行性ウイルス疾患と血液由来病原体への対策 ～職業感染対策充実のための 2 年間の取り組み	杉﨑絵美

エ　職場体験

職場体験日	体験者数	担当者
27 年 1 月 14 日　15 日	三崎中学校　10 名	高橋さつき　小川渚
27 年 1 月 22 日　23 日	初声中学校　3名　長井中学校 2 名	舘林美加子　高橋さつき　伊東千瑞子
27 年 3 月 4 日　5 日	南下浦中学校　5名	原田左和子　小川渚

オ　1日看護体験

職場体験日	体験者数	担当者
26 年 7 月 29 日	高校生 6 名	川平朝克　鈴木未来
26 年 7 月 30 日	高校生 8 名　社会人 1 名	川平朝克　高橋さつき
26 年 7 月 31 日	高校生 4 名	関本藍　　西ノ園由貴　原かおり

カ　実習船　看護技術指導

湘南丸　　航海士 4 名　指導教官　1 名　計 5 名　腕モデルによる点滴技術
講師　舘林美加子

４　事務局

（１）総務課

総務課長　矢尾板　昌克

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　経営状況

三浦市立病院改革プランに基づき各種経営効率化の取組を実施した。この結果、三浦市立病院改革プランの収支計画の目標である単年度資金収支の黒字化及び経常損益の黒字化を平成 23 年度から４年連続で達成した。

イ　組織再編

平成 26 年４月１日には、組織再編を行い、診療部、診療支援部、看護部及び事務局の４部局体制とし、各業務に係る責任の所在や指揮命令系統を明確にし、管理監督者が適切なマネジメントを行えるようにするための新たな組織体制を構築した。

（２）業務実績

ア　経理

（ア）業務実績

本年度の事業収益は、2,591,195,313 円で、これに対して事業費用は、2,586,927,363 円となり、収入、支出差引き 4,267,950 円の黒字である。

事業収益 2,591,195,313 円の内容は、医業収益 2,448,838,759 円、医業外収益 141,218,920 円、特別利益 1,137,634 円である。

一方、事業費用 2,586,927,363 円の内容は、医業費用 2,374,519,581 円、医業外費用 128,343,164 円、特別損失 84,064,618 円である。

（イ）事業収益に関する事項

区分	平成 26 年度
医業収益	2,448,838,759 円
医業外収益	141,218,920 円
特別利益	1,137,634 円
事業収益	2,591,195,313 円

（ウ）事業費用に関する事項

区分	平成 26 年度
医業費用	2,374,519,581 円
医業外費用	128,343,164 円
特別損失	84,064,618 円
事業費用	2,586,927,363 円

イ　医療機器等

（ア）業務実績

医療機器等については、訪問診療等電子カルテ参照・記入システム、手術台、眼軸長測定システム等の整備を図った。

（イ）器械備品及び車両取得の概況

購入年月日	品名	金額（円）	購入先
平成 26 年 9 月 18 日	三浦市立病院公用車（3 台）	3,338,172	（有）須原自動車商会
平成 26 年 9 月 30 日	Colibri バッテリーシステム	2,907,424	アルフレッサメディカルサービス（株）
平成 26 年 12 月 8 日	除細動器（3 台）	2,570,400	クラウメド（株）神奈川営業所
平成 26 年 12 月 16 日	眼軸長測定システム	5,286,600	アルフレッサメディカルサービス（株）
平成 27 年 1 月 30 日	眼底カメラ DICOM 対応機器一式	4,644,000	都築電機（株）神奈川支店
平成 27 年 2 月 21 日	無影灯	2,862,000	メディカルサイエンス（株）
平成 27 年 2 月 24 日	手術台	5,664,600	メディカルサイエンス（株）
平成 27 年 2 月 27 日	ベッドサイドモニタ	1,347,246	アルフレッサメディカルサービス（株）
平成 27 年 3 月 26 日	訪問診療等電子カルテ参照・記入システム	11,340,000	都築電機（株）神奈川支店
平成 27 年 3 月 27 日	ガス式スチームオーブン	1,436,400	日本調理機（株）横浜営業所

（２）医事課

医事課長　佐藤　安志

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　待ち時間対応

平成 26 年１月に導入した電子カルテシステムを柱とした病院業務医療情報システムを効率的に運用し、検証については「ＣＳ向上委員会」の協力を得て取り組んだ。

待ち時間の検証のうち、会計に関連する待ち時間短縮に寄与するため様々な取り組みを実施した。「ＣＳ向上委員会」より提言のあった、会計担当者の座位から立位にすることによる機能性の向上などを実現した。劇的な短縮にはなっていないが、ひとつひとつの積み重ねによりさらに取り組んでまいりたい。

イ　健（検）診業務及び予防接種

待ちの健診から院外に打って出る健診をコンセプトに本年も鋭意取り組んだ。実績は下記に掲載。院外における健診業務等の届け出基準の規制緩和が追い風となり受託しやすくなったことにより、年々依頼も多くなってきている。検診車を持たない当院であるが、様々な工夫を凝らし、市民の方々の要望に応えていけるよう今後とも積極的に取り組んでまいりたい。

（２）業務実績

ア　健康診断

（ア）三浦市集団健診

本年度は、三浦合同庁舎、南下浦市民センター及び初声市民センターの各会場に赴き、三浦市国民健康保険の特定健診を実施した。

三浦合同庁舎６回、南下浦市民センター４回及び初声市民センター２回合計 12 回実施し、延べ 1,006 名の方が受診した。

（イ）出張健診

市内医療介護福祉関係施設延べ５施設で実施し、延べ 616 人の方が受診し入居者の方々と勤務されている方々を効率的に健診は受けられるよう配慮して実施した。

（ウ）出張予防接種

インフルエンザ予防接種について施設１件、接種人数 106 名。官庁１件、95名。合計 201 名の出張予防接種を実施した。

（エ）結果報告会参加

三浦市国民健康保険特定健診及びがん検診の集団健診の結果説明会に看護部と協働で参加し、看護部が血糖測定を実施するとともに、医事課職員が現場で当院への受診勧奨を実施し、延べ 96 件の予約をとった。

イ　施設基準

平成 26 年度中届出した施設基準

（ア）基本診療料　一般病棟入院基本料（点数改正による再届出）

（イ）基本診療料　急性期看護補助体制加算（点数改正による再届出）

（ウ）基本診療料　感染防止対策加算（点数改正による再届出）

（エ）特掲診療料　在宅療養支援病院（点数改正による再届出）

（オ）特掲診療料　ＨＰＶ核酸検出及びＨＰＶ核酸検出（簡易ジェノアタイプ判定）（新　規）

（カ）特掲診療料　人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算（新　規）

（キ）特掲診療料　地域包括ケア入院医療管理料１（新　規）

（ク）特掲診療料　在宅患者訪問看護指導料及び同一建物居住者訪問看護指導料（新　規）

（ケ）特掲診療料　植込型心電図検査（新　規）

（３）栄養課

栄養課長　矢尾板　昌克

○活動状況

（１）平成 26 年度のトピックス

ア　人員体制

８月より管理栄養士（非常勤）１名が入職し、管理栄養士２名体制となった。

イ　給食業務委託

公募型プロポーザルの結果、引き続き日清医療食品株式会社と３年間の契約を締結することとなった。

ウ　栄養管理情報提供書の作成

地域における情報共有及び継続した栄養管理を行うことを目的に、三浦市高齢者の食事・栄養管理研究会において、栄養管理情報提供書を作成した。26 年度の作成・仮運用期間を経て、27 年度より本運用を行うこととなる。

（２）業務実績

ア　栄養食事指導

（ア）業務実績

糖尿病教育入院患者の減少に伴い入院患者への指導件数は減少しているが、その分糖尿病外来における指導に力を入れた。今後は、電子カルテの導入により迅速に患者情報を把握でき、多職種による情報共有が図れるようになっているため、医師への働きかけを行い指導件数増加へ繋げたい。

（イ）栄養食事指導実績数表

（単位：件）

区分＼年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
入院患者	122	86	60
外来患者	44	43	150
合計	166	129	210

イ　給食業務

（ア）業務実績

昨年度同様、患者個々に応じた栄養管理の実施により特別食の割合は増加している。また、給食業務委託契約の見直しに伴い、医師及び管理栄養士以外の病院職員による検食を導入したことで、多様な意見を得られ食事内容の改善へ繋がっている。

（イ）年度別食数表

（単位：食）

区分＼年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
患者給食数	一般食	76,529	71,696	69,286
	特別食	15,513	20,176	23,651
	経管栄養	4,440	2,464	3,181
	小計	96,482	94,336	96,118
患者外給食数		2,208	2,321	2,286
合計		98,690	96,657	98,404

（ウ）平成 26 年度　月別食数表

（単位：食）

区分＼月	患者給食数				患者外給食数	合計
	一般食	特別食	経管栄養	小計		
4 月	6,052	2,029	240	8,321	219	8,540
5 月	5,207	2,303	384	7,894	221	8,115
6 月	5,094	1,968	285	7,347	180	7,527
7 月	5,736	1,968	259	7,963	205	8,168
8 月	5,544	1,797	298	7,639	187	7,826
9 月	6,103	1,769	155	8,027	180	8,207
10 月	6,069	1,993	211	8,273	186	8,459
11 月	5,446	1,756	326	7,528	180	7,708
12 月	5,880	1,789	288	7,957	188	8,145
1 月	6,548	2,060	300	8,908	186	9,094
2 月	5,337	1,856	218	7,411	168	7,579
3 月	6,270	2,363	217	8,850	186	9,036
合計	69,286	23,651	3,181	96,118	2,286	98,404

ウ　その他

公開講座及び健康宅配便において「食中毒の予防」をテーマに看護師及び臨床検査技師と共同して講義を行い、地域の感染防止対策にも取り組んだ。

Ⅲ　委員会の状況

１　三浦市立病院リスクマネジメント委員会

委員長　石渡　秀朗（副管理者）

○活動状況

（１）委員会設置の目的

委員会は、次に掲げる事項を所掌し、必要な施策等の立案、意見調整、審議決定、情報共有及び実施を行う。

ア　医療事故防止対策に関すること。

イ　医療事故の分析及び再発防止策に関すること。

ウ　訴訟及び和解に関すること。

エ　その他医療事故に関すること。

（２）活動実績

①　委員会の開催

ア　第１回「リスクマネジメント委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年４月 22 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

事例報告並びに分析及び再発防止策についての協議

c　参加人数　11 名

イ　第２回「リスクマネジメント委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年５月 27 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

ADL と転倒にかかる調査研究中間報告及び調査票の承認

c　参加人数　13 名

ウ　第３回「リスクマネジメント委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年６月 24 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

患者取り違い事例に係る協議及びインシデントレポート新様式の承認

c　参加人数　15 名

エ　第４回「リスクマネジメント委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年７月 28 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

ADL と転倒にかかる調査研究中間報告及び患者取り違い事例に係る協議

c　参加人数　12 名

オ　第５回「リスクマネジメント委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年８月 26 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

ADL と転倒にかかる調査研究中間報告及びレベル分類の統一化

c　参加人数　13 名

カ　第６回「リスクマネジメント委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年９月 22 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

アクシデント発生時の対処マニュアル及びレベル分類の承認

c　参加人数　14 名

キ　第７回「リスクマネジメント委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 10 月 28 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

ADL と転倒にかかる調査研究最終報告及び承認

c　参加人数　15 名

ク　第８回「リスクマネジメント委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月 25 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

入院一般注射における点滴過剰投与防止対策の承認

c　参加人数　16 名

ケ　第９回「リスクマネジメント委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 12 月 24 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

事例報告並びに分析及び再発防止策についての協議

c　参加人数　13 名

コ　第 10 回「リスクマネジメント委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年１月 27 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

事例報告並びに分析及び再発防止策についての協議

c　参加人数　15 名

サ　第 11 回「リスクマネジメント委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年２月 24 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

内服薬自己管理マニュアルについての協議

c　参加人数　15 名

シ　第 12 回「リスクマネジメント委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年３月 24 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

事例報告並びに分析及び再発防止策についての協議

c　参加人数　13 名

②　研修

ア　新入職者研修

a　開催日時及び場所

平成 26 年４月８日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

テーマ「医療安全について」
講師　医療安全管理担当

c　参加人数　９名

イ　第１回　院内研修

a　開催日時及び場所
平成 26 年６月３日　三浦市立病院会議室

b　活動内容
テーマ「みんなで行う医療安全対策」
講師　診療支援部長

c　参加人数　41 名

ウ　薬学部実習生研修

a　開催日時及び場所
平成 26 年６月３日　三浦市立病院副院長室

b　活動内容
テーマ「薬学生の医療安全研修」
講師　医療安全管理担当看護師

c　参加人数　１名

エ　第２回　院内研修

a　開催日時及び場所
平成 26 年 11 月７日　三浦市立病院会議室

b　活動内容
テーマ「リスク事例の分析とコツ」
講師　看護部外来看護師長

c　参加人数　26 名

２　三浦市立病院感染対策委員会（ＩＣＣ）

委員長　小澤　幸弘（総病院長）

○活動状況

（１）設置目的

当委員会は、平成 26 年度に新たに設置された医療安全管理室が所掌し、医療関連感染に対する感染防止対策に関し、組織を横断して行うべき施策の立案、意見調整、審議決定、情報共有及び実施のため設置されているが、院内にとどまらず地域の感染防止対策にも注力し、次に掲げる任務を遂行している。

ア　院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応に関すること。

イ　院内感染の発生原因の分析、改善策の立案、実施及び見直し並びに病院職員に対する周知に関すること。

ウ　地域の医療機関、保健福祉施設等からの医療関連感染に関する支援に関すること。

エ　感染対策チーム（ＩＣＴ）への助言及び支援に関すること。

オ　その他感染対策に関すること。

当委員会の下部組織として、医療関連感染対策上の実践チームである感染対策チーム（ＩＣＴ）及び臨床現場の役割モデルとしての感染対策リンクナース会を設置し、院内感染対策や職業感染防止などに関連する知識、技術等の職員への周知を実施している

（２）　活動実績

①　委員会の開催

ア　第１回感染対策委員会

a　開催日及び場所

平成 26 年４月４日（金）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

・M 一覧３月（2014 年）

・抗 MRSA 薬品使用患者リスト（H26.３）

・使用制限抗菌薬使用患者リスト（H26.３）

・感染管理情報（疥癬・赤痢アメーバ・インフルエンザ）

・感染症職員/患者報告

・平成 25 年度感染管理年間報告

・アンチバイオグラムについて

c　出席人数　12 人

イ　第２回感染対策委員会

a　開催日及び場所

平成 26 年５月８日（金）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

・M 一覧４月（2014 年）

・抗 MRSA 薬品使用患者リスト（H26.４）

・使用制限抗菌薬使用患者リスト（H26.４）

・三浦市立病院感染管理体制組織図等の一部改正

・感染症患者/職員報告

・感染管理情報（針刺し切創・疥癬・結核性胸膜炎疑い）

c　出席人数　12 人

ウ　第３回感染対策委員会

a　開催日及び場所

平成 26 年６月６日（金）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

・M 一覧５月（2014 年）

・抗 MRSA 薬品使用患者リスト（H26.５）

・使用制限抗菌薬使用患者リスト（H26.５）

・感染管理情報（針刺し切創）

・B 型肝炎の抗体価検査及びワクチン接種について

・採血等実施時の手袋着用について

c　出席人数　11 人

エ　第４回感染対策委員会

a　開催日及び場所

平成 26 年７月 10 日（金）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

・M 一覧６月（2014 年）

・抗 MRSA 薬品使用患者リスト（H26.６）

・使用制限抗菌薬使用患者リスト（H26.６）

・感染症患者/職員報告

・感染管理情報（在宅での針刺し切創）

・外来での針刺し切創の続報について
・公開講座、健康宅配便及び院内研修について

c　出席人数　10 人

オ　第５回感染対策委員会

a　開催日及び場所

平成 26 年８月１日（金）　三浦市立病院２階会議室

b　議　　事

・M 一覧７月（2014 年）
・抗 MRSA 薬品使用患者リスト（H26. ７）
・使用制限抗菌薬使用患者リスト（H26. ７）
・感染症患者報告/職員報告
・手術室手洗いの見直しについて
・水痘及びＢ型肝炎抗体価検査結果の中間報告
・採血等実施時の手袋着用について
・院内研修実施報告

c　出席人数　９人

カ　第６回感染対策委員会

a　開催日及び場所

平成 26 年９月５日（金）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

・M 一覧８月（2014 年）
・抗 MRSA 薬品使用患者リスト（H26. ８）
・使用制限抗菌薬使用感患者リスト（H26. ８）
・感染症患者/職員報告
・感染管理情報（結核疑い）
・デング熱患者対応について
・水痘及び B 型肝炎抗体価検査結果の第２回中間報告
・院内感染対策マニュアル改訂について
・スミスリンローションについて

c　出席人数　10 人

キ　第７回感染対策委員会

a　開催日及び場所

平成 26 年 10 月３日（金）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

・M一覧９月（2014年）
・抗MRSA薬品使用患者リスト（H26.９）
・使用制限抗菌薬使用感患者リスト（H26.９）
・感染管理情報（デング熱疑い）
・三浦市立病院デング熱対応マニュアルの改正について

c　出席人数　11人

ク　第８回感染対策委員会

a　開催日及び場所

平成26年11月５日（水）　三浦市立病院DPC室

b　議事

・M一覧10月（2014年）
・抗MRSA薬品使用患者リスト（H26.10）
・使用制限抗菌薬使用感患者リスト（H26.10）
・感染症患者/職員報告
・感染管理情報（結核疑い）
・JANISサーベイランスのフィードバックについて

c　出席人数　９人

ケ　第９回感染対策委員会

a　開催日及び場所

平成26年12月５日（金）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

・M一覧11月（2014年）
・抗MRSA薬品使用患者リスト（H26.11）
・使用制限抗菌薬使用感患者リスト（H26.11）
・感染症患者/職員報告
・感染管理情報（針刺し切創血液汚染）
・感染管理情報（結核疑い他）
・三浦市立病院エボラ出血熱疑い患者対応マニュアルの制定について

c　出席人数　12人

コ　第10回感染対策委員会

a　開催日及び場所

平成27年１月７日（水）　三浦市立病院DPC室

b　議事

・M一覧12月（2014年）
・抗MRSA薬品使用患者リスト（H26.12）
・使用制限抗菌薬使用患者リスト（H25.12）
・感染症患者/職員報告
・ノロセットについて
・院内研修等実施報告
・エボラ出血熱疑い患者対応に関する質問及び回答について

c　出席人数　12人

サ　第11回感染対策委員会

a　開催日及び場所

平成27年２月６日（金）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

・M一覧１月（2015年）
・抗MRSA薬品使用患者リスト（H27.１）
・使用制限抗菌薬使用患者リスト（H27.１）
・抗菌薬使用量（H27.1）
・感染症患者/職員報告

c　出席人数　12人

シ　第12回感染対策委員会

a　開催日及び場所

平成27年３月６日（金）　三浦市立病院２階会議室

b　議事

・M一覧２月（2015年）
・抗MRSA薬品使用患者リスト（H27.２）
・使用制限抗菌薬使用患者リスト（H27.２）
・抗菌薬使用量（H27.２）
・感染症患者/職員報告
・エボラ出血熱疑い患者対応マニュアルの一部改訂について
・職業感染対策としての抗体価及びワクチン接種勧奨の提案
・HBワクチン接種に関する改正案
・麻疹（疑いを含む）患者対応フローチャートについて

c　出席人数　12人

② 研修

ア 院内全体研修

a 平成 26 年 7 月 22 日（火）及び 28 日（月）

「N95 マスク講習会」

対象者：病院職員

テーマ：「N95 マスクについての説明と着脱方法」

講師：３M ヘルスケア株式会社 高山雅裕氏

参加者：24 名

b 平成 26 年 7 月 15 日（火）及び 29 日（火）

「平成 26 年度 第１回 院内感染対策講習会」

対象者：病院職員

テーマ：「標準予防策と針刺し切創防止」

講師：大正富山医薬品株式会社 丸井英樹氏

参加者：51 名

c 平成 26 年 12 月８日（月）及び 24 日（水）

「平成 26 年度 第２回 院内感染対策講習会」

対象者：病院職員

テーマ：「冬こそ正しい感染対策＆手洗いについて」

講師：健栄製薬株式会社 堀千佳子氏

参加者：39 名

イ 感染対策公開講座

a 平成 26 年６月 16 日（月）

テーマ：「食中毒の予防について」

参加者：13 名（院外７名・院内６名）

b 平成 26 年 10 月 20 日（月）

テーマ：「ノロウイルスについて」

参加者：18 名（院外 10 名・院内８名）

c 平成 26 年 11 月 18 日（火）

テーマ：「インフルエンザについて」

参加者：10 名（院外５名・院内５名）

ウ　感染対策出前講座（健康宅配便）

a　平成 26 年６月 19 日（木）　会場：あんじゅ三浦海岸
対象者：あんじゅ三浦海岸・あんじゅ三崎口の職員
テーマ：「食中毒の予防について」
参加者：13 名

b　平成 26 年７月 16 日（水）　会場：学童保育とびうおクラブ
対象者：学童保育指導員
テーマ：「食中毒について」
参加者：12 名

c　平成 26 年 11 月 20 日（木）　会場：あんじゅ三浦海岸
対象者：あんじゅ三浦海岸・あんじゅ三崎口の職員
テーマ：「感染症について」
参加者：11 名

③　その他の活動

ア　感染防止対策カンファレンス

a　平成 26 年５月２日（金）「ICT 合同カンファレンス」
会場：横須賀共済病院
参加施設：横須賀共済病院、横須賀共済病院分院、湘南病院、聖ヨゼフ病院、
自衛隊横須賀病院、三浦市立病院

b　平成 26 年７月４日（金）「ICT 合同カンファレンス」
会場：横須賀共済病院
参加施設：横須賀共済病院、横須賀共済病院分院、湘南病院、聖ヨゼフ病院、
自衛隊横須賀病院、三浦市立病院

c　平成 26 年 10 月 17 日（金）「感染防止対策カンファレンス」
会場：三浦市立病院
参加施設：横須賀共済病院分院、三浦市立病院

d　平成 26 年 11 月７日（金）「ICT 合同カンファレンス」
会場：横須賀共済病院
参加施設：横須賀共済病院、横須賀共済病院分院、湘南病院、聖ヨゼフ病院、
自衛隊横須賀病院、三浦市立病院

e　平成 26 年 12 月 12 日（金）「感染防止対策カンファレンス」
会場：横須賀共済病院分院
参加施設：横須賀共済病院分院、三浦市立病院

f　平成 27 年１月９日（金）「ICT 合同カンファレンス」
会場：横須賀共済病院
参加施設：横須賀共済病院、横須賀共済病院分院、湘南病院、聖ヨゼフ病院、
自衛隊横須賀病院、三浦市立病院

イ　地域連携相互評価

a　平成 26 年７月 17 日（木）「感染防止対策地域連携相互評価」
会場：衣笠病院
評価施設：三浦市立病院

b　平成 26 年 11 月 13 日（木）「感染防止対策地域連携相互評価」
会場：三浦市立病院
評価施設：衣笠病院

ウ　サーベイランス

a　厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）全入院患者部門
目的：全入院患者を対象とし、主要な薬剤耐性菌による感染症患者の発生率に関するデータを継続的に収集・解析し、医療機関における薬剤耐性菌による感染症の発生状況を明らかにする。

平成 26 年度　薬剤耐性菌感染症患者及び感染率

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
感染症患者数		0	1	1	0	0	2	2	2	0	2	1	0
	MRSA	0	1	1	0	0	2	2	2	0	2	1	0
	VRE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MDRP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PRSP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	VRSA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MDRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MRSA 感染率(‰)		0.00	2.90	2.88	0.00	0.00	5.60	5.29	6.34	0.00	5.64	2.89	0.00
対象医療機関 MRSA 感染率(‰)		3.61											

感染症患者数＝（新規感染症患者数）＋（継続感染症患者数）

感染率（‰）＝（感染症患者数）÷（総入院患者数）×1000

対象医療機関 MRSA 感染率は、対象医療機関 551 施設の平成 25 年の MRSA 感染率（‰）

b　厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）SSI 部門

目的：術後に発生する手術部位感染（SSI）のリスク因子ごとの発生率やその原因菌に関するデータを継続的に収集・解析し、医療機関における SSI の発生状況を明らかにする。

平成 26 年　対象医療機関との手術件数及び SSI 発生率の比較

手術手技コード	手術手技	自施設		集計対象医療機関	
		SSI 件数/手術件数	SSI 発生率	SSI 件数/手術件数	SSI 発生率
APPY	盲腸の手術	0/4	0.0%	543/9,908	5.4%
CHOL	胆嚢手術	0/9	0.0%	550/17,558	3.1%
COLO	大腸手術	0/10	0.0%	3,944/31,606	12.4%
HER	ヘルニア手術	0/25	0.0%	79/12,665	0.6%
REC	直腸手術	0/6	0.0%	1,780/11,640	15.2%
SB	小腸手術	0/1	0.0%	817/5,363	15.2%
GAST-D	幽門側胃切除	0/2	0.0%	504/7,855	6.4%
FX	骨折観血的整復術	0/26	0.0%	98/13,446	0.7%
BRST	乳房切除術	0/3	0.0%	81/5,126	1.5%
NECK	頚部手術	0/1	0.0%	8/117	6.8%

JANIS SSI 部門 2014 年１月～６月半期報及び同年７月～12 月半期報をもとに作成

対象期間は、平成 26 年１月１日～12 月 31 日

対象医療機関は、2014 年１月～６月 496 施設、同年７月～12 月 568 施設

SSI 発生率（%）＝（集計対象医療機関の SSI 件数合計）÷（集計対象医療機関の手術件数合計）×100

エ　職業感染対策の充実

病院職員に対する職業感染対策の中で、平成２５年度に引き続き、流行性ウイルス疾患に対する対策の強化を行った。平成２６年度の取組として、職員健康診断で水痘抗体価検査を実施した。

３　三浦市立病院褥瘡対策委員会

委員長　石田　良太（医師）

○活動状況

（１）委員会設置の目的

褥瘡の予防等に関し、三浦市立病院において組織を横断して行うべき施策等の立案、意見調整、審議決定、情報の共有及び実施のため、三浦市立病院褥瘡対策委員会を設置する。

（２）活動実績

①　委員会の開催

ア　第１回「褥瘡対策委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年４月３日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

耐圧分散マットの管理、運用について

褥瘡回診についての検討

c　参加人数　５名

イ　第２回「褥瘡対策委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年５月１日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

平成 26 年度委員会目標について

c　参加人数　５名

ウ　第３回「褥瘡対策委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年６月５日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

公開講座について

褥瘡の記録用紙について

c　参加人数　７名

エ　第４回「褥瘡対策委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年７月３日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

ベッドマットレス購入の検討

c　参加人数　５名

オ　第５回「褥瘡対策委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年８月７日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

ＴＥＮＡ（オムツ）のコストについて

褥瘡の記録用紙について

c　参加人数　５名

カ　第６回「褥瘡対策委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年９月４日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

ＴＥＮＡ（オムツ）のコストパフォーマンスについて

ベッドマットレスサンプルの評価について

c　参加人数　７名

キ　第８回「褥瘡対策委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月６日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

ベッドマットレスの評価について

c　参加人数　３名

ク　第９回「褥瘡対策委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 12 月４日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

ＴＥＮＡ（オムツ）の評価について

c　参加人数５名

ケ　第 10 回「褥瘡対策委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年１月８日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

公開講座について

c　参加人数５名

コ　第 11 回「褥瘡対策委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年２月５日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

耐圧分散マット修理について

ＮＳＴ委員会と褥瘡対策委員会が合同で褥瘡回診することを決定する

c　参加人数５名

サ　第 12 回「褥瘡対策委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年３月５日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

次年度の褥瘡回診についての検討

c　参加人数４名

褥瘡持ち込みと褥瘡院内発生数・率　（単位：件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
褥瘡持ち込み	4	5	4	8	5	3	0	0	0	0	0	0
褥瘡院内発生	0	0	0	2	0	0	0	0	2	3	1	0
合計	4	5	4	10	5	3	0	0	2	3	1	0
病床数全体	114.8	104.6	99.4	101.2	104.7	107.8	111.5	108.8	106.1	119.3	112	116.2
持ち込み率	3.4%	4.7%	4.0%	7.9%	4.7%	2.7%						
発生率				1.9%					1.8%	2.5%	0.8%	

褥瘡持ち込み率　平均　4.4％

褥瘡発生率　　平均　0.7％

② 研修

ア 第１回 褥瘡対策公開講座

a 開催日時及び場所

平成 26 年５月 27 日 三浦市立病院会議室

b 活動内容

テーマ「褥瘡の基本的な考え方」

（褥瘡発生の発生要因・予防・発生後のケアについて）

講師 長島 好美

c 参加人数 21 名（院外 17 名・院内４名）

イ 第２回 褥瘡対策公開講座

a 開催日時及び場所

平成 26 年 10 月７日 三浦市立病院会議室

b 活動内容

テーマ「ポジショニングについて」（実際に体験）

講師 外部講師

c 参加人数 27 名（院外 15 名・院内 12 名）

ウ 第３回 褥瘡対策公開講座

a 開催日時及び場所

平成 27 年２月 10 日 三浦市立病院会議室

b 活動内容

テーマ「褥瘡治療薬の適正使用について」

講師 福本 哲也

c 参加人数 15 名（院外８名・院内７名）

エ 第１回 院内全体研修

a 開催日時及び場所

平成 26 年 12 月 17 日 三浦市立病院会議室

b 活動内容

テーマ「ポジショニングについて」

講師 伊藤 結

c 参加人数 ７名

③ その他

各病棟 褥瘡患者の回診

褥瘡耐圧分散マット使用状況確認

a　開催日

第１・３木曜日　15 時 30 分～

b　場所

各病棟

c　活動内容

（a）　褥瘡のある患者の回診を行い、適切な治療が行われること

（b）　記録を残し、情報を共有する

d　参加人数

医師　１名　　看護師　６名　　薬剤師　１名

４　三浦市立病院接遇向上委員会

委員長　園田　恵美子（看護師長）

○活動状況

（１）委員会設置の目的

（設置）

接遇の向上に関し、三浦市立病院において組織を横断して行うべき施策等の立案、意見調整、審議決定、情報共有及び実施のため、三浦市立病院接遇向上委員会を設置する。

（所掌事項）

委員会は、次に掲げる事項を所掌し、必要な審議、決定、情報交換及び施策を行う。

ア　相手を大切に思う心を表す対応に関すること。
イ　表情、言葉づかい、身だしなみ及び態度に関すること。
ウ　信頼、安心感、納得及び癒しを満たす対応に関すること。
エ　質の高いサービスに関すること。
オ　接遇研修に関すること。
カ　その他接遇に関すること。

（２）活動実績

①　委員会の開催

ア　第１回「接遇向上委員会」

a　開催日及び場所

平成 26 年５月 21 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

担当グループ分け　H26 年度目標について

c　参加人数　９名

イ　第２回「接遇向上委員会」

a　開催日及び場所

平成 26 年６月 18 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

平成 26 年度目標　各班の発表

各担当グループ年間スケジュール作成
アンケート作成

c　参加人数　11 名

ウ　第３回「接遇向上委員会」

a　開催日及び場所

平成 26 年７月 16 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

各班の活動・進捗状況報告
チェックリスト内容の検討

c　参加人数　７名

エ　第４回「接遇向上委員会」

a　開催日及び場所

平成 26 年９月 17 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

各班の活動報告

c　参加人数　11 名

オ　第５回「接遇向上委員会」

a　開催日及び場所

平成 26 年 10 月 15 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

接遇ラウンド報告・各班の活動報告

c　参加人数　10 名

カ　第６回「接遇向上委員会」

a　開催日及び場所

平成 26 年 11 月 19 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

接遇ラウンド報告・各班の活動報告

c　参加人数　６名

キ　第７回「接遇向上委員会」

a　開催日及び場所

平成 26 年 12 月 17 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

接遇ラウンド報告・各班の活動報告

c　参加人数　５名

ク　第８回「接遇向上委員会」

a　開催日及び場所

平成 27 年１月 21 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

接遇ラウンド報告・各班の活動報告

c　参加人数　６名

ケ　第９回「接遇向上委員会」

a　開催日及び場所

平成 27 年２月 13 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

接遇ラウンド報告・各班の活動報告

c　参加人数　８名

コ　第 10 回「接遇向上委員会」

a　開催日及び場所

平成 27 年３月 18 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

接遇ラウンド報告・各班の活動報告

c　参加人数　７名

②　研修

ア　第１回「患者様から喜ばれる接遇を目指そう！」

a　開催日及び場所

平成 26 年 11 月 19 日　三浦市立病院会議室

b　講師

三浦市立病院接遇向上委員（接遇マネージャー）

吉田朱里　高久乙華

c　参加人数　４名

イ　第２回「患者様から喜ばれる接遇を目指そう！」

a　開催日及び場所

平成 27 年 3 月 30 日　三浦市立病院会議室

b　講師

三浦市立病院接遇向上委員（接遇マネージャー）

吉田朱里　高久乙華

c　参加人数　10 名

５　三浦市立病院ＮＳＴ委員会

委員長　和田　博雄（医師）

○活動状況

（１）委員会設置の目的

栄養管理を症例個々や各疾患治療に応じて適切に実施すること等に関し、三浦市立病院において組織を横断して行うべき施策等の立案、意見調整、審議決定、情報共有及び実施のため、三浦市立病院ＮＳＴ委員会を設置する。

委員会は、次に掲げる事項を所掌し、必要な施策等の立案、意見調整、審議決定、情報共有及び実施を行う。

① 適切な栄養管理法の選択に関すること。
② 適切かつ質の高い栄養管理の提供に関すること。
③ 早期栄養障害の発見及び早期栄養療法の開始に関すること。
④ 栄養療法による合併症の予防に関すること。
⑤ 疾患罹病率及び死亡率の減少に関すること。
⑥ 病院スタッフへの栄養管理に関する知識の啓蒙及び修得に関すること。
⑦ 医療安全管理の確立及びリスクの回避に関すること。
⑧ 栄養素材及び資材の適正使用による経費削減に関すること。
⑨ 在院日数の短縮及び入院費の節減に関すること。
⑩ 在宅治療症例の再入院及び重症化の抑制に関すること。
⑪ その他栄養管理に関すること。

（２）活動実績

① 委員会の開催

ア　第１回「NST 委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年４月２日　三浦市立病院地下食堂

b　活動内容

ラウンド報告、摂食機能療法の運用、増粘剤の変更について

c　参加人数　10 人

イ　第２回「NST 委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年５月７日　三浦市立病院 2 階会議室

b　活動内容

ラウンド報告、今年度の目標・年間計画の確認、院内研修について

c　参加人数　６人

ウ　第３回「NST 委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年６月４日　三浦市立病院 2 階会議室

b　活動内容

ラウンド報告、摂食機能療法の運用、研修について

c　参加人数　７人

エ　第４回「NST 委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年７月２日　三浦市立病院 2 階会議室

b　活動内容

ラウンド報告、摂食機能療法の運用について

c　参加人数　８人

オ　第５回「NST 委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 8 月６日　三浦市立病院 2 階会議室

b　活動内容

ラウンド報告、摂食機能療法、食事介助方法について

c　参加人数　５人

カ　第６回「NST 委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年９月 18 日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

ラウンド報告、摂食機能療法、研修、委員会構成員の交代について

c　参加人数　７人

キ　第７回「NST 委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月 11 日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

ラウンド報告、研修、委員会内勉強会について

c　参加人数　６人

ク　第８回「NST 委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 12 月９日　三浦市立病院地下食堂

b　活動内容

ラウンド報告、対象患者の抽出、摂食機能療法について

c　参加人数　８人

ケ　第９回「NST 委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年２月 10 日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

ラウンド報告、摂食機能療法、対象患者抽出について

c　参加人数　６人

コ　第 10 回「NST 委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年３月 10 日　三浦市立病院地下食堂

b　活動内容

ラウンド報告、今後の委員会運営について

c　参加人数　６人

②　研修

ア　第１回「NST 勉強会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年８月５日　三浦市立病院２階会議室

b　活動内容

テーマ　「摂食嚥下について」

講師　　ネスレ日本　株式会社

c　参加人数　19 人

イ　第２回「NST 勉強会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月 28 日　三浦市立病院２階会議室

b　活動内容

テーマ　「栄養輸液の基礎」「COPD の栄養管理」

講師　　株式会社　大塚製薬工場

c　参加人数　９人

６　三浦市立病院ＣＳ向上委員会

委員長　五味渕　一三（診療支援部長）

○活動状況

（１）委員会設置の目的

Customer Satisfaction つまり、顧客満足を追求・実践することを目的として設置されている。

（２）活動実績

①　委員会の開催

ア　第１回「ＣＳ向上委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年６月５日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

ＣＳ向上委員会設置要領の一部変更及びご意見箱取扱い要領の説明及び待ち時間の短縮、様呼称及び院内コンサートについての協議

c　参加人数　11 人

イ　第２回「ＣＳ向上委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年７月３日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

みうら市民まつり、院内コンサート、活動報告書、ご意見箱、様呼称、待ち時間の短縮、救急患者受け入れの断りについての協議及び健康宅配便及び院内コンサートの報告

c　参加人数　10 名

ウ　第３回「ＣＳ向上委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年８月７日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

ご意見箱、様呼称、満足度調査、市制 60 周年記念事業、アメニティ及び院内コンサートについての協議及び健康宅配便及び整形外科待ち時間の実態の報告

c　参加人数　9名

エ　第4回「ＣＳ向上委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年9月４日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

ご意見箱、携帯電話の使用、気温設定、待ち時間統計運用マニュアル、看護師の人手不足、院内コンサート及びアメニティについての協議

c　参加人数　10 名

オ　第5回「ＣＳ向上委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 10 月２日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

ご意見箱、携帯電話の使用、院内コンサート及びみうら市民まつりについての協議

c　参加人数　9名

カ　第6回「ＣＳ向上委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月６日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

ご意見箱、賞詞の取扱い、みうら市民まつり、携帯電話の使用、院内コンサート及び投書されないご意見についての協議

c　参加人数　10 名

キ　第7回「ＣＳ向上委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 12 月４日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

ご意見箱、待ち時間統計及び院内コンサートについての協議及びみうら市民まつりの報告

c　参加人数　11 名

ク　第8回「ＣＳ向上委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年１月８日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

ご意見箱及び待ち時間統計についての協議

c　参加人数　７名

ケ　第９回「ＣＳ向上委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年２月５日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

ご意見箱、待ち時間統計、アメニティ、会計に係る時間短縮の取り組みについての協議

c　参加人数　８名

コ　第 10 回「ＣＳ向上委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年３月５日　三浦市立病院ＤＰＣ室

b　活動内容

ご意見箱、待ち時間統計、会計に係る時間短縮の取り組み、院内コンサートについての協議

c　参加人数　９名

②　健康宅配便、ヘルスチェックキャラバン

ア　第１回「健康宅配便」

a　開催日時及び場所

平成 26 年６月 19 日　あんじゅ三浦海岸

b　活動内容

感染対策講習会「食中毒の発生予防とまん延防止について」

c　参加人数　13 人

イ　第２回「健康宅配便」

a　開催日時及び場所

平成 26 年７月 16 日　上宮田小学校内学童保育とびうおクラブ

b　活動内容

感染対策講習会「食中毒について」

c　参加人数　12 人

ウ　第３回「健康宅配便」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 10 月 14 日　三浦市合同庁舎

b　活動内容

脱！メタボリアン作戦市民講座「健診をうけてわかること」

c　参加人数　34 人

エ　第４回「健康宅配便」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 10 月 14 日　初声市民センター

b　活動内容

脱！メタボリアン作戦市民講座「健診をうけてわかること」

c　参加人数　16 名

オ　第５回「健康宅配便」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 10 月 20 日　南下浦市民センター

b　活動内容

脱！メタボリアン作戦市民講座「健診をうけてわかること」

c　参加人数　39 人

カ　第６回「健康宅配便」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 10 月 21 日　金田区民会館

b　活動内容

金田区健康教室「腰痛予防について」

c　参加人数　32 名

キ　みうら市民まつり

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月 16 日　潮風アリーナ研修室

b　活動内容

血圧測定、血糖測定、頸動脈エコー、健康講話、AED 体験、コスプレ撮影等

c　参加人数　174 名

ク　第７回「健康宅配便」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月 20 日　あんじゅ三浦海岸

b　活動内容

感染対策講習会「感染症の予防とまん延防止について」

c　参加人数　10 名

③　院内コンサート

ア　第１回「院内コンサート」

a　開催日時及び場所

平成 26 年６月 14 日　三浦市立病院１階玄関ロビー

b　活動内容

ロビー民舞：和美会による民舞

c　参加人数　50 名

イ　第２回「院内コンサート」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 10 月４日　三浦市立病院１階玄関ロビー

b　活動内容

ロビーフラ：メネフネ・ハナによるフラダンスショー

c　参加人数　30 名

ウ　第３回「院内コンサート」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月 15 日　三浦市立病院１階玄関ロビー

b　活動内容

ロビーゴスペル：シゲズゴスペルクワイヤ「アヤニ」によるゴスペル

c　参加人数　30 名

エ　第４回「院内コンサート」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 12 月 20 日　三浦市立病院１階玄関ロビー

b　活動内容

ロビー民舞：和美会による民舞

c　参加人数　25 名

オ　その他

随時活動している内容として、市内小中学校児童・生徒の作品を９月から３月まで内科待合に展示している。

7　三浦市立病院糖尿病疾病管理委員会

委員長　小澤　幸弘（総病院長）

○活動状況

（1）委員会設置の目的

地域が一体となった糖尿病の重症化及び合併症の予防等に関し、三浦市立病院において組織を横断して行うべき施策等の立案、意見調整、審議決定、情報共有及び実施のため、三浦市立病院糖尿病疾病管理委員会を設置した。

（2）活動実績

①　委員会の開催

ア　第１回「糖尿病疾病管理委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年４月 15 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

検査、外来、フットケア外来、リハビリ、栄養指導等各部門からの報告

c　参加人数　14 名

イ　第２回「糖尿病疾病管理委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年５月 20 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

検査、フットケア外来、リハビリ、栄養指導、外来、病棟等各部門からの報告

c　参加人数　16 名

ウ　第３回「糖尿病疾病管理委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年６月 17 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

検査、糖尿病教育入院、リハビリ、フットケア外来等各部門からの報告

c　参加人数　18 名

エ　第４回「糖尿病疾病管理委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年７月 15 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

検査、外来、入院、リハビリ、フットケア外来等各部門からの報告

c　参加人数　19 名

オ　第５回「糖尿病疾病管理委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年８月 19 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

検査、外来、病棟、フットケア外来、栄養指導、薬剤等各部門からの報告

c　参加人数　16 名

カ　第６回「糖尿病疾病管理委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年９月 16 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

検査、フットケア、外来、入院、リハビリ、栄養指導等各部門からの報告

c　参加人数　14 名

キ　第７回「糖尿病疾病管理委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 10 月 21 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

検査、外来、フットケア、リハビリ、栄養指導、入院等各部門からの報告

c　参加人数　11 名

ク　第８回「糖尿病疾病管理委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月 18 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

検査、フットケア、入院等各部門からの報告

c　参加人数　12 名

ケ　第９回「糖尿病疾病管理委員会」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 12 月 16 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

検査、フットケア外来、外来、入院、リハビリ、栄養指導等各部門からの報告

c　参加人数　12 名

コ　第 10 回「糖尿病疾病管理委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年１月 20 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

検査、フットケア外来、外来、入院、リハビリ、栄養指導等各部門からの報告

c　参加人数　13 名

サ　第 11 回「糖尿病疾病管理委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年２月 17 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

検査、フットケア外来、外来、入院、リハビリ、薬剤科等各部門からの報告

c　参加人数　12 名

シ　第 12 回「糖尿病疾病管理委員会」

a　開催日時及び場所

平成 27 年３月 17 日　三浦市立病院会議室

b　活動内容

検査、フットケア外来、外来、入院、リハビリ、栄養指導等各部門からの報告

c　参加人数　12 名

③　その他イベント

ア　第１回「糖尿病教室」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月６日　三浦市立病院内科眼科待合室

b　活動内容

栄養課が担当し、「糖尿病と食事」をテーマに講演会を開催した。

c　参加人数　約５人

イ　第２回「糖尿病教室」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月 13 日　三浦市立病院内科眼科待合室

b　活動内容

リハビリテーション科が担当し、「糖尿病と運動」をテーマに講演会を開催した。

c　参加人数　約５人

ウ　第３回「糖尿病教室」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月 20 日　三浦市立病院内科眼科待合室

b　活動内容

薬剤科が担当し、「糖尿病と薬」をテーマに講演会を開催した。

c　参加人数　約５人

エ　第４回「糖尿病教室」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 11 月 27 日　三浦市立病院内科眼科待合室

b　活動内容

看護部が担当し、「糖尿病とフットケア」をテーマに講演会を開催した。

c　参加人数　約５人

オ　第５回「糖尿病教室」

a　開催日時及び場所

平成 26 年 12 月３日　三浦市立病院内科眼科待合室

b　活動内容

看護部が担当し、「糖尿病と日常生活」をテーマに講演会を開催した。

c　参加人数　約５人

８　三浦市立病院薬事委員会

委員長　堀内　俊治（医師）

○活動状況

（１）委員会設置の目的

ア　院内における医薬品の適正な管理及び運用に関すること。
イ　医薬品の採用及び削除に関すること。
ウ　使用医薬品の適正な使用方法（厚生労働省発行の医薬品副作用情報の伝達等）に関すること。
エ　その他薬剤業務に関すること。
以上について必要な施策等の立案、意見調整、審議決定、情報共有及び実施を行う。

（２）活動実績

①　委員会の開催

ア　平成 26 年度第１回「薬事委員会」

a　開催日及び場所
平成 26 年４月 25 日（金）　三浦市立病院２階会議室

b　活動内容
委員の紹介
新規採用薬及び削除薬の検討により診療の向上及び在庫管理に資すること。
各科定数配置薬、配置数の見直しにより診療の向上及び在庫管理に資すると。

c　参加人数
５名（欠席者：１名）

イ　平成 26 年度第２回「薬事委員会」

a　開催日及び場所
平成 26 年７月 25 日（金）　三浦市立病院 2 階会議室

b　活動内容
新規採用薬及び削除薬の検討により診療の向上及び在庫管理に資すること。
各科及び救急カートの定数配置薬、配置数の見直しによる診療の向上及び在庫管理に資すること。

c　参加人数

４名（欠席者：２名）

ウ　平成 26 年度第３回「薬事委員会」

a　開催日及び場所

平成 26 年 10 月 24 日（金）　三浦市立病院地下会議室

b　活動内容

新規採用薬及び削除薬の検討により診療の向上及び在庫管理に資すること。

c　参加人数

６名

エ　平成 26 年度第４回「臨時薬事委員会」

a　開催日及び場所

平成 27 年１月 23 日　地下食堂兼会議室

b　活動内容

新規採用薬及び削除薬の検討により診療の向上及び在庫管理に資すること。

経営効果向上目的による後発品への切り替え。

c　参加人数

６名

（単位：品目）

平成 26 年度採用・削除状況				
区分	内用	注射	外用	計
新規採用	11(3)	9(2)	5	25(5)
削除	8	8(2)	4(1)	20(3)
新規準採用	16	0	13(3)	29(3)
平成 27 年３月 31 日　採用状況				
区分	内用	注射	外用	計
採用薬品数	475(46)	333(45)	182(14)	990(105)
準採用薬品数	512(17)	6	176(20)	694(37)

(　)は後発品

９　三浦市立病院情報処理委員会

委員長　木谷　勇一（診療部長）

○活動状況

（１）委員会設置の目的

（設置）

ＩＣＴに関し、三浦市立病院において組織を横断して行うべき施策等の立案、意見調整、審議決定、情報共有及び実施のため、三浦市立病院情報処理委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

委員会は、次に掲げる事項を所掌し、必要な施策等の立案、意見調整、審議決定、情報共有及び実施を行う。

ア　病院業務医療情報システムの運用等に関すること。

イ　診療録に関すること。

ウ　画像記録に関すること。

エ　諸記録に関すること。

オ　疾病分類に関すること。

カ　その他診療録、院内の情報処理に関すること。

平成 26 年５月 15 日改正

（２）活動実績

①　委員会の開催

ア　第１回「情報処理委員会」

a　開催日時及び場所

・平成 26 年４月 17 日　三浦市立病院地下食堂兼会議室

b　活動内容

・各課の報告と問題点に関すること

c　参加人数：８名

イ　第２回「情報処理委員会」

a　開催日時及び場所

・平成 26 年５月 15 日　三浦市立病院２階会議室

b　活動内容

・三浦市立病院診療録管理委員会所掌事項の継承について

紙カルテより電子カルテの移行に伴い委員の増員を図り、情報処理委員会に統一した。

c　参加人数：11 名

ウ　第３回「情報処理委員会」

a　開催日時及び場所

・平成 26 年６月 19 日　三浦市立病院地下食堂兼会議室

b　活動内容

・電子カルテ移設端末の移設について

・リハ予約患者の受付等の運用変更について

c　参加人数：11 名

エ　第４回「情報処理委員会」

a　開催日時及び場所

・平成 26 年８月 21 日　三浦市立病院地下食堂兼会議室

b　活動内容

・電子カルテ EGMAIN-LX　マスタ担当者について

c　参加人数：11 名

オ　第５回「情報処理委員会」

a　開催日時及び場所

・平成 26 年 10 月 30 日　三浦市立病院地下食堂兼会議室

b　活動内容

・電子カルテ EGMAIN-LX　マスタ担当者について

・院内 LAN から庁内 LAN への移行について

・予約枠変更等の管理について

c　参加人数：11 名

カ　第６回「情報処理委員会」

a　開催日時及び場所

・平成 26 年 11 月 20 日　三浦市立病院地下食堂兼会議室

b　活動内容

・電子カルテ EGMAIN-LX　マスタ担当者について

・院内 LAN から庁内 LAN への移行について

・予約枠変更等の管理について

・「外出・外泊願い」の文書作成登録・「身体拘束管理シート」のエクセルチャ

ート運用について。
・リハのみ・検査のみ等の患者の統計について
c　参加人数：11 名

キ　第７回「情報処理委員会」
a　開催日時及び場所
・平成 26 年 12 月 18 日　三浦市立病院地下食堂兼会議室
b　活動内容
・電子カルテ EGMAIN－LX　マスタ担当者について
・院内 LAN から庁内 LAN への移行について
・予約枠変更等の管理について
・内科予約枠（内科１～３診午前中（フリー患者）枠）の変更について
・労災レセプト電算化について
・受付票の文字拡大について
・プロジェクター購入の件
・週報会議のペーパレス化について
c　参加人数：11 名

ク　第８回「情報処理委員会」
a　開催日時及び場所
・平成 27 年１月 15 日　三浦市立病院地下食堂兼会議室
b　活動内容
・予約枠管理権限について
・紹介状の返事について
・紹介状持参の入院患者の紹介状の管理について
c　参加人数：11 名

ケ　第９回「情報処理委員会」
a　開催日時及び場所
・平成 27 年２月 19 日　三浦市立病院地下食堂兼会議室
b　活動内容
・紹介状の返事について
・紹介状持参の入院患者の紹介状の管理について
・中心静脈注射（無菌注射）の締め時間ついて
・放射線科の CT 枠について
・院内共有ホルダの院内ＬＡＮから電カルＬＡＮへの移行について

c　参加人数：７名

コ　第 10 回「情報処理委員会」

a　開催日時及び場所

・平成 27 年３月 19 日　三浦市立病院地下食堂兼会議室

b　活動内容

・CT 予約枠の現状について

c　参加人数：６名

Ⅳ　経営状況

1　決算概要

（1）経常収益比較

事業収益に関する事項

区分		平成26年度	平成25年度	比較	
				増減	増減比率
		円	円	円	%
医業収益	入院収益	1,413,149,991	1,310,715,203	102,434,788	7.8
	外来収益	702,116,574	709,177,459	△ 7,060,885	△ 1.0
	その他医業収益	146,484,194	150,150,791	△ 3,666,597	△ 2.4
	他会計負担金	187,088,000	174,156,000	12,932,000	7.4
医業外収益	他会計負担金	81,112,000	95,552,000	△ 14,440,000	△ 15.1
	長期前受金戻入	20,192,581	0	20,192,581	皆増
	その他	39,914,339	38,497,182	1,417,157	3.7
特別利益		1,137,634	0	1,137,634	皆増
事業収益		2,591,195,313	2,478,248,635	112,946,678	4.6

事業費用に関する事項

区分		平成26年度	平成25年度	比較	
				増減	増減比率
		円	円	円	%
医業費用	給与費	1,444,962,123	1,402,605,356	42,356,767	3.0
	材料費	287,996,287	300,393,599	△ 12,397,312	△ 4.1
	経費	430,614,050	420,028,631	10,585,419	2.5
	減価償却費	173,707,727	99,233,130	74,474,597	75.1
	資産減耗費	2,235,624	8,491,448	△ 6,255,824	△ 73.7
	研究研修費	35,003,770	28,362,852	6,640,918	23.4
医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	54,453,771	57,738,225	△ 3,284,454	△ 5.7
	その他	73,889,393	52,954,435	20,934,958	39.5
特別損失		84,064,618	13,450,110	70,614,508	525.0
事業費用		2,586,927,363	2,383,257,786	203,669,577	8.5

（２）損益計算書

平成26年度三浦市病院事業損益計算書

（平成26年４月１日から平成27年３月31日まで）

（単位:円）

1 医業収益			
(1) 入院収益	1,413,149,991		
(2) 外来収益	702,116,574		
(3) その他医業収益	146,484,194		
(4) 他会計負担金	187,088,000	2,448,838,759	
2 医業費用			
(1) 給与費	1,444,962,123		
(2) 材料費	287,996,287		
(3) 経費	430,614,050		
(4) 減価償却費	173,707,727		
(5) 資産減耗費	2,235,624		
(6) 研究研修費	35,003,770	2,374,519,581	
医業利益			74,319,178
3 医業外収益			
(1) 受取利息配当金	57,891		
(2) 他会計負担金	81,112,000		
(3) 患者外給食収益	52,910		
(4) 長期前受金戻入	20,192,581		
(5) その他医業外収益	39,803,538	141,218,920	
4 医業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	54,453,771		
(2) 患者外給食材料費	23,620		
(3) 貸倒引当金繰入額	14,930,000		
(4) 雑損失	58,935,773	128,343,164	12,875,756
経常利益			87,194,934
5 特別利益			
(1) その他特別利益	1,137,634	1,137,634	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	227,889		
(2) その他特別損失	83,836,729	84,064,618	△ 82,926,984
当年度純利益			4,267,950
前年度繰越欠損金			1,545,752,168
その他未処分利益剰余金変動額			147,601,117
当年度未処理欠損金			1,393,883,101

（３）貸借対照表

平成26年度三浦市病院事業貸借対照表

（平成27年３月31日）

（単位：円）

資産の部				
1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
イ 土地		34,032,902		
ロ 建物	1,941,179,995			
建物減価償却累計額	△520,791,191	1,420,388,804		
ハ 建物附属設備	1,708,547,153			
建物附属設備減価償却累計額	△479,477,207	1,229,069,946		
ニ 構築物	28,538,421			
構築物減価償却累計額	△16,120,155	12,418,266		
ホ 器械備品	1,314,968,783			
器械備品減価償却累計額	△888,627,930	426,340,853		
ヘ 車両	9,672,952			
車両減価償却累計額	△3,457,827	6,215,125		
ト リース資産	4,531,000			
リース資産減価償却累計額	△3,705,175	825,825		
有形固定資産合計			3,129,291,721	
(2) 無形固定資産				
イ 電話加入権		443,100		
無形固定資産合計			443,100	
(3) 投資その他の資産				
イ 長期貸付金	72,000,000			
貸倒引当金	△22,230,000	49,770,000		
投資その他の資産合計			49,770,000	
固定資産合計				3,179,504,821
2 流動資産				
(1) 現金預金			226,160,022	
(2) 未収金				
イ 医業未収金	396,996,232			
貸倒引当金	△7,121,390	389,874,842		
ロ 医業外未収金		94,183,321		
ハ その他未収金		93,877,695		
未収金合計			577,935,858	
(3) 貯蔵品			9,268,806	
(4) 前払費用			1,473,600	
(5) その他流動資産			1,291,420	
流動資産合計				816,129,706
資産合計				3,995,634,527
負債の部				
3 固定負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		2,711,097,770		
企業債合計			2,711,097,770	
(2) 引当金				
イ 退職給付引当金		25,241,000		
引当金合計			25,241,000	
固定負債合計				2,736,338,770

（単位：円）

4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	208,486,649		
ロ その他の企業債	114,039,374		
企業債合計		322,526,023	
(2) リース債務		108,993	
(3) 未払金			
イ 医業未払金	136,995,929		
ロ 医業外未払金	5,449,107		
ハ その他未払金	36,118,791		
未払金合計		178,563,827	
(4) 前受金		4,272,292	
(5) 引当金			
イ 賞与引当金	60,097,711		
ロ 法定福利費引当金	10,424,626		
引当金合計		70,522,337	
(6) 預り金		11,651,899	
流動負債合計			587,645,371
5 繰延収益			
(1) 長期前受金			
イ 受贈財産評価額	2,077,452		
ロ 寄附金	30,104,856		
ハ 国庫補助金	171,150,348		
ニ 県補助金	25,736,191		
ホ 市補助金	117,218,886		
長期前受金合計		346,287,733	
(2) 収益化累計額		△160,770,686	
繰延収益合計			185,517,047
負債合計			3,509,501,188
資本の部			
6 資本金			
(1) 固有資本金		67,852,672	
(2) 繰入資本金		1,185,778,523	
資本金合計			1,253,631,195
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	2,200,000		
ロ 国庫補助金	35,838,866		
ハ 県補助金	1,000,000		
ニ 市補助金	587,346,379		
資本剰余金合計		626,385,245	
(2) 欠損金			
イ 当年度未処理欠損金	1,393,883,101		
欠損金合計		1,393,883,101	
剰余金合計			△767,497,856
資本合計			486,133,339
負債資本合計			3,995,634,527

2　三浦市立病院改革プラン及び実施状況

団体名		神奈川県三浦市
プランの名称		三浦市立病院改革プラン
策定日		平成　21年　3月　25日
対象期間		平成　21年度　～　平成　25年度
病院の現状	病院名	三浦市立病院
	所在地	神奈川県三浦市岬陽町4番33号
	病床数	一般病床136床
	診療科目	内科　神経内科　外科　整形外科　眼科　耳鼻いんこう科　小児科　産婦人科　リハビリテーション科　麻酔科、脳神経外科
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付 □		・公立病院として地域医療の基幹的な役割を果たす 市内唯一の総合病院として、民間医療機関で担うことのできない高度・専門医療を提供するとともに、救急告示病院として、一次及び二次救急を担う。 ・自己完結型から地域完結型に転換 それぞれの医療機関や福祉施設が、得意分野を生かして機能や役割を分担するとともに、地域的なネットワークにより、医療、介護サービスを提供できるような仕組みを目指し、地域完結型医療への転換を図る。 ・ネットワークで安全、安心の医療を提供 病々、病診の連携を強化し、地域のネットワークにより、安全、安心の医療を提供する。 ・市民全員の生涯的・統一的健康管理 健康管理データの一元化を図り、市民の生涯的・統一的健康管理を行う。
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		・救急医療の確保に要する経費(特別交付税措置分相当額＋所要人件費及び物件費相当額からその収入を差し引いた分) ・病院事業会計に係る共済組合追加費用の負担に要する経費の45% ・地方公営企業職員に係る基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費 ・保健衛生行政事務に要する経費のうち、医療相談等保健衛生派遣費用 ・高度医療に要する経費(高度医療に係る所要人件費及び物件費相当額からその収入を差し引いた分) ・研修研究費 ・リハビリテーション医療に要する経費(所要人件費及び物件費相当額からその収入を差し引いた分) ・地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費 ・病院事業債元利償還金の2/3(14年度以前分)ないし1/2(15年度以降分)相当額 ・病院の建設改良に要する経費の1/2(起債分を除く)

経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	79.6	80.7	91.5	96.8	102.4	
	職員給与費比率	62.5	60.8	58.0	54.9	52.7	
	病床利用率	80.0	73.2	83.9	88.2	92.0	
	患者1人1日当たり診療収入(入院)	29,550	30,012	31,616	30,762	29,929	単位(円)
	患者1人1日当たり診療収入(外来)	5,528	5,553	5,786	6,014	6,035	単位(円)
	上記目標数値設定の考え方	計画3ヶ年度目に当る平成23年度に経常黒字化を目指す。 任意項目としては、医療提供の内容を反映し患者単価に直接結びつく指標を選択した。 (経常黒字化の目標年度:23年度)					

公立病院としての医療機能に係る数値目標（主なもの）		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	年延入院患者数	39,821	36,338	41,641	43,783	45,817	年間延べ件数
	年延外来患者数	114,615	108,926	120,711	124,313	126,910	年間延べ件数
	紹介件数	972	1,217	1,462	1,707	1,952	年間延べ件数
	逆紹介件数	1,032	1,277	1,522	1,767	2,012	年間延べ件数

経営効率化に係る計画			
	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	**民間的経営手法の導入**	○平成2年4月1日から医事事務を完全委託化。 ○平成20年4月1日から病院給食業務の民間委託実施。 ○平成20年4月1日から、民間病院等経営経験の民間人を任期付き一般職員（事務長）として採用し経営改革に着手。
		事業規模・形態の見直し	○平成22年度から地方公営企業法全部適用を前提に制度等の検討を進める。
		経費削減・抑制対策	【人件費】 1.業務量及び業務内容を判断し、事務職員の適正配置を心がけ、最低限必要な人数で機能するよう非常勤職員の活用を積極的に図る。 2.(H20.7.1実施)平成20年度中の人事異動を進め、平成20年3月31日現在の12名の事務局職員を平成20年9月1日において8名とした。（年間効果額3,900万円） 3.(H20.7.1実施)看護師祝日勤務時間外勤務手当の振替休日シフト。（年間効果額1,200万円） 4.(H20.9.1実施)常勤医師確保による非常勤当直医師数の削減による影響額。（年間効果額2,080万円） 5.(継続的に)常勤医師確保による非常勤医師賃金の減（年間効果額約3,200万円） 【委託料】 1.(H20.5.1実施)医事業務委託の複数年契約（年間効果額380万円） 2.(H20.10.1実施)院内医事システムSE駐在委託の見直し（年間効果額460万円） 3.(H20.9.1実施)面会受付業務の見直し（年間効果額200万円） 4.(H20.10.1実施から随時)各種保守業務等の見直し（年間効果額2,600万円） 【SPD関連経費】 1.SPDｼｽﾃﾑによる在庫管理を徹底するため、専門業者への委託化を進める。（年間効果額2,400万円）
		収入増加・確保対策	1.(H20.7.1実施)良質な医療の提供と収益性の向上を図るため、入院基本料7対1を実施（年間効果額4,500万円） 2.(H20.9.1実施)糖尿病教育入院の実施（年間効果額400万円） 3.(H20.8.1実施)亜急性期病床の算定実施（年間効果額2,400万円） 4.(H20.7.1実施)診療報酬精度調査による診療報酬請求の向上（実施効果額5,800万円） 5.(H20.10.1実施)脳神経外科外来の実施による、入院・外来の増（年間効果額1,800万円） 6.(H20.10.1実施)生活習慣病管理料採用による長期投与見直し（年間効果額3,700万円） 7.(H20.9.1～実施)開業医との連携による検体検査受託（年間効果額3,600万円）
		その他	○ CS（患者満足度），ES（職員満足度）の向上による職員の意識改革及びインフォームドコンセントの適切な対応、接遇向上による「信頼される病院」として接遇マニュアルの見直しを毎年実施 ○ 職員研修計画に基づき、認定看護師及び専門看護師の養成を目指し、院内における看護技術の向上を図る ○ 医療クラークの養成により、医師が診療に専念できる体制づくりを行う
	各年度の収支計画		別紙のとおり
	その他の特記事項	**病床利用率の状況**	17年度　87.9%　18年度　90.0%　19年度　80.0%
		病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	当面、亜急性期13床を含む136床で運営する計画。

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	当院が所在する神奈川県横須賀三浦保健医療圏には、公立病院が4病院所在。 （横須賀市立うわまち病院、横須賀市立市民病院（横須賀市840床）、国立病院機構久里浜アルコール症センター（横須賀市100床）、三浦市立病院（三浦市136床）※いずれも一般・療養病床の合計を記載）	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	公立病院間、同一医療圏地域内病院間等におけるネットワーク化を中心とする連携について検討を行う。	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 （注） １ **詳細は別紙添付** ２ **具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。**	＜時　期＞ 平成21年度	＜内　容＞ ○公立病院間、同一医療圏地域内病院間等におけるネットワーク化を中心とする連携について、県及び関係市が協調して取り組む。 ○「県関係市連絡会議」等により県、関係市と協議等を進め、地域における検討（「地域検討会議」設置）の必要性について、結論を得る。
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 （該当箇所に		
	経営形態の見直し（検討）の方向性 （該当箇所に 討中の場合は複数可）		
	経営形態見直し計画の概要 （注） １ **詳細は別紙添付** ２ **具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。**	＜時　期＞ 平成22年4月	＜内　容＞ ・ 平成22年度から地方公営企業法全部適用を前提に制度等の検討を進める。また、平成23年度末において、24年度以降、経常利益を安定して出せる見込みが立てられない場合は、他の経営形態への移行を前提に取組みを進めていく。
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 （委員会等を設置する場合その概要）	点検・評価・公表等の手段としては、 ア　ホームページに掲載するとともに、意見募集ボタンを設定し閲覧者からの意見を集約する方法を取り入れたい。平成２１年４月から運用開始できるよう、市統計情報課と協議しホームページ上の対応を実施していく。 イ　市議会の病院を審議する「都市厚生常任委員会」及び「財政健全化対策特別委員会」に報告し、意見等を集める方法を講じる。 ウ　市広報紙「三浦市民」を活用し、市民に公表するとともに意見等の募集窓口を知らしめ、電話・郵送による意見募集を行う。	
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年8月頃	
その他特記事項		今後の収益の確保又は費用の削減について、計画を達成できない場合は、更なる費用の削減、繰入金の増額等により、別紙1の「単年度資金不足額（※）」の水準（累積ベースの資金不足（別紙1の（H）の額）解消後（24年度以降）は、新たな単年度資金不足を発生させないこと）の達成を図ることとする。	

公営企業経営健全化計画（三浦市立病院改革プラン収支計画）　達成状況

○事業計画に関すること　　※計画はH20から

項目			単位	H19 決算	H20 決算	H21 決算	H22 決算	H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H26 計画	H26 決算	H26 決算－計画
入院	患者延数(退院含まず)	(A)	人	37,313	30,655	33,647	36,291	40,633	41,990	39,299	40,047	42,924	40,047	△2,877
	1日平均患者数	(B)	人	101.9	84.0	92.2	99.4	111.0	115.0	107.7	109.7	117.6	109.7	△7.9
	1日1人平均診療費	(C)	円	31,536	33,116	33,370	31,078	32,559	32,278	33,352	35,287	32,094	35,287	3,193
病床利用率		(D)	%	75.0	61.8	67.8	73.1	81.6	84.6	79.2	80.7	86.5	80.7	△5.8
外来	患者延数	(E)	人	114,615	101,967	104,724	95,461	103,636	103,393	106,038	99,395	128,331	99,395	△28,936
	1日平均患者数	(F)	人	467.8	416.2	432.7	392.8	424.7	422.0	434.6	407.4	523.8	407.4	△116.4
	1日1人平均診療費	(G)	円	5,528	5,753	5,922	6,558	6,716	6,804	6,688	7,064	6,038	7,064	1,026
職員数					(1)	(3)	(3)	(3)	(2)	(2)	(1)		(1)	(1)
		(H)	人	136	121	114	96	114	116	133	133	142	133	△9
	管理者		人				1	1	1	1	1	1	1	
	医師		人	13	11	12	12	14	14	14	13	16	13	△3
	事務		人	12	6	7	8	8	7	10	9	8	9	1
					(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		(1)	(1)
	看護師		人	76	75	70	56	72	73	78	80	90	80	△10
	准看護師		人	10	9	(1) 7	(1) 4	(1) 4	2	1		10		△10
	医療技術		人	25	20	18	15	15	19	29	30	17	30	13
	労務		人			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)				

○収支計画に関すること

項目			H19 決算	H20 決算	H21 決算	H22 決算	H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H26 計画	H26 決算	H26 決算－計画
経常損益(経常利益or経常損失)	(U)		△571,957	△562,507	△350,212	△3,750	137,291	255,602	108,441	87,195	132,382	87,195	△45,187
純損益(純利益or純損失)	(V)		△575,472	△396,103	△20,097	170,175	117,513	250,244	94,991	4,268	130,053	4,268	△125,785
資本的収支差額	(Y)		△88,959	△90,588	△57,351	△75,469	△217,639	△222,625	△222,236	△217,592	△207,036	△217,592	△10,556
単年度資金収支額	(Z)		△392,189	329,520	350,339	267,128	18,288	138,957	12,394	73,345	56,351	73,345	16,994
地方財政法上の資金の不足額	(ア)		561,208	792,888	649,349	382,221	203,097	△98,451	△275,212	△514,724	△331,276	△514,724	△183,448
解消可能資金不足額	(ウ)			561,200	768,000	768,000	607,164	444,573	280,206	114,039	115,733	114,039	△1,694
公立病院特例債残高	(エ)			561,200	561,200	561,200	450,745	339,405	227,172	114,039	115,733	114,039	△1,694
退職手当債残高	(オ)				206,800	206,800	156,419	105,168	53,034				
健全化法上の資金の不足額	(カ)	(ア)-(ウ)	561,208	231,688	△118,651	△385,779	△404,067	△543,024	△555,418	△628,763	△447,009	△628,763	△181,754

【計画達成のポイント】 H20年度作成の公営企業経営健全化計画（公立病院改革プラン収支計画）で、以下の３つのポイントを達成出来れば、計画が達成されたとみなされます。

(a)、H20年度計画作成以降、毎年必ず単年度資金収支額(Z)を黒字とする。 基準外繰入金が見込めないH23年度以降は苦しいが、それでも現金の資金収支は若干でも黒字とし、資金不足額を解消していく。
その結果、健全化法上の資金の不足額(カ)はH21年度に解消され、地方財政法上の資金の不足額(ア)もH24年度に解消される。

(b)、H23年度以降、経常損益(U)の黒字化。 →「H23年度末において、H24年度以降、経常利益を安定して出せる見込みが立てられない場合は、他の経営形態への移行を前提に取組みを進めていく。」と記述。

(c)、健全化法上の資金の不足額(カ)を、毎年実績で下回らないこととし、H27年度に公立病院特例債の償還を終えること。H27年度には、524,564千円の余剰資金が残り、経営の健全化が図られていること。

公営企業経営健全化計画（三浦市立病院改革プラン収支計画）の概要　決算推移

項目		計算式	単位	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25決算	H26決算
入院	患者延数（退院含まず）	(A)	人	37,313	30,655	33,647	36,291	40,633	41,990	39,299	40,047
	１日平均患者数	(B)	人	101.9	84.0	92.2	99.4	111.0	115.0	107.7	109.7
	１日１人平均診療費	(C)	円	31,536	33,116	33,370	31,078	32,559	32,278	33,352	35,287
病床利用率		(D)	%	75.0	61.8	67.8	73.1	81.6	84.6	79.2	80.7
外来	患者延数	(E)	人	114,615	101,967	104,724	95,461	103,636	103,393	106,038	99,395
	１日平均患者数	(F)	人	467.8	416.2	432.7	392.8	424.7	422.0	434.6	407.4
	１日１人平均診療費	(G)	円	5,528	5,753	5,922	6,558	6,716	6,804	6,688	7,064
年度末職員数 （）は外書で再任用 短時間勤務職員		(H)	人	136	(1) 121	(3) 114	(3) 96	(3) 114	(2) 116	(2) 133	(1) 133
	管理者		人				1	1	1	1	1
	医師		人	13	11	12	12	14	14	14	13
	事務		人	12	6	7	8	8	7	10	9
	看護師		人	76	(1) 75	(1) 70	(1) 56	(1) 72	(1) 73	(1) 78	(1) 80
	准看護師		人	10	9	(1) 7	(1) 4	(1) 4	3	1	
	医療技術		人	25	20	18	15	15	19	29	30
	労務		人			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	

項目		計算式	単位	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25決算	H26決算
収益的収支	収益的収入（税抜）	(I) (J)+(M)+(N)	千円	2,233,258	2,247,390	2,555,306	2,396,111	2,492,666	2,527,451	2,478,249	2,591,195
	医業収益	(J)	千円	2,115,411	1,941,284	2,083,186	2,067,763	2,340,435	2,367,568	2,332,695	2,427,724
	うち入院収益	(K)	千円	1,176,719	1,015,185	1,122,806	1,127,854	1,322,966	1,355,368	1,310,715	1,413,150
	うち外来収益	(L)	千円	633,604	586,580	620,216	625,986	696,046	703,534	709,178	702,116
	医業外収益	(M)	千円	117,847	137,088	134,588	144,076	152,231	159,883	145,554	162,333
	基準外繰入（特別利益）	(N)	千円		169,018	337,532	184,272				1,138
	収益的支出（税抜）	(O) (P)+(S)+(T)	千円	2,808,730	2,643,493	2,575,403	2,225,936	2,375,153	2,277,207	2,383,258	2,586,927
	医業費用	(P)	千円	2,643,971	2,477,293	2,427,809	2,081,339	2,248,490	2,175,187	2,259,115	2,374,519
	うち職員給与費	(Q)	千円	1,322,443	1,260,910	1,279,700	913,206	1,076,409	1,056,315	1,149,282	1,198,382
	(Q)うち退職手当除く		千円	1,248,474	1,118,892	1,057,659	865,898	1,017,890	1,048,920	1,128,629	1,150,975
	(Q)うち退職手当	(R)	千円	73,969	142,018	222,041	47,308	58,519	7,395	20,653	47,407
	医業外費用	(S)	千円	161,244	163,586	140,177	134,250	106,885	96,662	110,693	128,343
	特別損失	(T)	千円	3,515	2,614	7,417	10,347	19,778	5,358	13,450	84,065
	経常損益（経常利益or経常損失）	**(U) (J)+(M)-(P)+(R)**	**千円**	**△571,957**	**△562,507**	**△350,212**	**△3,750**	**137,291**	**255,602**	**108,441**	87,195
	純損益（純利益or純損失）	**(V) (I)-(O)**	**千円**	**△575,472**	**△396,103**	**△20,097**	**170,175**	**117,513**	**250,244**	**94,991**	4,268
資本的収支	資本的収入（税込）	(W)	千円	86,727	668,552	49,224	64,369	91,596	98,812	498,839	115,180
	資本的支出（税込）	(X)	千円	175,686	759,140	106,575	139,838	309,235	321,437	721,075	332,772
	資本的収支差額	(Y) (W)-(X)	千円	△88,959	△90,588	△57,351	△75,469	△217,639	△222,625	△222,236	△217,592
資金収支	単年度資金収支額	(Z)	千円	△392,189	329,520	350,339	267,128	18,288	138,957	12,394	73,345
	地財法 資金の不足額	(ア)	千円	561,208	792,888	649,349	382,221	203,097	△98,451	△275,212	△514,724
	地財法 資金不足比率	(イ) (ア)/(J)	%	26.5	40.8	31.2	18.5	8.7	△4.2	△11.8	△21.2
	解消可能資金不足額	(ウ)	千円		561,200	768,000	768,000	607,164	444,573	280,206	114,039
	解消可能資金不足額 公立病院特例債残高	(エ)	千円		561,200	561,200	561,200	450,745	339,405	227,172	114,039
	解消可能資金不足額 退職手当債残高	(オ)	千円			206,800	206,800	156,419	105,168	53,034	
	健全化法 資金の不足額	(カ) (ウ)-(O)-(U)-(Z)	千円	561,208	231,688	△118,651	△185,779	△404,067	△545,021	△555,418	△628,763
	健全化法 資金不足比率	(キ) (カ)/(J)	%	26.5	11.9	△5.7	△18.7	△17.3	△22.9	△23.8	△25.9

										新会計制度による移行数値	147,601
										議決による処分額（予定）	
累積欠損金		(ク)	千円	1,762,475	2,158,578	2,178,675	2,008,500	1,890,987	1,640,743	1,545,752	1,393,883

Ⅴ　各種統計資料

1　入院患者数実績

（単位：人）

科目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期	合計
内科	**H26**	**2,041**	**1,944**	**1,858**	**2,213**	**2,032**	**1,829**	**11,917**	**1,936**	**1,761**	**1,880**	**2,017**	**1,653**	**1,573**	**10,820**	**22,737**
	H25	1,663	1,847	1,803	2,010	1,917	1,684	10,924	1,868	1,833	1,718	2,035	2,091	2,064	11,609	22,533
	比較	378	97	55	203	115	145	993	68	△ 72	162	△ 18	△ 438	△ 491	△ 789	204
神経内科	**H26**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	H25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	比較	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	**H26**	**439**	**521**	**483**	**418**	**599**	**467**	**2,927**	**463**	**508**	**447**	**425**	**338**	**578**	**2,759**	**5,686**
	H25	462	531	453	447	546	570	3,009	526	370	376	521	444	375	2,612	5,621
	比較	△ 23	△ 10	30	△ 29	53	△ 103	△ 82	△ 63	138	71	△ 96	△ 106	203	147	65
整形外科	**H26**	**994**	**798**	**683**	**554**	**670**	**943**	**4,642**	**1,057**	**991**	**948**	**1,256**	**1,140**	**1,431**	**6,823**	**11,465**
	H25	1,038	765	711	833	844	784	4,975	841	993	1,087	1,163	1,011	973	6,068	11,043
	比較	△ 44	33	△ 28	△ 279	△ 174	159	△ 333	216	△ 2	△ 139	93	129	458	755	422
産婦人科	**H26**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	H25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	比較	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	**H26**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	H25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	比較	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	**H26**	**12**	**6**	**18**	**20**	**3**	**11**	**70**	**18**	**8**	**12**	**4**	**15**	**32**	**89**	**159**
	H25	3	5	11	8	5	9	41	7	10	11	5	16	12	61	102
	比較	9	1	7	12	△ 2	2	29	11	△ 2	1	△ 1	△ 1	20	28	57
耳鼻咽喉科	**H26**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	H25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	比較	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	**H26**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	H25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	比較	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	**H26**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	H25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	比較	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	**H26**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	H25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	比較	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	**H26**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	H25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	比較	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	**H26**	**3,486**	**3,269**	**3,042**	**3,205**	**3,304**	**3,250**	**19,556**	**3,474**	**3,268**	**3,287**	**3,702**	**3,146**	**3,614**	**20,491**	**40,047**
	H25	3,166	3,148	2,978	3,298	3,312	3,047	18,949	3,242	3,206	3,192	3,724	3,562	3,424	20,350	**39,299**
	比較	320	121	64	△ 93	△ 8	203	607	232	62	95	△ 22	△ 416	190	141	748
累計	**H26**	**3,486**	**6,755**	**9,797**	**13,002**	**16,306**	**19,556**		**23,030**	**26,298**	**29,585**	**33,287**	**36,433**	**40,047**		
	H25	3,166	6,314	9,292	12,590	15,902	18,949		22,191	25,397	28,589	32,313	35,875	39,299		
	比較	320	441	505	412	404	607		839	901	996	974	558	748		
合計（＋退院患者数）	退院	244	241	245	258	217	234	1,439	262	221	276	229	236	267	1,491	2,930
	H26	3,730	3,510	3,287	3,463	3,521	3,484	**20,995**	3,736	3,489	3,563	3,931	3,382	3,881	**21,982**	**42,977**
診療日数	**H26**	**30**	**31**	**30**	**31**	**31**	**30**	**183**	**31**	**30**	**31**	**31**	**28**	**31**	**182**	**365**
	H25	30	31	30	31	31	30	183	31	30	31	31	28	31	151	**334**
1日平均患者数	**H26**	**116**	**105**	**101**	**103**	**107**	**108**	**107**	**112**	**109**	**106**	**119**	**112**	**117**	**113**	**110**
	H25	106	102	99	106	107	102	104	105	107	103	120	127	110	**112**	**108**
	比較	10	3	2	△ 3	0	6	3	7	2	3	△ 1	△ 15	7	1	2
新生児	**H26**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	H25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**	**0**
	比較	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均在院日数	新入院	253	234	237	258	218	246	**1,446**	265	210	275	242	234	267	1,493	**2,939**
	退院	244	241	245	258	217	234	**1,439**	262	221	276	229	236	267	1,491	**2,930**
	H26	14.8	14.8	13.7	13.2	16.1	14.7	**14.5**	14.3	16.2	12.7	16.8	14.5	15.1		**14.7**
	H25	12.5	12.9	11.1	11.1	12.8	12.3	**12.1**	10.7	12.4	12.6	17.8	16.2	15.9	14.0	**13.0**
	比較	2.3	1.9	2.6	2.2	3.3	2.4	2.5	3.6	3.8	0.2	△ 1.1	△ 1.7	△ 0.8		1.7
短期滞在患者数	H26	27	33	37	31	25	39	192	41	28	34	29	35	56	223	**415**

2　外来患者数実績

（単位：人）

科目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期	合計
内科	**H26**	**3,053**	**3,001**	**2,926**	**3,101**	**3,207**	**3,002**	**18,290**	**3,095**	**2,852**	**3,446**	**3,598**	**2,843**	**3,054**	**18,888**	**37,178**
	H25	3,189	3,412	3,200	3,394	3,550	3,162	19,907	3,627	4,230	3,774	3,378	3,242	3,430	21,681	41,588
	比較	△ 136	△ 411	△ 274	△ 293	△ 343	△ 160	△ 1,617	△ 532	△ 1,378	△ 328	220	△ 399	△ 376	△ 2,793	△ 4,410
神経内科	**H26**	**161**	**159**	**158**	**158**	**170**	**173**	**979**	**165**	**163**	**165**	**164**	**151**	**163**	**971**	**1,950**
	H25	175	159	159	160	188	147	988	199	168	187	145	148	172	1,019	2,007
	比較	△ 14	0	△ 1	△ 2	△ 18	26	△ 9	△ 34	△ 5	△ 22	19	3	△ 9	△ 48	△ 57
外科	**H26**	**788**	**731**	**768**	**887**	**853**	**945**	**4,972**	**806**	**779**	**790**	**825**	**748**	**794**	**4,742**	**9,714**
	H25	911	923	904	964	1,031	940	5,673	1,074	861	800	801	760	783	5,079	10,752
	比較	△ 123	△ 192	△ 136	△ 77	△ 178	5	△ 701	△ 268	△ 82	△ 10	24	△ 12	11	△ 337	△ 1,038
整形外科	**H26**	**2,586**	**2,484**	**2,781**	**2,719**	**2,502**	**2,545**	**15,617**	**2,535**	**2,122**	**2,303**	**2,194**	**2,143**	**2,432**	**13,729**	**29,346**
	H25	2,278	2,263	2,332	2,733	2,727	2,385	14,718	2,768	2,582	2,466	2,475	2,296	2,420	15,007	29,725
	比較	308	221	449	△ 14	△ 225	160	899	△ 233	△ 460	△ 163	△ 281	△ 153	12	△ 1,278	△ 379
産婦人科	**H26**	**129**	**121**	**128**	**138**	**135**	**115**	**766**	**189**	**148**	**144**	**115**	**145**	**155**	**896**	**1,662**
	H25	159	189	192	186	251	128	1,105	265	43	27	5	89	115	544	1,649
	比較	△ 30	△ 68	△ 64	△ 48	△ 116	△ 13	△ 339	△ 76	105	117	110	56	40	352	13
小児科	**H26**	**197**	**179**	**155**	**225**	**153**	**196**	**1,105**	**224**	**253**	**316**	**262**	**251**	**301**	**1,607**	**2,712**
	H25	199	208	252	286	252	183	1,380	262	290	302	284	230	285	1,653	3,033
	比較	△ 2	△ 29	△ 97	△ 61	△ 99	13	△ 275	△ 38	△ 37	14	△ 22	21	16	△ 46	△ 321
眼科	**H26**	**569**	**618**	**592**	**625**	**587**	**497**	**3,488**	**670**	**549**	**572**	**507**	**534**	**581**	**3,413**	**6,901**
	H25	589	624	636	707	631	460	3,647	716	640	609	463	516	567	3,511	7,158
	比較	△ 20	△ 6	△ 44	△ 82	△ 44	37	△ 159	△ 46	△ 91	△ 37	44	18	14	△ 98	△ 257
耳鼻咽喉科	**H26**	**333**	**298**	**281**	**317**	**313**	**275**	**1,817**	**310**	**265**	**244**	**209**	**272**	**373**	**1,673**	**3,490**
	H25	370	424	344	372	356	313	2,179	362	382	325	323	282	352	2,026	4,205
	比較	△ 37	△ 126	△ 63	△ 55	△ 43	△ 38	△ 362	△ 52	△ 117	△ 81	△ 114	△ 10	21	△ 353	△ 715
麻酔科	**H26**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
	H25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	比較	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	**H26**	**144**	**137**	**135**	**147**	**150**	**140**	**853**	**166**	**147**	**116**	**151**	**119**	**148**	**847**	**1,700**
	H25	173	120	157	126	171	126	873	142	150	134	122	150	135	833	1,706
	比較	△ 29	17	△ 22	21	△ 21	14	△ 20	24	△ 3	△ 18	29	△ 31	13	14	△ 6
泌尿器科	**H26**	**160**	**239**	**189**	**212**	**176**	**235**	**1,211**	**217**	**171**	**228**	**198**	**186**	**220**	**1,220**	**2,431**
	H25	202	217	188	191	178	177	1,153	219	176	198	191	178	202	1,164	2,317
	比較	△ 42	22	1	21	△ 2	58	58	△ 2	△ 5	30	7	8	18	56	114
皮膚科	**H26**	**179**	**205**	**176**	**203**	**216**	**191**	**1,170**	**175**	**192**	**171**	**177**	**207**	**219**	**1,141**	**2,311**
	H25	178	155	177	191	151	164	1,016	205	146	178	139	94	120	882	1,898
	比較	1	50	△ 1	12	65	27	154	△ 30	46	△ 7	38	113	99	259	413
合計	**H26**	**8,299**	**8,172**	**8,289**	**8,732**	**8,462**	**8,314**	**50,268**	**8,552**	**7,641**	**8,495**	**8,400**	**7,599**	**8,440**	**49,127**	**99,395**
	H25	8,423	8,694	8,541	9,310	9,486	8,185	52,639	9,839	9,668	9,000	8,326	7,985	8,581	53,399	**106,038**
	比較	△ 124	△ 522	△ 252	△ 578	△ 1,024	129	△ 2,371	△ 1,287	△ 2,027	△ 505	74	△ 386	△ 141	△ 4,272	△ 6,643
累計	**H26**	**8,299**	**16,471**	**24,760**	**33,492**	**41,954**	**50,268**		**58,820**	**66,461**	**74,956**	**83,356**	**90,955**	**99,395**		
	H25	8,423	17,117	25,658	34,968	44,454	52,639		62,478	72,146	81,146	89,472	97,457	106,038		
	比較	△ 124	△ 646	△ 898	△ 1,476	△ 2,500	△ 2,371		△ 3,658	△ 5,685	△ 6,190	△ 6,116	△ 6,502	△ 6,643		
平日	H26	8,109	7,799	8,041	8,400	8,134	7,957	**48,440**	8,319	7,314	7,750	7,583	7,259	8,176	**46,401**	**94,841**
診療日数	**H26**	**21**	**20**	**21**	**22**	**21**	**20**	**125**	**22**	**18**	**19**	**19**	**19**	**22**	**119**	**244**
	H25	21	21	20	22	22	19	125	22	20	19	19	19	20	119	**244**
平日日数	H26	21	20	21	22	21	20	**125**	22	18	19	19	19	22	119	**244**
1日平均患者数	**H26**	**395**	**409**	**395**	**397**	**403**	**416**	**402**	**389**	**425**	**447**	**442**	**400**	**384**	**413**	**407**
	H25	401	414	427	423	431	431	421	447	483	474	438	420	429	**449**	**435**
	比較	△ 6	△ 5	△ 32	△ 26	△ 28	△ 15	△ 19	△ 58	△ 58	△ 27	4	△ 20	△ 45	△ 36	△ 28
1日平均患者数（平日）	H26	386	390	383	382	387	398	388	378	406	408	399	382	372	390	389

3　救急患者数実績

（1）　集計期間　平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

（2）　男女別　（単位：人）

区分	男	女	合　計
休日	999	1,005	2,004
平日	1,158	1,246	2,404
合計	2,157	2,251	4,408

（3）　年齢別　（単位：人）

区分	0～9	10～19	20～59	60～	合　計
休日	56	107	789	1,052	2,004
平日	45	107	788	1,464	2,404
合計	101	214	1,577	2,516	4,408

（4）　地域別　（単位：人）

区分	三 浦 市	横 須 賀 市	県 内（除：三浦・横須賀）	県　外	合　計
休日	1,697	108	18	181	2,004
平日	2,085	126	19	174	2,404
合計	3,782	234	37	355	4,408

（5）　科別患者数　（単位：人）

区分	内科	外科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	皮膚科	その他	合 計
休日	1,381	418	187	0	0	0	0	0	14	0	4	2,004
平日	1,686	338	362	1	0	0	1	0	11	1	4	2,404
合計	3,067	756	549	1	0	0	1	0	25	1	8	4,408

（６）　来院手段別患者数　　（単位：人）

区分	救 急 車	パ ト カ ー	そ の 他	合　計
休日	355	0	1,649	2,004
平日	1,035	0	1,369	2,404
合計	1,390	0	3,018	4,408

（７）　時間帯別患者数　　（単位：人）

区分	17～18	18～22	22～24	0～6	6～8	8～8：30	8：30～9	9～17	合　計
休日	133	311	89	96	73	76	110	1,116	2.004
平日	235	604	149	209	122	51	74	960	2,404
合計	368	915	238	305	195	127	184	2,076	4,408

（８）　処置状況　　（単位：人）

区分	外 来	入 院	他医療機関紹介	そ の 他	合 計
休日	1,640	175	5	184	2,004
平日	1,715	479	16	194	2,404
合計	3,355	654	21	378	4,408

Ⅵ　スタッフ一覧

平成 27 年 3 月 31 日現在

総病院長　小澤　幸弘
副管理者　石渡　秀朗

【診療部】

診療部長　木谷　勇一

（内科）

医長　齊藤　真
担当医長　兒玉　康史
担当医長　兒玉　末
担当医長　堀内　俊治
担当医長　森　琢磨

（外科）

医長　佐々木　一嘉
医師　和田　博雄

（整形外科）

科部長　内川　健
医長　石田　良太

（産婦人科）

科部長　大庭　信彰

（小児科）

科部長　五味渕　一三

（眼科）

医師　望月　至
視能訓練士　鹿野　美由紀

【診療支援部】

診療支援部長　五味渕　一三

（薬剤科）

科長　猪﨑　佐和子
主任薬剤師　今村　里絵
薬剤師　福本　哲也
薬剤師　加藤　慈
薬剤師　長谷川　澄子
薬剤師　太田　健介

（リハビリテーション科）

技師長　清水　隆人
理学療法士　藤田　千穂
作業療法士　後藤　健太郎
理学療法士　重枝　利佳
理学療法士　藤井　伸行
理学療法士　伊藤　結
理学療法士　鈴木　和美
理学療法士　池田　正孝
理学療法士　浅田　浩宣
作業療法士　竹内　晃雄
作業療法士　田村　かほり
理学療法士　吉田　朱里
理学療法士　林　賢治
理学療法士　神谷　紀よ実

（放射線科）

技師長　久保　隆
主任技師　加藤　靜
診療放射線技師　月松　望由紀
診療放射線技師　加藤　大己

（臨床検査科）

技師長	鈴木　正芳
主任技師	島﨑　時朗
臨床検査技師	渡邊　真由
臨床検査技師	足立　直彦

(地域医療科)

科長	嘉山　静子
担当医長	兒玉　末
社会福祉士	安藤　麻由美
看護師	中川　恵
看護師	石川　智子

(医療安全管理室)

室長	五味渕　一三
主幹	猪﨑　佐和子
主幹	鈴木　正芳
次長	矢尾板　昌克
主任薬剤師	今村　里絵
主任技師	島﨑　時朗
主任看護師	杉﨑　絵美
主事補	荒井　佳代子
看護師	後藤　令子

【看護部】

看護部長	佐藤　清江
主幹	嘉山　静子

(2階病棟)

師長	中條　郁代
主任	山本　浩文
看護師	中尾　裕子
看護師	松井　紀子
看護師	君島　直美
看護師	阿部　久美子
看護師	岡本　雪江
看護師	髙杉　有希子
看護師	大林　嬢子
看護師	原田　左和子
看護師	鈴木　安代
看護師	長島　好美
看護師	竹内　友美
看護師	水野　美樹
看護師	小川　渚
看護師	西ノ園　由貴
看護師	能隅　智子
看護師	一山　春花
看護師	鈴木　裕子

(3階病棟)

師長	三輪　睦
主任	髙西　かな子
主任	市川　夏実
看護師	吉田　美智子
看護師	大井　雪子
看護師	沼田　夏季
看護師	平山　典子
看護師	野村　香織
看護師	長谷川　嘉寛
看護師	竹内　馨
看護師	瀬古澤　和子
看護師	高橋　さつき
看護師	宮村　純子
看護師	上田　峰子
看護師	髙久　乙華
看護師	石塚　仁
看護師	岡野　恵美
看護師	富永　真衣
看護師	田中　絵利香
看護師	鈴木　明日香
看護師	蛭田　千香子

(4階病棟)

師　長　原　美智子
主　任　山﨑　静枝
主　任　鈴木　三恵子
看　護　師　渡辺　みゆき
看　護　師　森　和代
看　護　師　池田　安弘
看　護　師　君島　恵子
看　護　師　石黒　菜穂
看　護　師　﨑山　美緒
看　護　師　鈴木　未来
看　護　師　脇本　共子
看　護　師　佐藤　誠
看　護　師　石渡　綾子
看　護　師　一條　生久
看　護　師　伊東　千瑞子

（手　術　室）

師　長　下地　福子
看　護　師　平島　龍一
看　護　師　安田　佳恵
看　護　師　川平　朝克
看　護　師　関本　藍

（外　来）

師　長　園田　恵美子
主　任　柴田　弘子
主　任　長田　泰代
主　任　宮越　郁子
看　護　師　原　かおり
看　護　師　上田　みどり
看　護　師　下里　未来
看　護　師　大竹　民子
看　護　師　一ツ谷　麻衣子
看　護　師　岸田　美智子
看　護　師　山田　智仁
看　護　師　萩原　京子
看　護　師　四竈　三佳
看　護　師　加藤　素子

（看　護　教　育　室）

師　長　舘林　美加子
主　任　杉﨑　絵美
看　護　師　後藤　令子

【事　務　局】

事　務　長　佐藤　安志

（総　務　課）

課　長　矢尾板　昌克
主　査　木賀　恵子
主　査　金枝　晃芳
主　任　藤嶋　和弘
主　事　齋藤　俊

（医　事　課）

課　長　佐藤　安志
主　事　補　荒井　佳代子

（栄　養　課）

課　長　矢尾板　昌克
主任管理栄養士　嘉山　有太

Ⅶ　編集後記

当院の年報委員会を一昨年再編してから、３回目の病院年報をお届けすることとなりました。昨年の編集後記で「８月末の完成を目指すこと」をお約束したのにも関わらず、ようやく 11 月末に完成し、みなさまにお届けすることができました。完成が遅れたことを猛省し、この年報を手に取っていただくみなさまには、衷心よりお詫び申し上げます。

振り返りますと、平成 26 年度も当院にとって激動の１年であったと感じています。　１日当たり約 400 人の外来患者さん、約 110 人の入院患者さんに安全で質の高い医療を提供する日々の努力のほか、地域包括ケア病棟の運用開始、四病院連携会議の発足、在宅療養を考えるシンポジウムの開催、タブレット端末により院外にあって電子カルテシステムにアクセスする訪問診療等電子カルテ参照・記入システムの導入などなど、“「三浦ならでは」の地域医療の確立”のための新たな取組を職員が一丸となって進めて参りました。

その成果や課題をこの年報により少しでも多くのみなさまにご理解いただき、併せてご意見を賜りたいと願っております。

来年こそは８月末の完成を目指すことを編集委員全員で確認をしたところですが、併せて「本年報の拙い編集作業の経験を活かし、より良い年報の作成に傾注すること」をお約束いたしますので、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ですが、乱筆、乱文、乱調をお詫び申し上げ、編集後記といたします。

三浦市立病院年報委員会

委員長	石渡　秀朗（副管理者）
副委員長	嘉山　静子（看護部）
委員	原　美智子（地域医療科）
	佐藤　安志（事務局）
	矢尾板　昌克（総務課）
	藤井　伸行（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科）
	加藤　大己（放射線科）
	足立　直彦（臨床検査科）
	長谷川　澄子（薬剤科）
	南　雄大（総務課）

三浦市立病院年報　第27号

発　行　日	2015年11月
編 集 発 行	〒238－0222
	神奈川県三浦市岬陽町４番33号
	三浦市立病院年報委員会
電　　話	046－882－2111
F　A　X	046－881－7527
発行責任者	副管理者　石渡　秀朗